

武蔵村山市
一般廃棄物処理基本計画
基礎調査報告書

平成29年3月

武 蔵 村 山 市

【目 次】

第1部 家庭ごみ組成分析調査.....	1
第1章 調査概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査対象地域と調査日程.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査したごみ量.....	2
5 分類と定義.....	2
6 注意事項.....	2
第2章 調査結果.....	4
1 燃やせるごみ.....	4
2 燃やせないごみ.....	7
第2部 市民アンケート調査.....	10
第1章 調査概要.....	10
1 調査目的.....	10
2 調査対象.....	10
3 調査方法.....	10
4 調査期間.....	10
5 回収状況.....	10
6 留意事項.....	10
第2章 調査結果.....	11
1 回答者の属性.....	11
2 発生抑制・再使用.....	14
3 リサイクル.....	18
4 生ごみ堆肥化モデル事業.....	33
5 ごみの分別・収集・処理.....	34
6 市の清掃・リサイクルに関する情報.....	37
7 家庭ごみの有料化・戸別収集.....	40
8 市のごみの減量や処理などについての満足度.....	45
9 ごみの処分方法.....	47

第3部 事業所アンケート調査.....	53
第1章 調査概要.....	53
1 調査目的.....	53
2 調査対象.....	53
3 調査方法.....	53
4 調査期間.....	53
5 回収状況.....	53
6 留意事項.....	53
第2章 調査結果.....	54
1 回答者の属性.....	54
2 事業所のごみの処理方法.....	56
3 処理業者への委託.....	57
4 ごみ集積所への排出.....	59
5 ごみを出さない工夫（複数回答）.....	63
6 ごみや資源の品目別の量と処理方法.....	64
7 清掃・リサイクルに関する情報の収集（複数回答）.....	68
第4部 考察.....	69
1 品目別のごみ量の推計.....	69
2 ごみ減量・適正処理に向けた課題.....	71
資料編 アンケート調査票等.....	74

第1部 家庭ごみ組成分析調査

第1章 調査概要

1 調査目的

武蔵村山市では、平成20年度から29年度を計画期間とした「武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画(ごみゼロを目指したまちづくり基本計画)」に基づいて、廃棄物行政を行っており、平成29年度には、平成30年度から平成39年度を計画期間とした計画の改定を予定している。

本調査は、計画改定のための基礎データを得るため、家庭から排出される燃やせるごみ、燃やせないごみの組成を調査し、ごみに含まれている資源物や分別が不適正なものの割合を調査することが目的である。

2 調査対象地域と調査日程

本市の地域特性を考慮し、戸建中心(本村地区)から神明二・四丁目、三ツ木三・五丁目、戸建中心(新興住宅地区)から三ツ藤一丁目、6階建て以上の集合住宅から緑が丘(村山団地)を選定した。

調査は、7月4・5・7・8日の4日間で実施した。

表 1-1 調査対象地域と調査日程

日 程	燃やせるごみ		燃やせないごみ	
	地域	地域の特徴	地域	地域の特徴
7月4日 (月曜日)	【南部地区】 緑が丘(村山団地)	6階以上の集合住宅	【西部地区】 三ツ藤一丁目	戸建中心 (新興住宅地区)
7月5日 (火曜日)	【西部地区】 三ツ藤一丁目	戸建中心 (新興住宅地区)	【南部地区】 緑が丘(村山団地)	6階以上の集合住宅
7月7日 (木曜日)	【東部地区】 神明二・四丁目	戸建中心 (本村地区)	【北部地区】 三ツ木三・五丁目	戸建中心 (本村地区)
7月8日 (金曜日)	【北部地区】 三ツ木三・五丁目	戸建中心 (本村地区)	【東部地区】 神明二・四丁目	戸建中心 (本村地区)

3 調査方法

ごみ集積所から収集したごみを小平・村山・大和衛生組合に搬入し、表1-3に示す44種類に分類し、それぞれの重量を測定した。

4 調査したごみ量

調査したごみの量は、燃やせるごみが1,083.18kg、燃やせないごみが675.43kgである。

表 1-2 調査したごみ量

単位 (kg)

地域	ごみ量		
	燃やせるごみ	燃やせないごみ	合計
東部地区 (注)	170.29	129.69	299.98
西部地区	302.45	194.90	497.35
南部地区	303.91	140.95	444.86
北部地区	306.53	209.89	516.42
合計	1,083.18	675.43	1,758.61

(注) 東部地区の燃やせるごみには、この他に同一世帯からと思われる草木類が147.34kg排出された。

5 分類と定義

「資源(可燃性)」8品目、「資源(不燃性)」4品目、「資源(プラスチック)」6品目、「資源(拠点)」2品目、「可燃物」8品目、「不燃物」7品目、「有害物」4品目、「収集不適物」2品目、「外袋・内袋」3品目、合計44品目に分類した。

外袋とはごみを排出するために使用した袋、内袋とは外袋の中に入った小口まとめ用のレジ袋である。

燃やせるごみは「可燃物」と「外袋・内袋」を、燃やせないごみは「不燃物」と「外袋・内袋」を「適正分別」とし、それ以外を「分別不適物」とした。

6 注意事項

表やグラフ中にある割合は、原則として小数点第一位で四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

表やグラフ中で「0(ゼロ)」と表示されているところは、表示されている桁数より小さい値がある場合を表している。表中の空欄は全く排出されていなかったことを表している。

表 1-3 組成調査の分類

分類	品目	注意点・含むもの	含まないもの
資源(可燃性) (古紙・布・枝・ぬいぐるみ・靴・かばん・ベルト)	新聞紙・折込広告	他用途に使ってない新聞紙・折込広告	生ごみを包むなどしたもの→その他紙類
	雑誌・書籍	パンフレット、カタログ(4ページ以上のもの)	
	段ボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	ボール紙→雑紙 宅配ピザなど汚れているもの→その他紙類
	紙パック	牛乳・ジュースの紙パック	アルミ蒸着→その他紙類
	雑紙(ざつがみ)	名刺以上の大きさの包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、投げ込みのチラシ、OA用紙、ノート、ボール紙、封筒(窓付きも可)、はがき、ティッシュの箱、菓子箱、トレットペーパー・ラップの芯、たばこの箱	写真、コーティング・感熱紙・金・銀紙・カーボン紙などの加工紙、汚れているもの→その他紙類
	古布(古着)	衣類、革製の衣類、タオル、ハンカチ、シーツ、毛布、カーテン、布団(綿・羊毛・羽毛・化繊)	極端に汚れたもの、レース地のもの、ウレタンマット、座布団、クッション、ストッキング→その他可燃物
	剪定枝		落ち葉、竹、笹、シュロ、銀杏、松→剪定枝以外の草・木類
	ぬいぐるみ等	ぬいぐるみ、靴・かばん(革製、布製、エナメル製)ベルト(リユース可の状態のもの)	壊れているもの、汚れているもの
資源(不燃性) (びん・缶・金属)	ガラスびん		
	缶類	一斗缶未満の飲料、食用	
	スプレー缶・ガスカートリッジ(中身なし)	コンロ用ボンベ含む	
	金属製のなべ・やかん・フライパンなど	タイヤチェーン、鉄棒、鉄板など金属のみでできているもの	金属製でないもの(陶器、ガラス等)、アルミ箔
資源(プラスチック) (容器包装プラスチック・ペットボトル)	ペットボトル	「PET」表示あり、飲料、醤油等のみ	「PET」表示なし、飲料・食用以外→容器包装プラスチック
	発泡スチロール		
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	シャンプー、洗剤、弁当ガラ、苺のパック、乳酸飲料容器、ヨーグルト、プリン、カップ麺、豆腐容器、菓子袋、包装袋、ラップ、野菜の袋、ペットボトルのフィルム、果物の緩衝材	汚れなど洗っても中身が容易に落ちないもの→可燃物
	白色トレイ	スーパーなどで肉や魚、野菜がのっているトレイ	納豆パック→容器包装プラスチック
	色付きトレイ	色・柄つき	
	レジ袋(未使用)	使われずに捨てられているレジ袋	
資源(拠点) 拠点回収品目	小型家電製品(拠点回収品目)	次の品目で25×15センチの投入口に入るもの 携帯電話、デジタルカメラ、ICレコーダー、電子辞書、フィルムカメラ、時計、ポータブルカーナビ、ポータブルビデオカメラ、補聴器、電卓ヘッドドライヤー、ヘアアイロン、電気カミソリ、電気バリカン、電動歯ブラシ、携帯ゲーム機、携帯ラジオ、携帯音楽プレーヤー、ヘッドホン、電子血圧計、懐中電灯、ACアダプター	
	インクリボン・カートリッジ		
可燃物	生ごみ(厨芥類)	調理くず、野菜くず、食べ物の残り	
	生ごみ(未利用品)	未開封の食品、手つかずの食品	
	その他紙類	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、アルミ蒸着の紙パック、カーボン紙、紙くず、ちり紙、伝票・レシート	
	剪定枝以外の草・木類	木箱、麻ひも、割り箸、竹串、コルク、生花、落ち葉	
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	チューブ、レトルト、納豆やソースの汚れなど洗っても中身が容易に落ちないもの	
	テープ類(単独)	ビデオテープ、カセットテープ	
	テープ類(混合)	ビデオテープ、カセットテープ	
	その他可燃物	紙おむつ、タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、生理用品、猫砂、湿布、枕、カーテン、足拭きマット、乾燥剤、薬、クローン、湿布薬、キッチンマット、クッション、座布団、こたつ敷き、こたつ掛け、使い捨てカイロ	
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	CD、歯ブラシ、ブレンダー、バケツ	
	製品プラスチック(複合品)	プラスチックと木・紙の複合品	
	ゴム・皮革類		革製の衣類→古布(古着)
	その他金属類	金属と他素材の複合物、アルミ箔	
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	アイロン、電気炊飯器、ポット、トースターなど最大辺40センチ未満の小型家電	最大辺40センチ以上
	陶磁器		
	その他不燃物	飲用・食用以外のびん(薬や化粧品等)、びん以外のガラス、かき、複合品	
有害物	ライター		
	蛍光管		
	乾電池	すべての乾電池	
	水銀体温計(血圧計)・温度計		
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)	振って音がするもの	
	収集不適物	石、れんが、土、ブロック	
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	外袋の中に入った小口まとめ用のレジ袋	
	プラスチック袋		
	レジ袋		

第2章 調査結果

1 燃やせるごみ

燃やせるごみでは、可燃物が84.1%、外袋・内袋が1.2%で、分別が適正なものは合計で85.3%である。

一方、資源(可燃性)が9.4%、資源(プラスチック)が3.6%、不燃物が1.0%、収集不適物が0.6%含まれており、分別不適物は合計で14.7%である。

可燃物の内訳は、生ごみ(厨芥類)が42.8%で、生ごみ(未利用品)4.3%と合わせると47.1%が生ごみであり、その他可燃物が14.3%、剪定枝以外の草・木類が13.4%、その他紙類が8.3%、容器包装プラスチック(リサイクル不可)が1.0%の順である。

図 1-1 燃やせるごみの組成割合

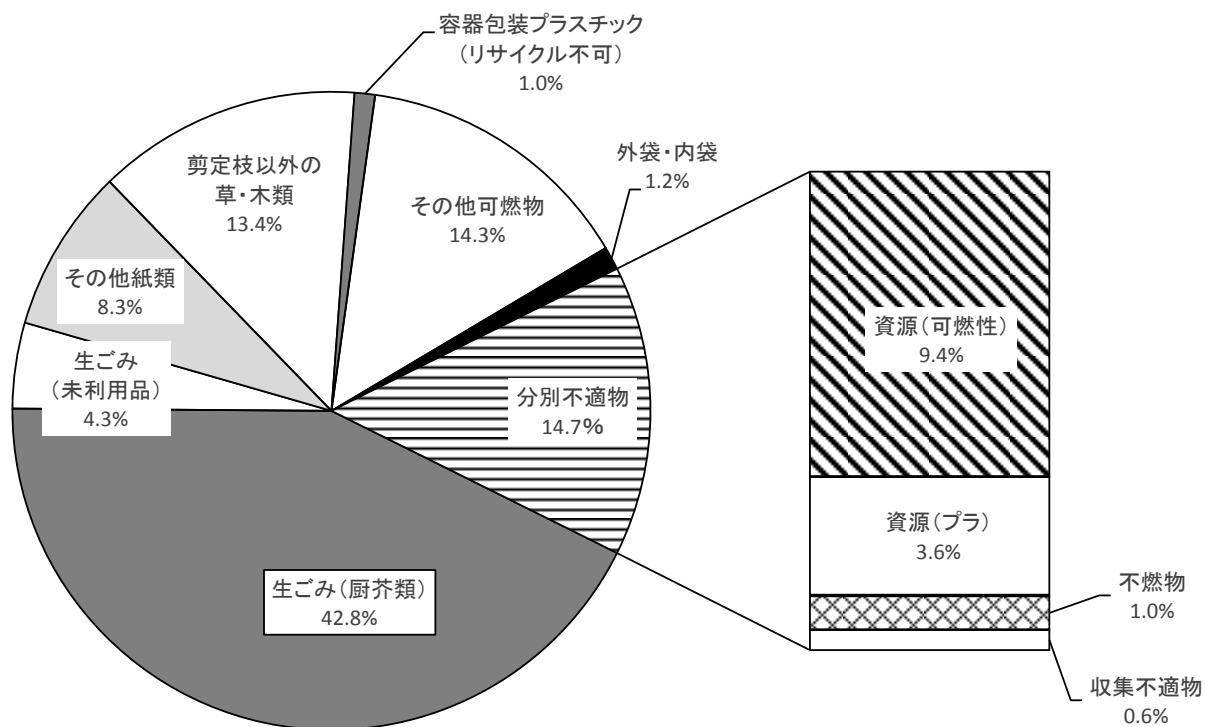


表 1-4 燃やせるごみの組成割合

分類	品目	東部 地区	西部 地区	南部 地区	北部 地区	合計
資源 (可燃性)	新聞紙・折込広告	0.8%	0.8%	2.0%	0.6%	1.1%
	雑誌・書籍	0.0%	1.2%	0.7%	0.1%	0.6%
	段ボール	1.0%	0.3%	0.2%	0.5%	0.4%
	紙パック	0.1%	0.3%	0.7%	0.4%	0.4%
	雑紙	7.4%	4.1%	6.8%	3.5%	5.2%
	古布(古着)	4.8%	1.6%	1.4%	0.3%	1.7%
	剪定枝 ぬいぐるみ等					
資源 (不燃性)	ガラスびん					
	缶類	0.1%		0.0%	0.0%	0.0%
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身なし) 金属製のなべ・やかん・フライパンなど					
資源 (プラスチック)	ペットボトル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発泡スチロール					
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	3.4%	2.9%	3.4%	3.8%	3.4%
	白色トレイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	色付きトレイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	レジ袋(未使用)	0.1%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%
資源(拠点)	小型家電製品(拠点回収品目)	0.2%			0.0%	0.0%
	インクリボン・カートリッジ	0.0%				0.0%
可燃物	生ごみ(厨芥類)	31.7%	46.1%	50.9%	37.6%	42.8%
	生ごみ(未利用品)	6.2%	2.2%	1.7%	8.0%	4.3%
	その他紙類	5.4%	7.6%	12.7%	6.2%	8.3%
	剪定枝以外の草・木類	9.1%	17.4%	1.5%	23.6%	13.4%
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	0.3%	0.9%	1.6%	1.0%	1.0%
	テープ類(単独)					
	テープ類(混合)					
	その他可燃物	23.5%	12.6%	13.3%	11.8%	14.3%
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	0.5%	0.2%	0.5%	0.6%	0.4%
	製品プラスチック(複合品)		0.5%	0.2%		0.2%
	ゴム・皮革類	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
	その他金属類	0.1%	0.0%	0.1%	0.7%	0.2%
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	0.1%				0.0%
	陶磁器 その他不燃物	0.1%				0.0%
有害物	ライター	0.0%	0.0%			0.0%
	蛍光管					
	乾電池					
	水銀体温計(血圧計)・温度計					
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)					
	収集不適物	3.4%		0.3%		0.6%
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.6%	0.4%	0.7%	0.5%	0.6%
	プラスチック袋	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
	レジ袋(外袋)	0.3%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資源物	資源(可燃性)	14.1%	8.2%	11.8%	5.4%	9.4%
	資源(不燃性)	0.1%		0.0%	0.0%	0.0%
	資源(プラスチック)	3.5%	3.2%	3.8%	4.0%	3.6%
	資源(拠点)	0.2%			0.0%	0.0%
	小計	17.9%	11.4%	15.6%	9.4%	13.0%
可燃物		76.3%	86.8%	81.8%	88.1%	84.1%
不燃物		1.1%	0.8%	0.9%	1.4%	1.0%
有害物		0.0%	0.0%			0.0%
収集不適物		3.4%		0.3%		0.6%
外袋・内袋		1.3%	1.0%	1.4%	1.1%	1.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
適正分別		77.6%	87.8%	83.2%	89.2%	85.3%
分別不適物		22.4%	12.2%	16.8%	10.8%	14.7%

表 1-5 燃やせるごみの組成重量

単位(kg)

分類	品目	東部 地区	西部 地区	南部 地区	北部 地区	合計
資源 (可燃性)	新聞紙・折込広告	1.41	2.30	6.16	1.97	11.84
	雑誌・書籍	0.08	3.59	1.98	0.42	6.07
	段ボール	1.64	0.83	0.71	1.46	4.64
	紙パック	0.23	0.76	2.16	1.14	4.29
	雑紙	12.52	12.50	20.65	10.73	56.40
	古布(古着)	8.15	4.96	4.13	0.92	18.16
	剪定枝 ぬいぐるみ等					
資源 (不燃性)	ガラスびん					
	缶類	0.11		0.06	0.02	0.19
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身なし) 金属製のなべ・やかん・フライパンなど					
資源 (プラスチック)	ペットボトル	0.06	0.11	0.07	0.08	0.32
	発泡スチロール					
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	5.81	8.66	10.21	11.63	36.31
	白色トレイ	0.04	0.03	0.01	0.04	0.12
	色付きトレイ	0.01	0.02	0.07	0.11	0.21
	レジ袋(未使用)	0.12	0.82	1.06	0.25	2.25
資源(拠点)	小型家電製品(拠点回収品目)	0.32			0.15	0.47
	インクリボン・カートリッジ	0.06				0.06
可燃物	生ごみ(厨芥類)	54.05	139.30	154.67	115.19	463.21
	生ごみ(未利用品)	10.64	6.68	5.22	24.56	47.10
	その他紙類	9.28	23.03	38.58	18.96	89.85
	剪定枝以外の草・木類	15.50	52.74	4.70	72.19	145.13
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	0.53	2.76	4.88	3.06	11.23
	テープ類(単独)					
	テープ類(混合)					
	その他可燃物	39.95	38.04	40.49	36.21	154.69
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	0.83	0.59	1.54	1.86	4.82
	製品プラスチック(複合品)		1.42	0.64		2.06
	ゴム・皮革類	0.41	0.28	0.31	0.10	1.10
	その他金属類	0.17	0.04	0.24	2.22	2.67
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	0.21				0.21
	陶磁器					
	その他不燃物	0.23				0.23
有害物	ライター	0.01	0.01			0.02
	蛍光管					
	乾電池					
	水銀体温計(血圧計)・温度計					
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)					
	収集不適物	5.75		1.03		6.78
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.98	1.31	2.27	1.67	6.23
	プラスチック袋	0.74	0.52	1.06	1.02	3.34
	レジ袋(外袋)	0.45	1.15	1.01	0.57	3.18
合計		170.29	302.45	303.91	306.53	1,083.18
資源物	資源(可燃性)	24.03	24.94	35.79	16.64	101.40
	資源(不燃性)	0.11		0.06	0.02	0.19
	資源(プラスチック)	6.04	9.64	11.42	12.11	39.21
	資源(拠点)	0.38			0.15	0.53
	小計	30.56	34.58	47.27	28.92	141.33
可燃物		129.95	262.55	248.54	270.17	911.21
不燃物		1.85	2.33	2.73	4.18	11.09
有害物		0.01	0.01			0.02
収集不適物		5.75		1.03		6.78
外袋・内袋		2.17	2.98	4.34	3.26	12.75
合計		170.29	302.45	303.91	306.53	1,083.18
適正分別		132.12	265.53	252.88	273.43	923.96
分別不適物		38.17	36.92	51.03	33.1	159.22

2 燃やせないごみ

燃やせないごみでは、不燃物が81.2%、外袋・内袋が0.8%で、分別が適正なものは合計で81.9%である。

一方、可燃物が6.6%、資源(プラスチック)が4.1%、資源(不燃性)が2.6%、資源(可燃性)が2.4%、資源(拠点回収品目)が1.4%、収集不適物が0.8%、有害物が0.2%含まれており、分別不適物は合計で18.1%である。

不燃物の内訳は、製品プラスチックが34.6%、その他不燃物が11.2%、陶磁器が10.6%、小型家電製品(拠点回収品目以外)が9.5%、ゴム・皮革類が8.2%、その他金属類が6.9%、製品プラスチック(複合品)が0.1%の順である。

図 1-2 燃やせないごみの組成割合

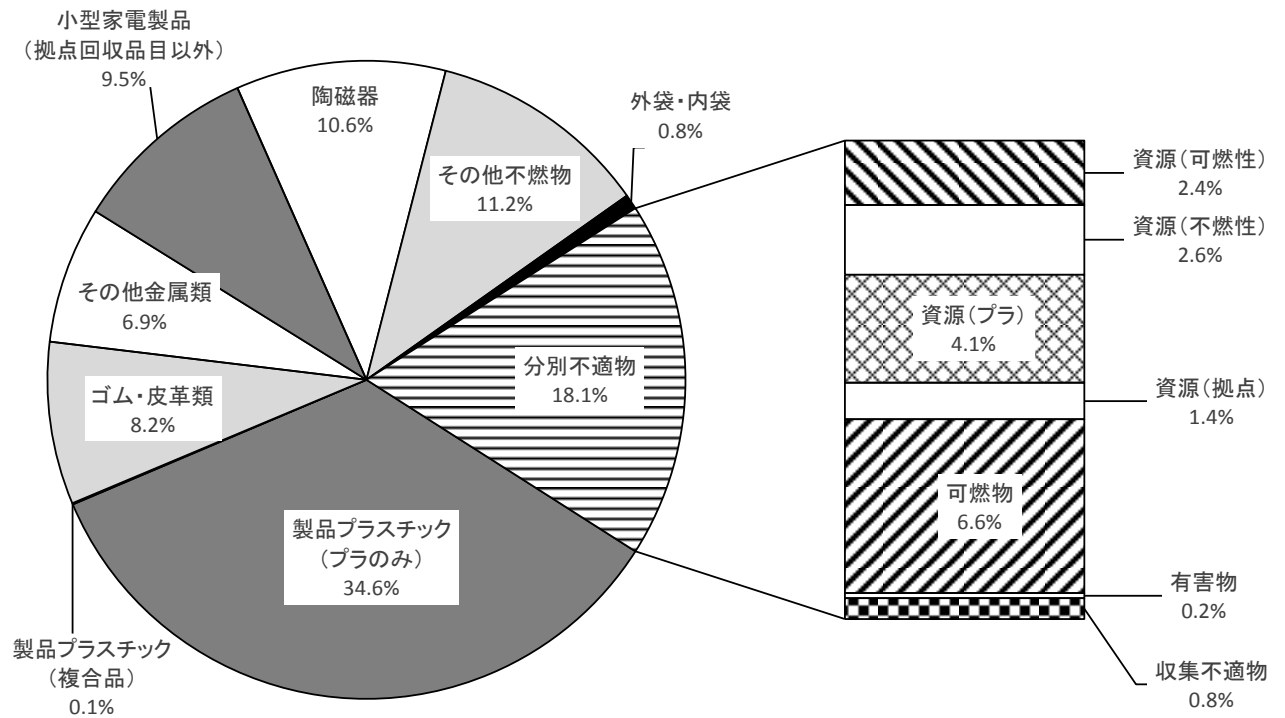


表 1-6 燃やせないごみの組成割合

分類	品目	東部 地区	西部 地区	南部 地区	北部 地区	合計
資源 (可燃性)	新聞紙・折込広告	0.0%		0.1%	0.0%	0.0%
	雑誌・書籍					
	段ボール	0.1%		0.1%	0.4%	0.2%
	紙パック				0.0%	0.0%
	雑紙	0.8%	0.4%	0.0%	0.2%	0.3%
	古布(古着)	0.6%			1.9%	0.7%
	剪定枝					
	ぬいぐるみ等		1.2%	1.3%	1.9%	1.2%
資源 (不燃性)	ガラスびん	0.4%	1.8%	0.5%	0.6%	0.9%
	缶類	0.2%	0.4%	0.4%	0.2%	0.3%
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身なし)	0.1%	0.3%	0.4%	0.1%	0.2%
	金属製のなべ・やかん・フライパンなど	1.0%	3.3%		0.2%	1.2%
資源 (プラスチック)	ペットボトル		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	発泡スチロール		0.0%		0.1%	0.0%
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	1.9%	4.3%	4.0%	4.3%	3.8%
	白色トレイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	色付きトレイ	0.0%				0.0%
	レジ袋(未使用)	0.1%	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%
資源(拠点)	小型家電製品(拠点回収品目)		0.3%	3.2%	2.0%	1.4%
	インクリボン・カートリッジ				0.0%	0.0%
可燃物	生ごみ(厨芥類)					
	生ごみ(未利用品)		0.1%	0.0%	1.7%	0.5%
	その他紙類	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%
	剪定枝以外の草・木類	0.2%	0.0%	0.1%	0.8%	0.3%
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	0.7%	1.3%	1.3%	0.4%	0.9%
	テープ類(単独)		0.3%		0.3%	0.2%
	テープ類(混合)		0.2%	0.2%		0.1%
	その他可燃物	6.0%	6.8%	2.1%	2.6%	4.4%
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	44.5%	32.7%	37.1%	28.5%	34.6%
	製品プラスチック(複合品)	0.0%	0.2%	0.0%		0.1%
	ゴム・皮革類	6.9%	10.7%	11.0%	5.0%	8.2%
	その他金属類	7.8%	3.4%	12.5%	6.0%	6.9%
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	3.8%	13.5%	9.9%	9.1%	9.5%
	陶磁器	11.7%	6.8%	5.4%	17.0%	10.6%
	その他不燃物	12.3%	10.6%	4.9%	15.4%	11.2%
有害物	ライター		0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
	蛍光管		0.0%			0.0%
	乾電池	0.3%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
	水銀体温計(血圧計)・温度計					
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%
	収集不適物			3.1%		0.6%
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.1%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%
	プラスチック袋	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
	レジ袋(外袋)	0.2%	0.3%	0.6%	0.2%	0.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資源物	資源(可燃性)	1.5%	1.7%	1.5%	4.4%	2.4%
	資源(不燃性)	1.8%	5.7%	1.4%	1.1%	2.6%
	資源(プラスチック)	2.0%	4.6%	4.5%	4.6%	4.1%
	資源(拠点)		0.3%	3.2%	2.0%	1.4%
	小計	5.3%	12.3%	10.6%	12.1%	10.5%
可燃物		6.8%	9.1%	3.8%	5.9%	6.6%
不燃物		87.1%	77.8%	80.7%	80.9%	81.2%
有害物		0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
収集不適物		0.0%	0.1%	3.4%	0.1%	0.8%
外袋・内袋		0.5%	0.6%	1.3%	0.7%	0.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
適正分別		87.5%	78.4%	82.0%	81.6%	81.9%
分別不適物		12.5%	21.6%	18.0%	18.4%	18.1%

表 1-7 燃やせないごみの組成重量

単位(kg)

分類	品目	東部 地区	西部 地区	南部 地区	北部 地区	合計
資源 (可燃性)	新聞紙・折込広告	0.05		0.11	0.07	0.23
	雑誌・書籍					
	段ボール	0.07		0.09	0.92	1.08
	紙パック				0.02	0.02
	雑紙	1.06	0.84	0.05	0.33	2.28
	古布(古着)	0.78			3.91	4.69
	剪定枝					
	ぬいぐるみ等		2.42	1.84	3.90	8.16
資源 (不燃性)	ガラスびん	0.53	3.46	0.76	1.23	5.98
	缶類	0.26	0.73	0.53	0.50	2.02
	スプレー缶・ガスカートリッジ(中身なし)	0.18	0.61	0.63	0.19	1.61
	金属製のなべ・やかん・フライパンなど	1.30	6.38		0.48	8.16
資源 (プラスチック)	ペットボトル		0.19	0.03	0.04	0.26
	発泡スチロール		0.02		0.19	0.21
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	2.49	8.37	5.70	9.13	25.69
	白色トレイ	0.03	0.01	0.01	0.01	0.06
	色付きトレイ	0.01				0.01
	レジ袋(未使用)	0.09	0.41	0.66	0.20	1.36
資源(拠点)	小型家電製品(拠点回収品目)		0.56	4.56	4.18	9.30
	インクリボン・カートリッジ				0.03	0.03
可燃物	生ごみ(厨芥類)					
	生ごみ(未利用品)		0.10	0.05	3.50	3.65
	その他紙類	0.05	0.68	0.13	0.38	1.24
	剪定枝以外の草・木類	0.21	0.08	0.10	1.59	1.98
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	0.86	2.63	1.84	0.81	6.14
	テープ類(単独)		0.56		0.68	1.24
	テープ類(混合)		0.34	0.28		0.62
	その他可燃物	7.75	13.30	2.92	5.50	29.47
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	57.73	63.74	52.27	59.76	233.50
	製品プラスチック(複合品)	0.03	0.37	0.04		0.44
	ゴム・皮革類	8.90	20.80	15.47	10.45	55.62
	その他金属類	10.11	6.54	17.60	12.64	46.89
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	4.99	26.33	13.90	19.10	64.32
	陶磁器	15.18	13.34	7.58	35.68	71.78
	その他不燃物	15.96	20.60	6.88	32.23	75.67
有害物	ライター		0.09	0.16	0.18	0.43
	蛍光管		0.06			0.06
	乾電池	0.40	0.01	0.08	0.33	0.82
	水銀体温計(血圧計)・温度計					
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)	0.05	0.16	0.49	0.29	0.99
	収集不適物			4.31		4.31
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.10	0.19	0.55	0.45	1.29
	プラスチック袋	0.28	0.39	0.46	0.58	1.71
	レジ袋(外袋)	0.24	0.59	0.87	0.41	2.11
合計		129.69	194.90	140.95	209.89	675.43
資源物	資源(可燃性)	1.96	3.26	2.09	9.15	16.46
	資源(不燃性)	2.27	11.18	1.92	2.40	17.77
	資源(プラスチック)	2.62	9.00	6.40	9.57	27.59
	資源(拠点)		0.56	4.56	4.21	9.33
	小計	6.85	24.00	14.97	25.33	71.15
可燃物		8.87	17.69	5.32	12.46	44.34
不燃物		112.90	151.72	113.74	169.86	548.22
有害物		0.40	0.16	0.24	0.51	1.31
収集不適物		0.05	0.16	4.80	0.29	5.30
外袋・内袋		0.62	1.17	1.88	1.44	5.11
合計		129.69	194.90	140.95	209.89	675.43
適正分別		113.52	152.89	115.62	171.3	553.33
分別不適物		16.17	42.01	25.33	38.59	122.10

第2部 市民アンケート調査

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査の目的は、武蔵村山市民のごみ・資源の処理方法、ごみ減量についての日頃の取り組み、ごみ減量・処理事業に対する考え方などを把握することにより、一般廃棄物処理基本計画策定のための基礎資料を得ることである。

2 調査対象

武蔵村山市内の2,800世帯を対象とした。抽出方法は、住民基本台帳に基づき、平成28年10月1日現在で満18歳以上の人から無作為抽出した。

3 調査方法

調査票の送付および回収は郵送で行った。

4 調査期間

平成28年11月16日に調査票を発送した。回収期限は平成28年12月5日としたが、平成29年1月5日到着分までを集計対象とした。

5 回収状況

発送した2,800件のうち、1,146件を回収した。宛先不明や転出等で返送された11件を除く2,789件に対し、有効回収率は41.1%である。

6 留意事項

表やグラフ中にある割合は、原則として小数点第一位で四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

第2章 調査結果

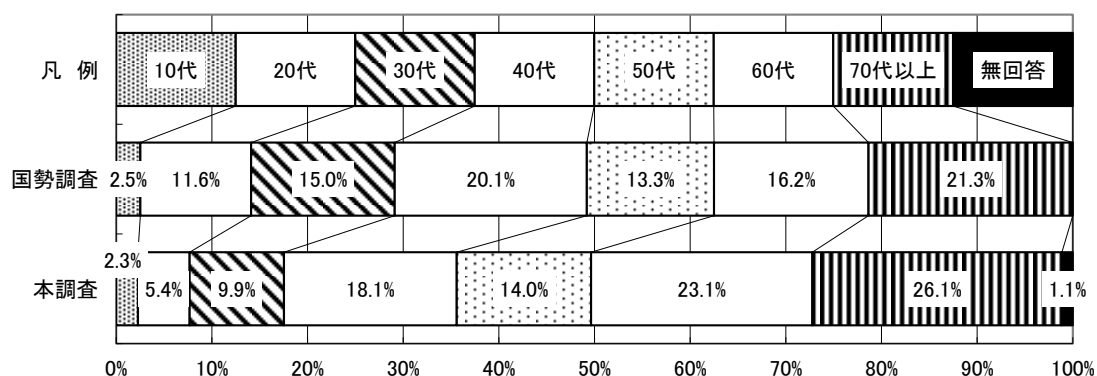
1 回答者の属性

(1) 年齢

回答者を年齢別にみると、「70代以上」(26.1%)、「60代」(23.1%)、「40代」(18.1%)、「50代」(14.0%)、「30代」(9.9%)、「20代」(5.4%)、「10代」(2.3%)の順である。

武蔵村山市の平均と比較すると、60代以上が非常に多く、40代以下が少ない。

図 2-1 年齢

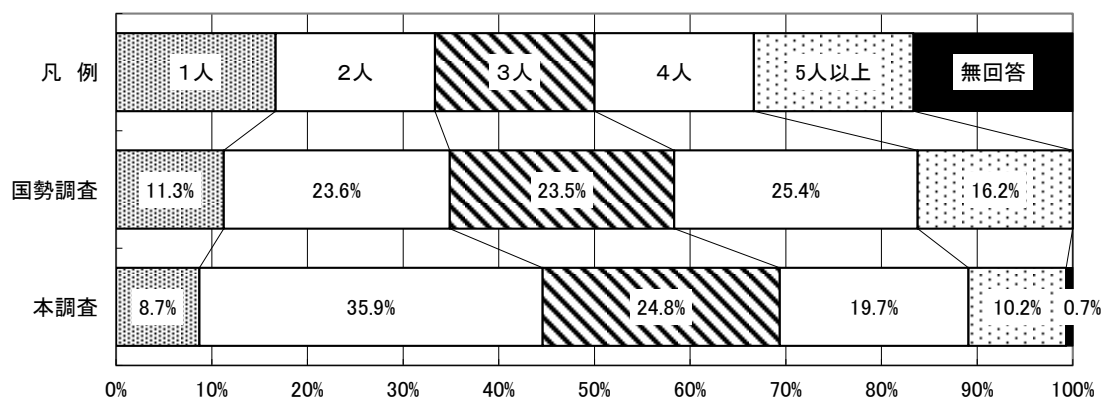


(2) 家族人数

家族人数は、「2人」(35.9%)、「3人」(24.8%)、「4人」(19.7%)、「5人以上」(10.2%)、「1人」(8.7%)の順である。

武蔵村山市の平均と比較すると「2人」、「3人」が多く、「1人」、「4人」、「5人以上」が少なくなっている。

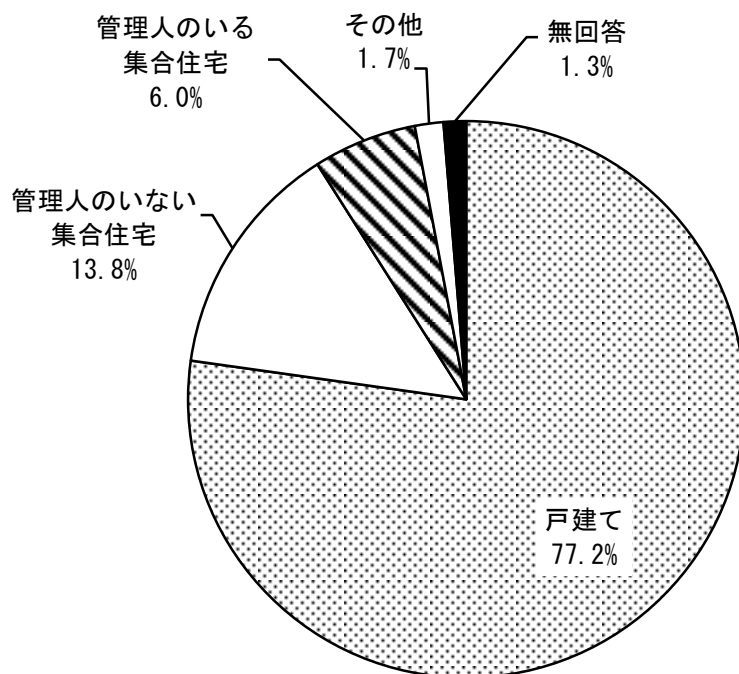
図 2-2 家族人数



(3) 住居形態

住居形態は、「戸建て」(77.2%)、「管理人のいない集合住宅」(13.8%)、「管理人のいる集合住宅」(6.0%)の順である。

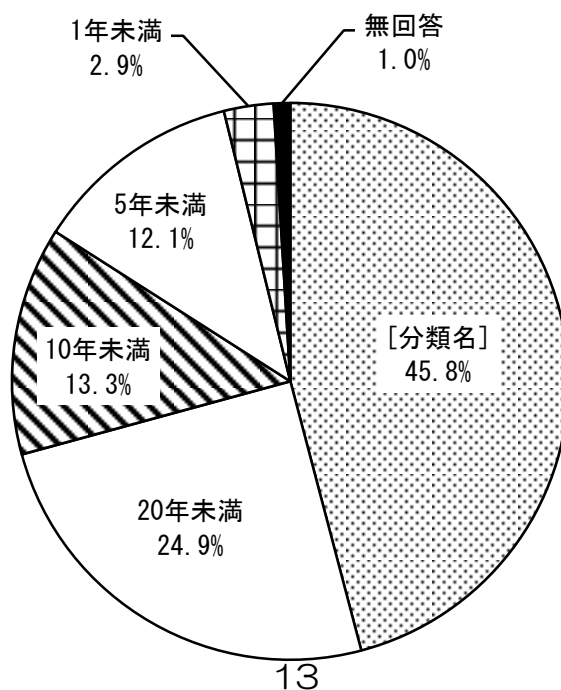
図 2-3 住居形態



(4) 居住年数

居住年数は、「20年以上」(45.8%)、「10年以上～20年未満」(24.9%)、「5年以上～10年未満」(13.3%)、「1年以上～5年未満」(12.1%)、「1年未満」(2.9%)の順である。

図 2-4 居住年数



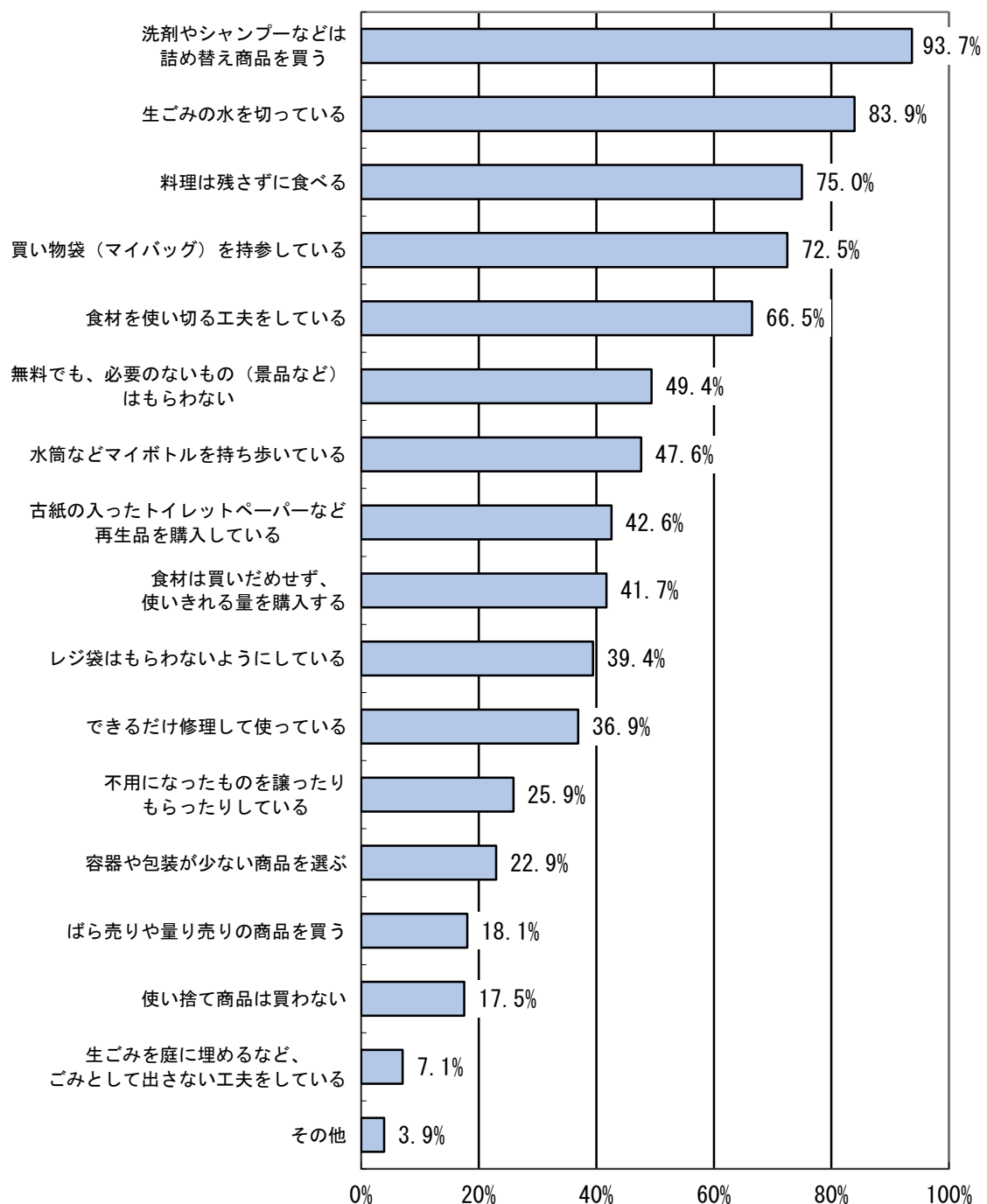
2 発生抑制・再使用

(1) 日頃から心がけている発生抑制・再使用（複数回答）

日頃から心がけている発生抑制・再使用については、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買う」が最も多く(93.7%)、次いで「生ごみの水を切っている」(83.9%)、「料理は残さずに食べる」(75.0%)、「買い物袋(マイバッグ)を持参している」(72.5%)、「食材を使い切る工夫をしている」(66.5%)などの順である。

詰め替え商品の購入は、ほとんどの回答者が心がけていることがうかがえる。

図 2-5 日頃から心がけている発生抑制・再使用



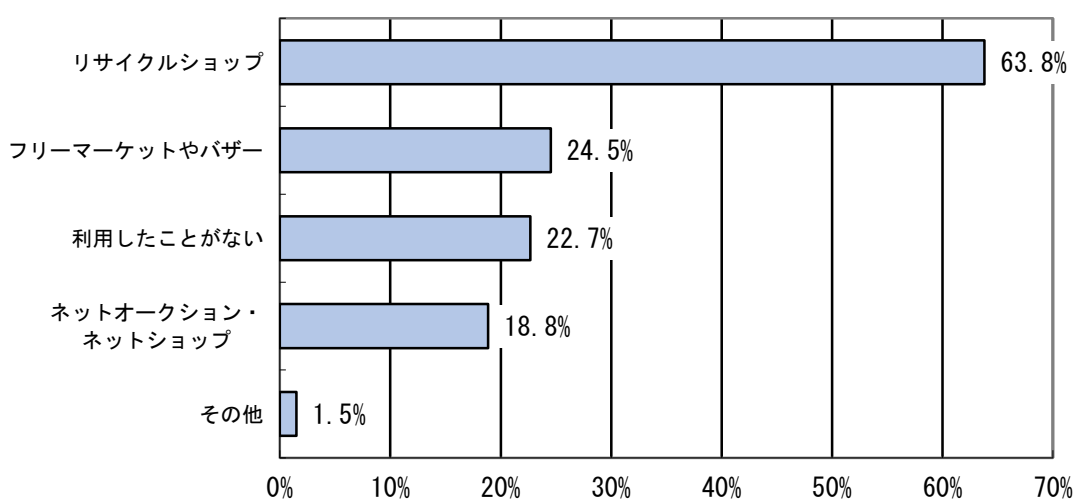
(2) いらなくなったものの売り買い

① 利用したことのある売り買い（複数回答）

利用したことのある売り買いについては、「リサイクルショップ」が最も多く（63.8%）、次いで「フリーマーケットやバザー」（24.5%）、「利用したことがない」（22.7%）、「ネットオークション・ネットショップ」（18.8%）の順である。

ほとんどの回答者が、何らかの売り買いを利用した経験があることがうかがえる。

図 2-6 利用したことのある売り買い



【その他の主な回答】

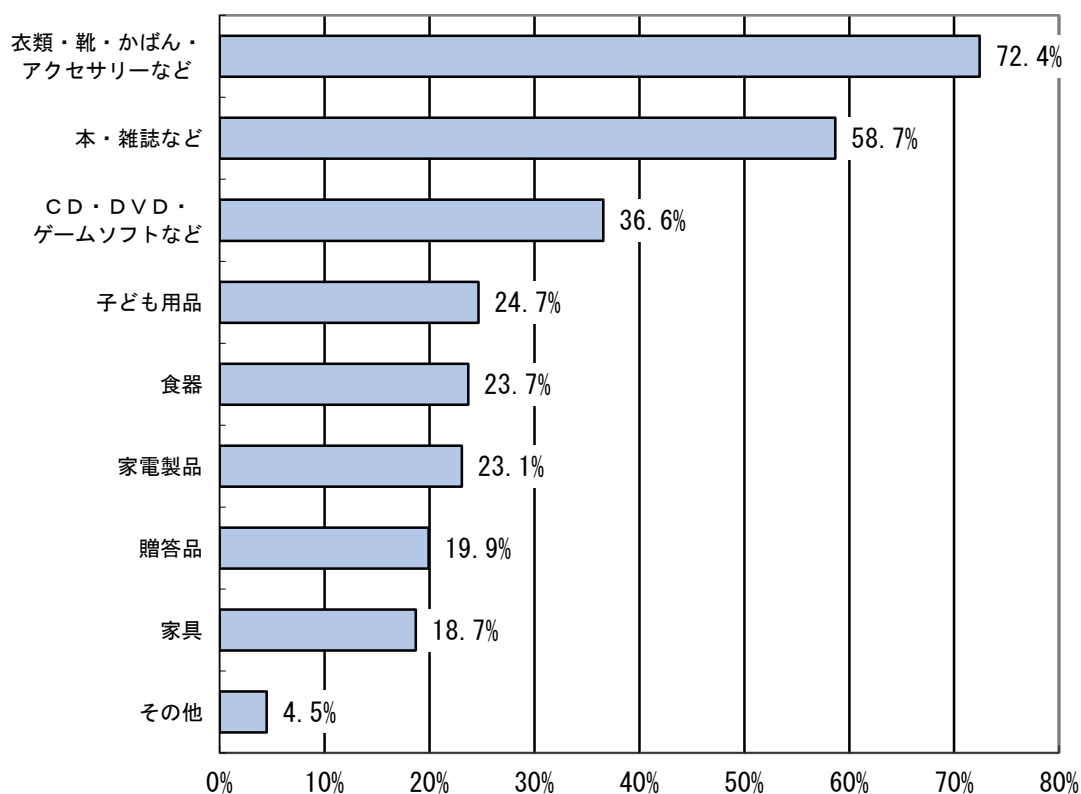
- 知り合い・友人に譲る・・・6人
- 販売店の回収・・・5人
- 古着は海外の発展途上国支援団体へ送っている・2人

② 売り買いをした商品（複数回答）

①で利用したことがある人に、売り買いをした商品について質問した。

売り買いをした商品については、「衣類・靴・かばん・アクセサリーなど」が最も多く(72.4%)、次いで「本・雑誌など」(58.7%)、「CD・DVD・ゲームソフトなど」(36.6%)などの順である。

図 2-7 売り買いをした商品



【その他の主な回答】

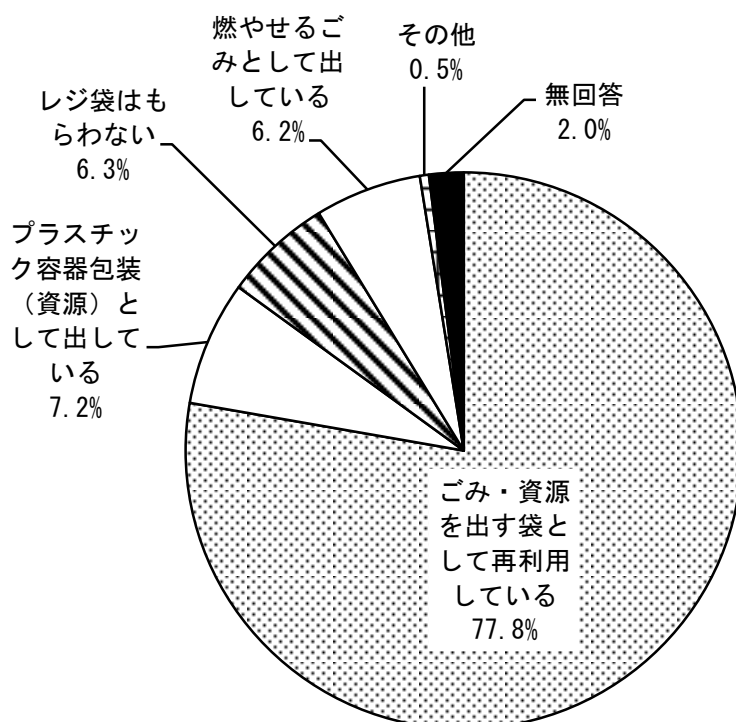
- スポーツ用品・・・7人
- 雑貨・日用品・・・5人
- 楽器・・・・・・・・・・3人

(3) レジ袋の処理

レジ袋の処理については、「ごみ・資源を出す袋として再利用している」が最も多く(77.8%)、次いで「プラスチック容器包装(資源)として出している」(7.2%)、「レジ袋はもらわない」(6.3%)、「燃やせるごみとして出している」(6.2%)の順である。

8割弱の回答者が、ごみ・資源を出す袋として再利用しており、レジ袋はほとんど再使用されていることがうかがえる。

図 2-8 レジ袋の処理



【その他の主な回答】

- 少しの買い物の際はもらわないが、大きな袋はごみ袋として再利用・4人
- 物を入れてしまっておく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3人
- ペットのフンなどの動物の汚れものの処理・・・・・・・・・・・・・・・・3人
- 品物によっては必要最小限もらう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3人
- 小袋等はプラスチック容器包装として出している・・・・・・・・・・・・2人
- 小さいレジ袋はもらわないようにしている・・・・・・・・・・・・・・2人
- 人に物をあげる時に持ち歩く入れ物として使用・・・・・・・・・・・・2人

3 リサイクル

(1) 雑紙（ざつがみ）※について

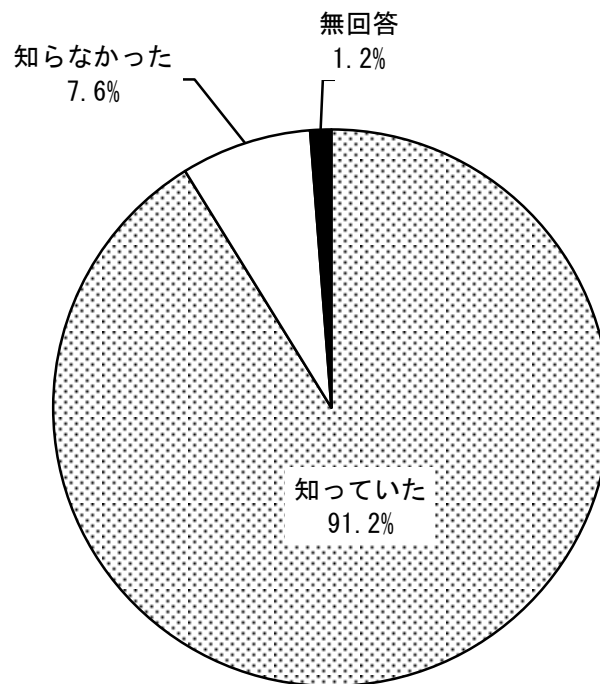
① 雑紙リサイクルの認知

雑紙リサイクルの認知については、「知っていた」(91.2%)、「知らなかった」(7.6%)の順である。

9割以上の方は、雑紙のリサイクルについて認識している。

※ 雑紙（ざつがみ）とは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクル可能な紙をいいます（アルミやビニールのコーティングしたものを除きます。）。

図 2-9 雑紙リサイクルの認知



② 雑紙リサイクルへの協力度

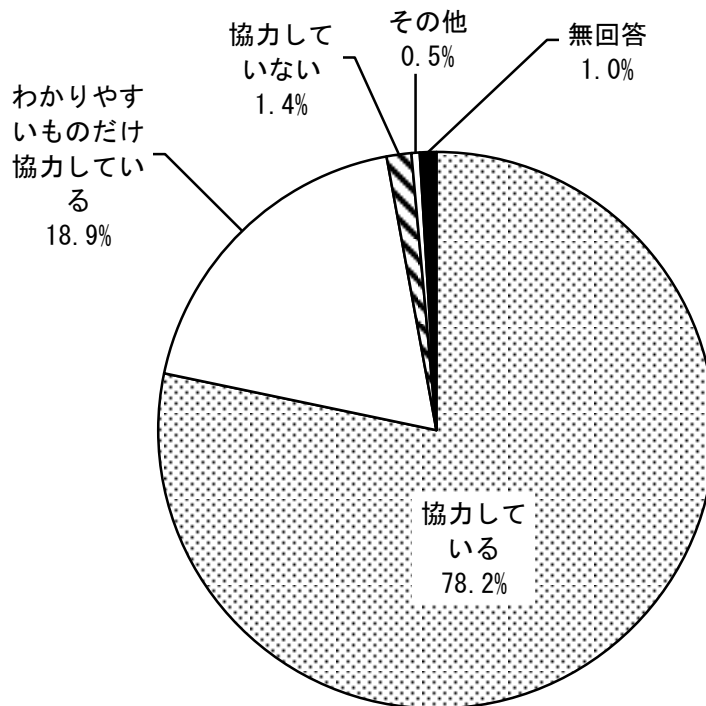
雑紙がリサイクルできることを知っている人と回答した人に、協力度について質問した。

雑紙リサイクルへの協力度については、「協力している」(78.2%)、「わかりやすいものだけ協力している」(18.9%)、「協力していない」(1.4%)の順である。

「協力している」、「わかりやすいものだけ協力している」を合わせると9割以上の人が雑紙のリサイクルに協力している。

属性別に見ると、年齢別では「50代」～「70代以上」といった中・高齢層で『協力している』が多く、若年層になるにつれて『わかりやすいものだけ協力している』が多くなる傾向がある。

図 2-10 雑紙リサイクルへの協力度



【その他の主な回答】

- 封筒やハガキは裁断し、燃やせるごみの日に出している・・・1人

表 2-1 雑紙リサイクルへの協力度（属性別）

（上段は回答数：件・下段は割合：％）

		合計	問4(2) 雑紙のリサイクルにご協力をいただいていますか。				
			協力している	わかりやすいものだけ協力している	協力していない	その他	無回答
全体		1,045 100.0	818 78.2	197 18.9	15 1.4	5 0.5	10 1.0
年齢	10代	25 100.0	15 60.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0
	20代	49 100.0	35 71.4	13 26.5	0 0.0	0 0.0	1 2.0
	30代	102 100.0	66 64.7	33 32.4	3 2.9	0 0.0	0 0.0
	40代	189 100.0	140 74.1	42 22.2	5 2.6	2 1.1	0 0.0
	50代	149 100.0	118 79.2	28 18.8	0 0.0	0 0.0	3 2.0
	60代	247 100.0	202 81.8	38 15.4	5 2.0	1 0.4	1 0.4
	70代以上	273 100.0	233 85.3	36 13.2	0 0.0	1 0.4	3 1.1
家族人数	1人 (1人暮らし)	91 100.0	66 72.5	19 20.9	5 5.5	0 0.0	1 1.1
	2人	376 100.0	316 84.0	51 13.6	4 1.1	2 0.5	3 0.8
	3人	260 100.0	196 75.4	60 23.1	2 0.8	1 0.4	1 0.4
	4人	202 100.0	153 75.7	40 19.8	4 2.0	2 1.0	3 1.5
	5人以上	110 100.0	83 75.5	27 24.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
住居形態	戸建て	812 100.0	643 79.2	146 18.0	12 1.5	4 0.5	7 0.9
	管理人のいない集合住宅	145 100.0	110 75.9	32 22.1	3 2.1	0 0.0	0 0.0
	管理人のいる集合住宅	59 100.0	43 72.9	15 25.4	0 0.0	0 0.0	1 1.7
	その他	19 100.0	16 84.2	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	27 100.0	22 81.5	4 14.8	1 3.7	0 0.0	0 0.0
	5年未満	118 100.0	78 66.1	37 31.4	2 1.7	1 0.8	0 0.0
	10年未満	143 100.0	104 72.7	32 22.4	5 3.5	1 0.7	1 0.7
	20年未満	261 100.0	200 76.6	54 20.7	4 1.5	1 0.4	2 0.8
	20年以上	488 100.0	408 83.6	70 14.3	3 0.6	2 0.4	5 1.0

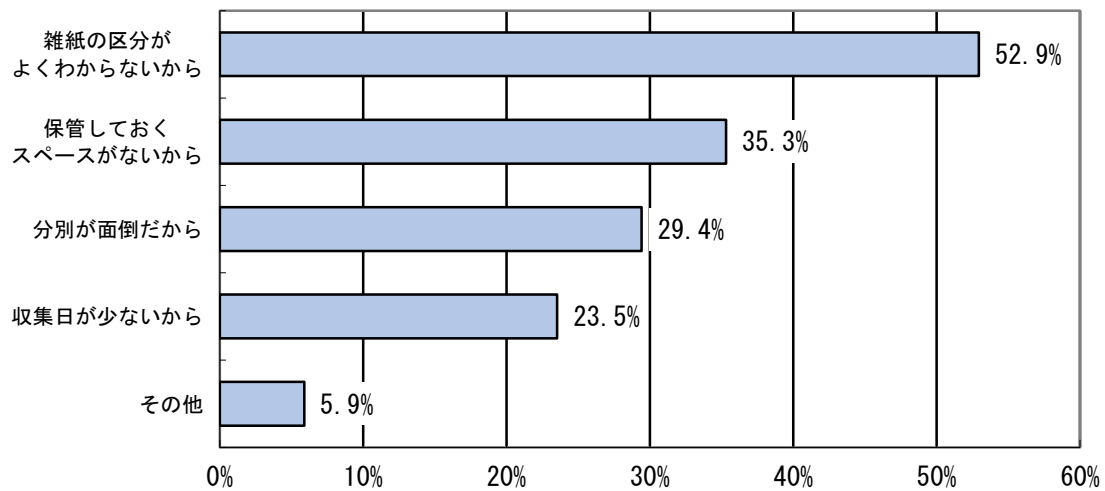
③ 雑紙リサイクルに協力しない理由（複数回答）

雑紙のリサイクルに協力していない人に、その理由を質問した。

雑紙リサイクルに協力しない理由については、「雑紙の区分がよくわからないから」(52.9%)、「保管しておくスペースがないから」(35.3%)、「分別が面倒だから」(29.4%)、「収集日が少ないから」(23.5%)の順である。

より一層の協力を求めるには、雑紙の区分の明確化が必要である。

図 2-11 雑紙リサイクルに協力しない理由



【その他の主な回答】

- ハガキや封筒が雑紙ということを知らなかった・・・1人
- 包装紙・お菓子の箱は残しておいて、使っている・・・1人

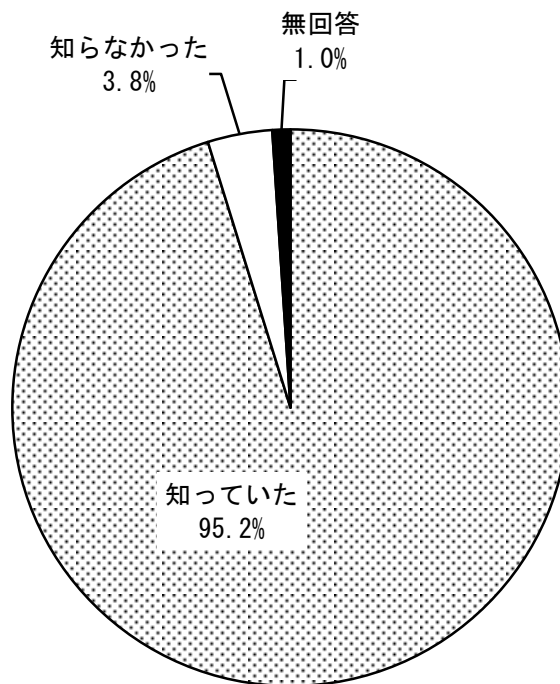
(2) 容器包装プラスチックについて

① 容器包装プラスチックリサイクルの認知

容器包装プラスチックリサイクルの認知については、「知っていた」(95.2%)、「知らなかった」(3.8%)の順である。

ほとんどの人が容器包装プラスチックのリサイクルについて知っており、認知度は雑紙より高い。

図 2-12 容器包装プラスチックリサイクルの認知



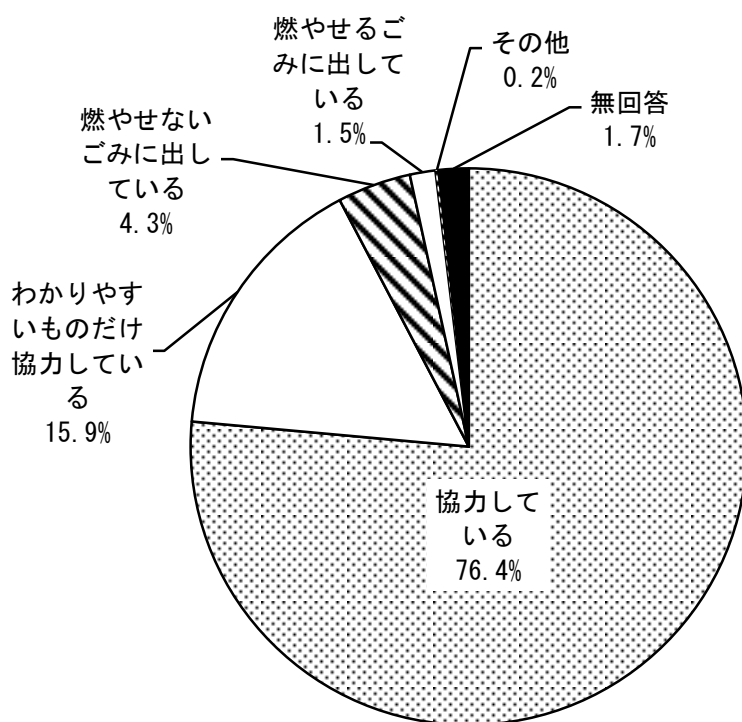
② 容器包装プラスチックリサイクルへの協力度

容器包装プラスチックのリサイクルを知っていると回答した人に、協力度について質問した。

容器包装プラスチックリサイクルへの協力度については、「協力している」(76.4%)、「わかりやすいものだけ協力している」(15.9%)、「燃やせないごみに出している」(4.3%)、「燃やせるごみに出している」(1.5%)の順である。

属性別に見ると、年齢別では「40代」～「70代以上」といった中・高齢層で『協力している』が多く、若年層になるにつれて『わかりやすいものだけ協力している』が多くなる傾向がある。また、「10代」、「20代」で『燃やせないごみに出している』が多い。居住年数別では、居住年数が長いほど『協力している』が多く、居住年数が短くなるにつれて『わかりやすいものだけ協力している』が多くなる傾向がある。また、「1年未満」、「5年未満」で『燃やせるごみに出している』が多い。

図 2-13 容器包装プラスチックリサイクルへの協力度



【その他の主な回答】

- スーパー、コンビニの回収ボックス等に持参している・・・2人
- 水だけで汚れを落とせない物は燃やせるごみに出している・・・1人

表 2-2 容器包装プラスチックリサイクルへの協力度（属性別）

（上段は回答数：件・下段は割合：％）

		合計	問5(2) 容器包装プラスチックのリサイクルにご協力をいただいていますか。					無回答
			協力している	わかりやすいものだけ協力している	燃やせないごみに出している	燃やせるごみに出している	その他	
全体		1,146 100.0	876 76.4	182 15.9	49 4.3	17 1.5	2 0.2	20 1.7
年齢	10代	26 100.0	15 57.7	8 30.8	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	62 100.0	38 61.3	16 25.8	6 9.7	0 0.0	0 0.0	2 3.2
	30代	113 100.0	71 62.8	32 28.3	4 3.5	5 4.4	1 0.9	0 0.0
	40代	207 100.0	149 72.0	44 21.3	10 4.8	4 1.9	0 0.0	0 0.0
	50代	161 100.0	132 82.0	21 13.0	2 1.2	2 1.2	1 0.6	3 1.9
	60代	265 100.0	225 84.9	24 9.1	11 4.2	1 0.4	0 0.0	4 1.5
	70代以上	299 100.0	236 78.9	35 11.7	13 4.3	5 1.7	0 0.0	10 3.3
家族人数	1人 (1人暮らし)	100 100.0	74 74.0	19 19.0	4 4.0	1 1.0	0 0.0	2 2.0
	2人	411 100.0	327 79.6	51 12.4	15 3.6	7 1.7	1 0.2	10 2.4
	3人	284 100.0	211 74.3	54 19.0	8 2.8	5 1.8	1 0.4	5 1.8
	4人	226 100.0	167 73.9	41 18.1	13 5.8	4 1.8	0 0.0	1 0.4
	5人以上	117 100.0	92 78.6	15 12.8	9 7.7	0 0.0	0 0.0	1 0.9
住居形態	戸建て	885 100.0	690 78.0	130 14.7	39 4.4	10 1.1	2 0.2	14 1.6
	管理人のいない集合住宅	158 100.0	116 73.4	30 19.0	6 3.8	4 2.5	0 0.0	2 1.3
	管理人のいる集合住宅	69 100.0	45 65.2	17 24.6	2 2.9	3 4.3	0 0.0	2 2.9
	その他	19 100.0	16 84.2	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	33 100.0	21 63.6	9 27.3	1 3.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0
	5年未満	139 100.0	93 66.9	27 19.4	9 6.5	6 4.3	1 0.7	3 2.2
	10年未満	152 100.0	113 74.3	30 19.7	5 3.3	3 2.0	0 0.0	1 0.7
	20年未満	285 100.0	214 75.1	54 18.9	12 4.2	2 0.7	1 0.4	2 0.7
	20年以上	526 100.0	429 81.6	59 11.2	21 4.0	4 0.8	0 0.0	13 2.5

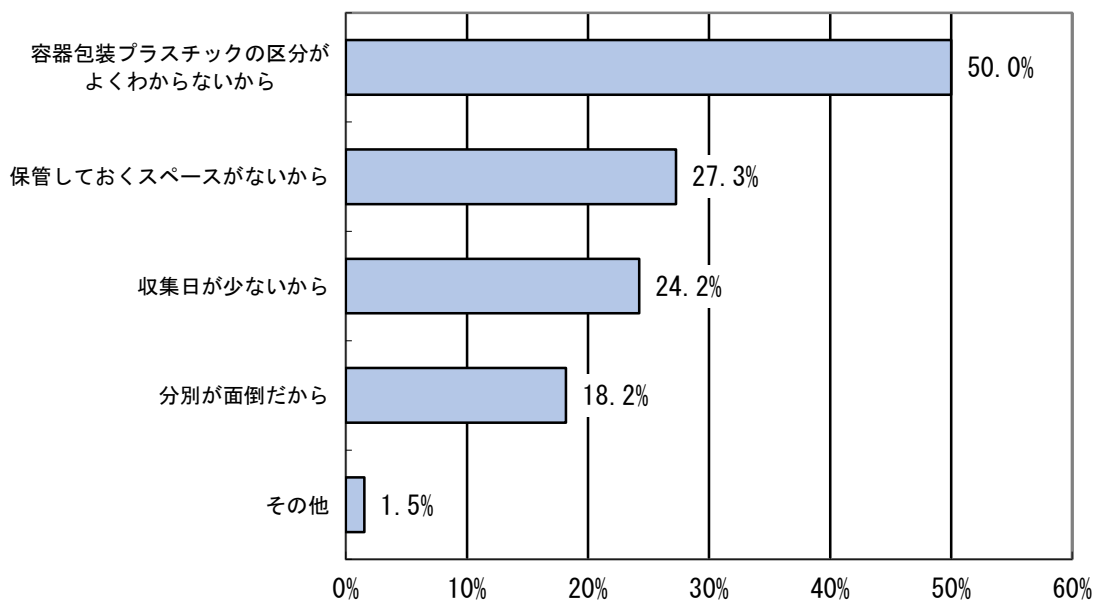
③ 容器包装プラスチックリサイクルに協力しない理由（複数回答）

容器包装プラスチックのリサイクルに協力をしていない人に、その理由を質問した。

容器包装プラスチックリサイクルに協力しない理由については、「容器包装プラスチックの区分がよくわからないから」(50.0%)、「保管しておくスペースがないから」(27.3%)、「収集日が少ないから」(24.2%)、「分別が面倒だから」(18.2%)の順である。

より一層の協力を求めるには、雑紙同様、容器包装プラスチック区分の明確化が必要である。

図 2-14 容器包装プラスチックリサイクルに協力しない理由



【その他の主な回答】

- 収集日がわからないから・・・1人

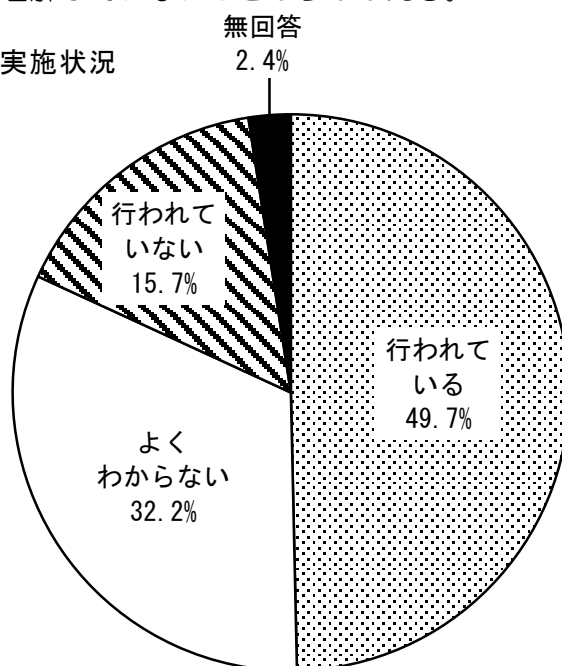
(3) 集団回収について

① 集団回収の実施状況

集団回収の実施状況については、「行われている」(49.7%)、「よくわからない」(32.2%)、「行われていない」(15.7%)の順である。

回答者の約半分は集団回収が行われていることを認識しているが、約1/3は集団回収をよく理解していないことがうかがえる。

図 2-15 集団回収の実施状況

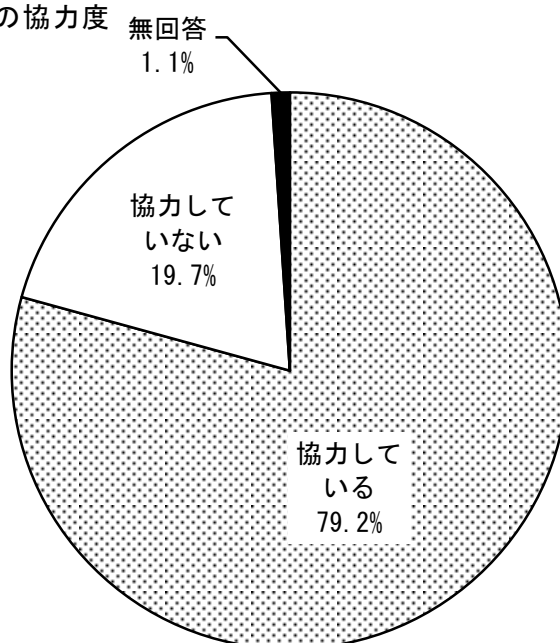


② 集団回収への協力度

集団回収が行われていると回答した人に、協力度について質問した。

集団回収への協力度については、「協力している」(79.2%)、「協力していない」(19.7%)の順である。

図 2-16 集団回収への協力度

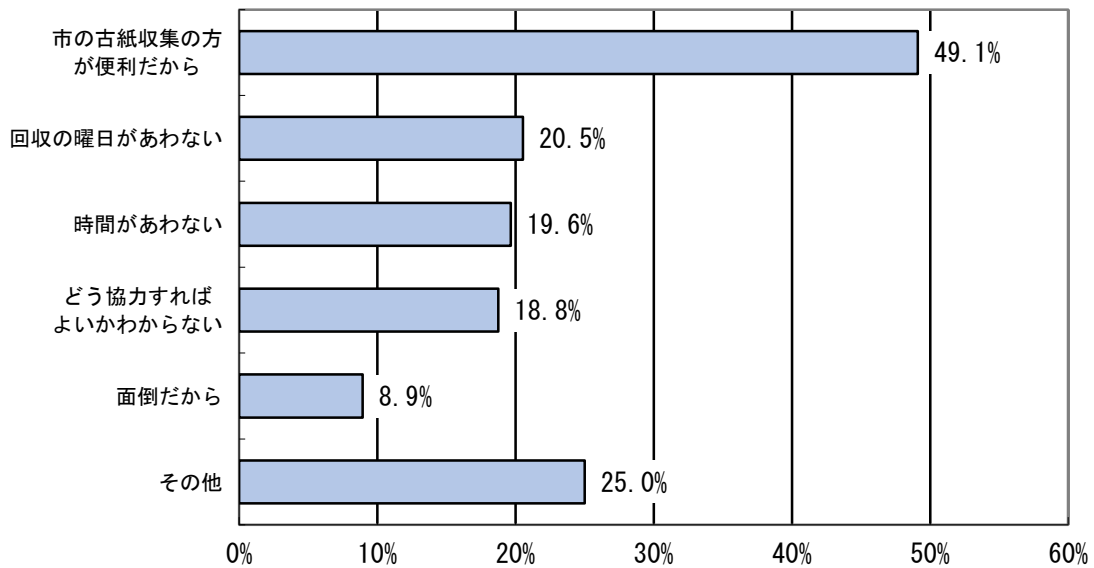


③ 集団回収に協力しない理由（複数回答）

集団回収に協力していない人に、その理由を質問した。

集団回収に協力しない理由については、「市の古紙収集の方が便利だから」(49.1%)、「回収の曜日があわない」(20.5%)、「時間があわない」(19.6%)、「どう協力すればよいかわからない」(18.8%)、「面倒だから」(8.9%)の順である。

図 2-17 集団回収に協力しない理由



【その他の主な回答】

- 新聞店回収を利用している・・・・・・・・・・・・・・・・・・12人
- 集団回収の日時がわからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8人
- 集合住宅なので自治会からの依頼がない、加入していない・・ 8人
- 重たい物を回収場所にもっていくのが大変なので・・・・・・・・ 5人
- 新聞は取っていないので・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3人

(4) 拠点回収について

① 拠点回収の利用状況

拠点回収の利用状況については、「知っており利用している」(46.0%)、「知っているが利用していない」(43.1%)、「知らなかった」(9.8%)の順である。

属性別に見ると、年齢別では「60代」、「70代以上」といった高齢層で『知っており利用している』が多く、若年層となるにつれて『知っているが利用していない』が多くなる傾向にある。住居年数別では「1年未満」で『知っており利用している』が少ない。

図 2-18 拠点回収の利用状況

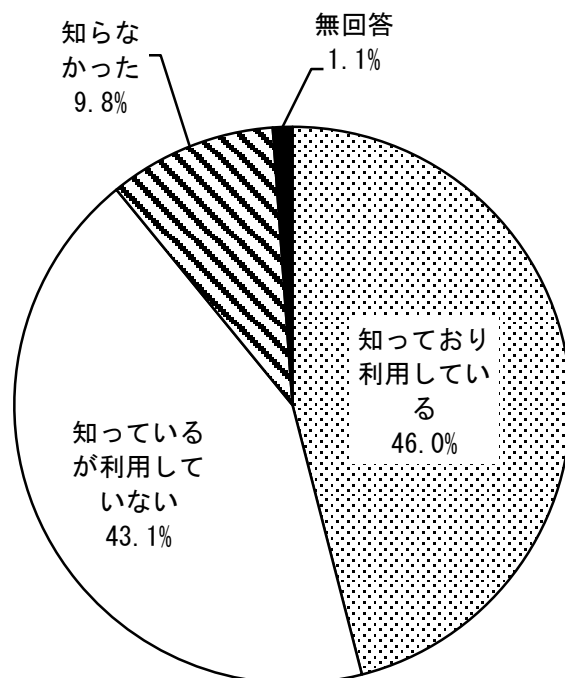


表 2-3 拠点回収の利用状況（属性別）

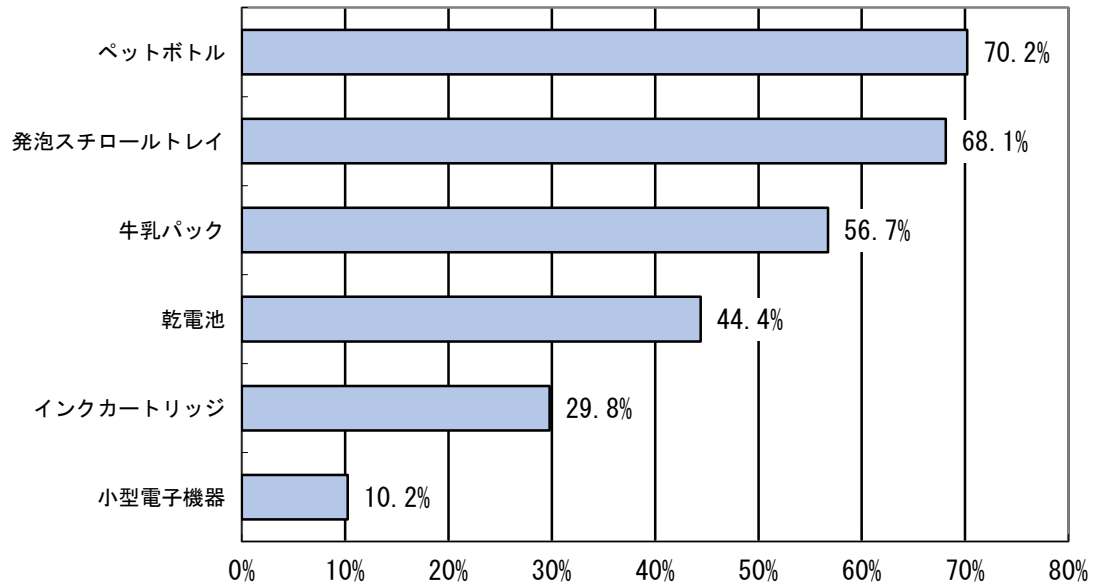
（上段は回答数：件・下段は割合：％）

		合計	問7(1) 拠点回収を利用していますか。			
			知っている 利用している	知っている が利用して いない	知らな かった	無回答
全体		1,146 100.0	527 46.0	494 43.1	112 9.8	13 1.1
年齢	10代	26 100.0	9 34.6	11 42.3	6 23.1	0 0.0
	20代	62 100.0	14 22.6	27 43.5	20 32.3	1 1.6
	30代	113 100.0	41 36.3	61 54.0	11 9.7	0 0.0
	40代	207 100.0	94 45.4	97 46.9	15 7.2	1 0.5
	50代	161 100.0	62 38.5	84 52.2	14 8.7	1 0.6
	60代	265 100.0	126 47.5	118 44.5	21 7.9	0 0.0
	70代以上	299 100.0	175 58.5	92 30.8	22 7.4	10 3.3
家族人数	1人 (1人暮らし)	100 100.0	50 50.0	35 35.0	14 14.0	1 1.0
	2人	411 100.0	205 49.9	164 39.9	34 8.3	8 1.9
	3人	284 100.0	133 46.8	124 43.7	25 8.8	2 0.7
	4人	226 100.0	83 36.7	117 51.8	24 10.6	2 0.9
	5人以上	117 100.0	52 44.4	52 44.4	13 11.1	0 0.0
住居形態	戸建て	885 100.0	387 43.7	413 46.7	76 8.6	9 1.0
	管理人のいな い集合住宅	158 100.0	85 53.8	54 34.2	18 11.4	1 0.6
	管理人のいる 集合住宅	69 100.0	36 52.2	20 29.0	11 15.9	2 2.9
	その他	19 100.0	10 52.6	5 26.3	4 21.1	0 0.0
居住年数	1年未満	33 100.0	10 30.3	15 45.5	8 24.2	0 0.0
	5年未満	139 100.0	55 39.6	65 46.8	17 12.2	2 1.4
	10年未満	152 100.0	79 52.0	61 40.1	11 7.2	1 0.7
	20年未満	285 100.0	129 45.3	119 41.8	33 11.6	4 1.4
	20年以上	526 100.0	249 47.3	231 43.9	40 7.6	6 1.1

② 拠点回収に出したことがある品目（複数回答）

拠点回収に出したことがある品目については、「ペットボトル」が最も多く（70.2%）、次いで「発泡スチロールトレイ」（68.1%）、「牛乳パック」（56.7%）、「乾電池」（44.4%）、「インクカートリッジ」（29.8%）の順である。

図 2-19 拠点回収に出したことがある品目



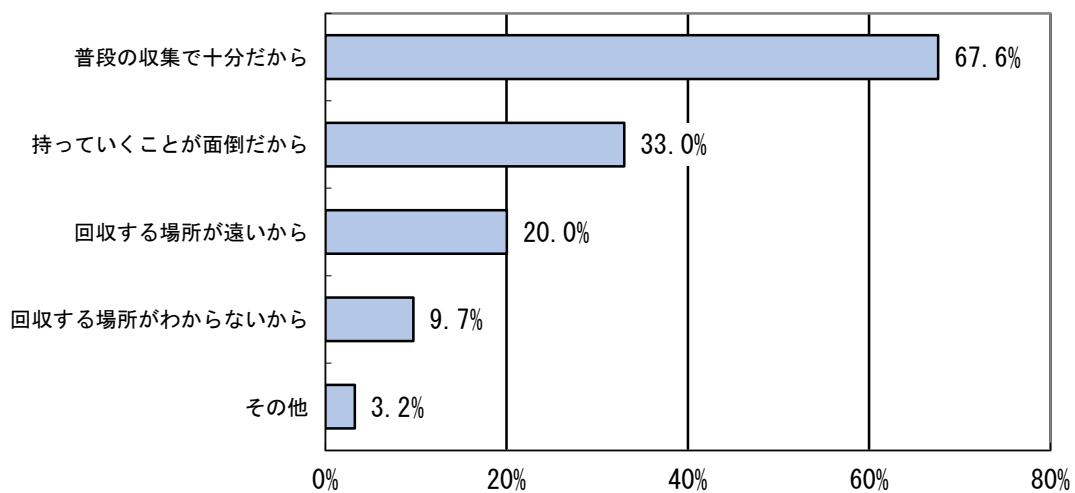
③ 拠点回収を利用しない理由（複数回答）

拠点回収を利用していない人に、その理由を質問した。

拠点回収を利用しない理由については、「普段の収集で十分だから」が最も多く（67.6%）、次いで「持っていくことが面倒だから」（33.0%）、「回収する場所が遠いから」（20.0%）、「回収する場所がわからないから」（9.7%）の順である。

属性別に見ると、年齢別では「10代」、「20代」といった若年層で『回収する場所がわからないから』が多く、逆に「40代」～「70代以上」といった中・高齢層で『回収する場所が遠いから』が多い。

図 2-20 拠点回収を利用しない理由



【その他の主な回答】

- 習慣にないため忘れる・・・5人
- 買い物ついでに販売店の回収を利用している・・・4人
- 小型電子機器がよくわからない・・・1人
- 調べるのが面倒だから・・・1人
- 満杯で入らない時があったから・・・1人

表 2-4 拠点回収を利用しない理由（属性別）

（上段は回答数：件・下段は割合：％）

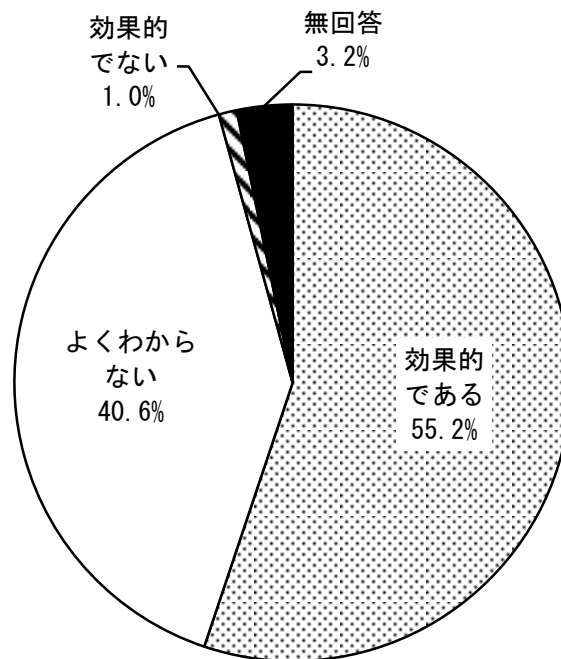
		合計	問7(3) 拠点回収を利用していない理由はなんですか。					無回答
			普段の収集で十分だから	持っていくことが面倒だから	回収する場所が遠いから	回収する場所がわからないから	その他	
全体		494	334 67.6	163 33.0	99 20.0	48 9.7	16 3.2	10 2.0
年齢	10代	11	7 63.6	6 54.5	2 18.2	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	20代	27	16 59.3	11 40.7	4 14.8	9 33.3	0 0.0	0 0.0
	30代	61	34 55.7	21 34.4	8 13.1	8 13.1	3 4.9	1 1.6
	40代	97	63 64.9	47 48.5	19 19.6	6 6.2	6 6.2	1 1.0
	50代	84	63 75.0	30 35.7	17 20.2	4 4.8	3 3.6	1 1.2
	60代	118	80 67.8	29 24.6	28 23.7	9 7.6	2 1.7	5 4.2
	70代以上	92	68 73.9	18 19.6	21 22.8	8 8.7	2 2.2	2 2.2
家族人数	1人 (1人暮らし)	35	23 65.7	9 25.7	5 14.3	4 11.4	1 2.9	1 2.9
	2人	164	122 74.4	41 25.0	33 20.1	11 6.7	5 3.0	3 1.8
	3人	124	84 67.7	47 37.9	31 25.0	8 6.5	4 3.2	3 2.4
	4人	117	70 59.8	47 40.2	25 21.4	17 14.5	4 3.4	3 2.6
	5人以上	52	34 65.4	19 36.5	5 9.6	7 13.5	2 3.8	0 0.0
住居形態	戸建て	413	280 67.8	141 34.1	84 20.3	38 9.2	14 3.4	9 2.2
	管理人のいない集合住宅	54	36 66.7	17 31.5	11 20.4	6 11.1	1 1.9	1 1.9
	管理人のいる集合住宅	20	14 70.0	5 25.0	3 15.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
居住年数	1年未満	15	9 60.0	4 26.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	0 0.0
	5年未満	65	38 58.5	22 33.8	14 21.5	10 15.4	1 1.5	1 1.5
	10年未満	61	38 62.3	21 34.4	8 13.1	5 8.2	4 6.6	3 4.9
	20年未満	119	80 67.2	50 42.0	22 18.5	16 13.4	5 4.2	2 1.7
	20年以上	231	168 72.7	66 28.6	53 22.9	13 5.6	4 1.7	4 1.7

4 生ごみ堆肥化モデル事業

(1) 生ごみ堆肥化モデル事業のごみの減量への効果

回答者がごみの減量への効果についてどう考えているかは、「効果的である」(55.2%)、「よくわからない」(40.6%)、「効果的でない」(1.0%)の順である。

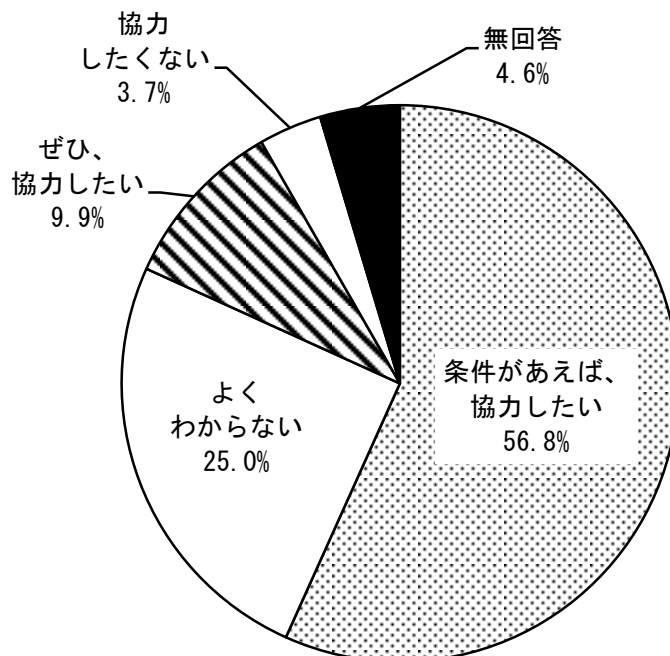
図 2-21 ごみの減量への効果



(2) 生ごみ堆肥化モデル事業への協力希望度合い

生ごみ堆肥化モデル事業への協力希望度合いについては、「条件があれば、協力したい」(56.8%)、「よくわからない」(25.0%)、「ぜひ、協力したい」(9.9%)、「協力したくない」(3.7%)の順である。

図 2-22 生ごみ堆肥化モデル事業への協力希望度合い

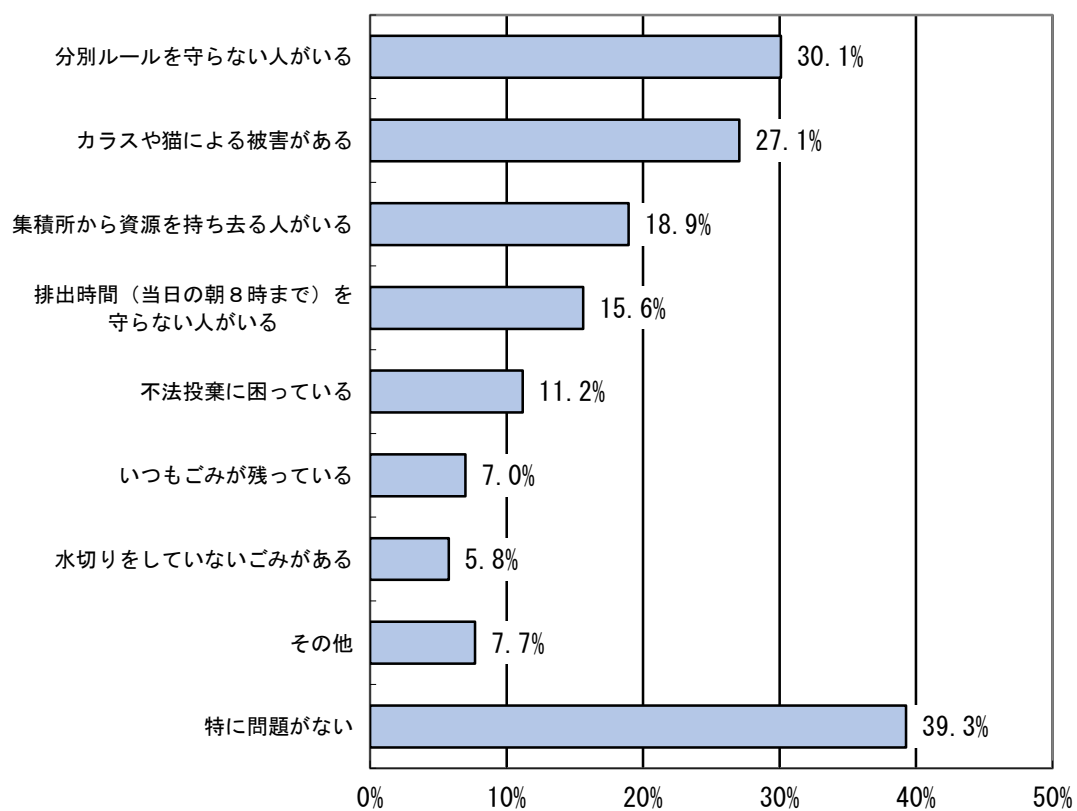


5 ごみの分別・収集・処理

(1) 普段使っている集積所について感じていること（複数回答）

普段使っている集積所について感じていることについては、「特に問題がない」が最も多く(39.3%)、次いで「分別ルールを守らない人がいる」(30.1%)、「カラスや猫による被害がある」(27.1%)、「集積所から資源を持ち去る人がいる」(18.9%)、「排出時間(当日の朝8時まで)を守らない人がいる」(15.6%)などの順である。

図 2-23 普段使っている集積所について感じていること



【その他の主な回答】

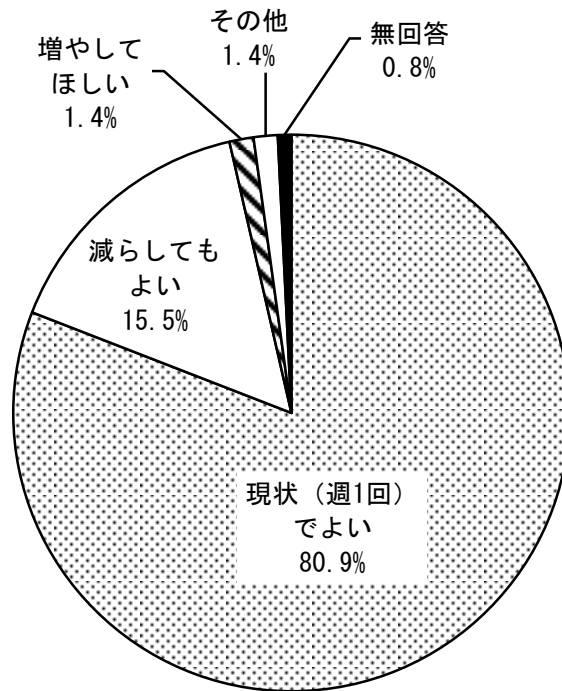
- 新しく転入した人の分別が悪い・・・4人
- 集積所の前に犬のフンがある・・・4人
- 収集時間が早い・・・3人
- 世帯数が多くごみが山積している・・・2人
- 収集時間が遅い・・・2人

(2) 現在の収集回数に対する考え

① 古紙

古紙については、「現状でよい」が最も多く(80.9%)、次いで「減らしてもよい」(15.5%)、「増やしてほしい」(1.4%)の順である。

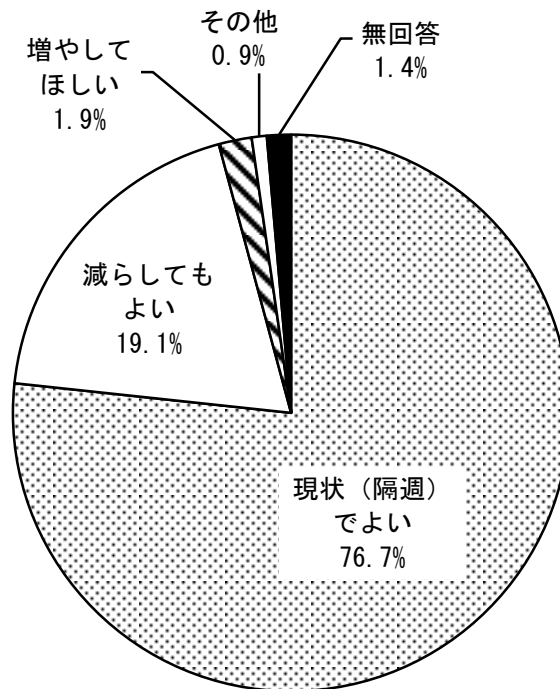
図 2-24 現在の収集回数に対する考え(古紙)



② びん

びんについては、「現状でよい」が最も多く(76.7%)、次いで「減らしてもよい」(19.1%)、「増やしてほしい」(1.9%)の順である。

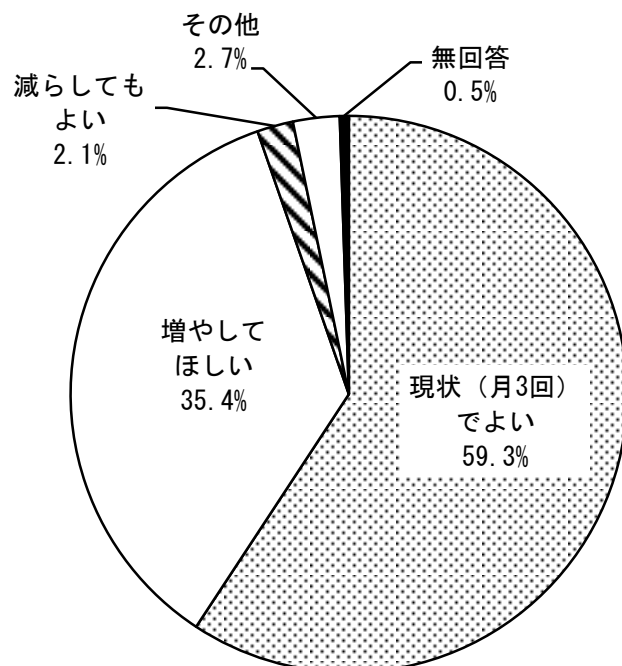
図 2-25 現在の収集回数に対する考え(びん)



③ プラスチック・ペットボトル

プラスチック・ペットボトルについては、「現状でよい」が最も多く(59.3%)、次いで「増やしてほしい」(35.4%)、「減らしてもよい」(2.1%)の順である。

図 2-26 現在の収集回数に対する考え(プラスチック・ペットボトル)



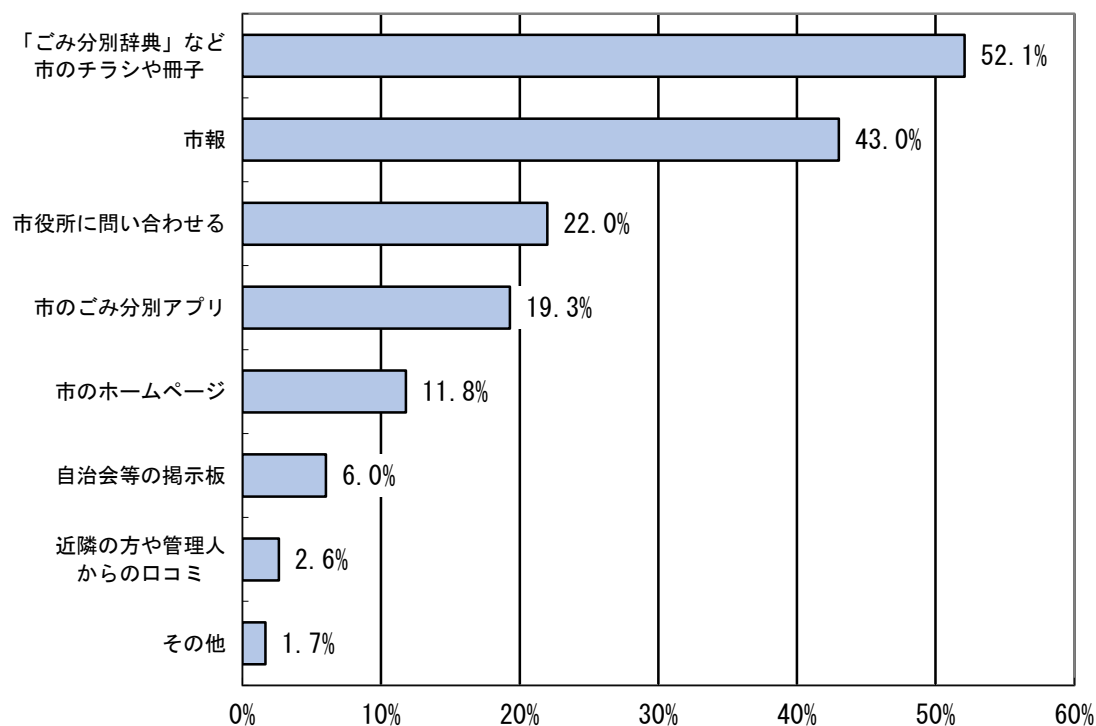
6 市の清掃・リサイクルに関する情報

(1) 市の清掃・リサイクルに関する情報の取得方法（複数回答）

市の清掃・リサイクルに関する情報の取得方法については、「『ごみ分別辞典』など市のチラシや冊子」が最も多く(52.1%)、次いで「市報」(43.0%)、「市役所に問い合わせる」(22.0%)、「市のごみ分別アプリ」(19.3%)などの順である。

属性別に見ると、年齢別では「60代」、「70代以上」といった高齢層で『市のごみ分別アプリ』が多く、若年層になるにつれて少なくなる傾向にある。また、[40代～70代以上]で『市役所に問い合わせる』が多い。逆に「10代～30代」では『市のホームページ』が多い。

図 2-27 市の清掃・リサイクルに関する情報の取得方法



【その他の主な回答】

- 情報がなくてわからない・・・6人
- 親に聞いている・・・2人
- 回覧板・・・2人

表 2-5 市の清掃・リサイクルに関する情報の取得方法（属性別）

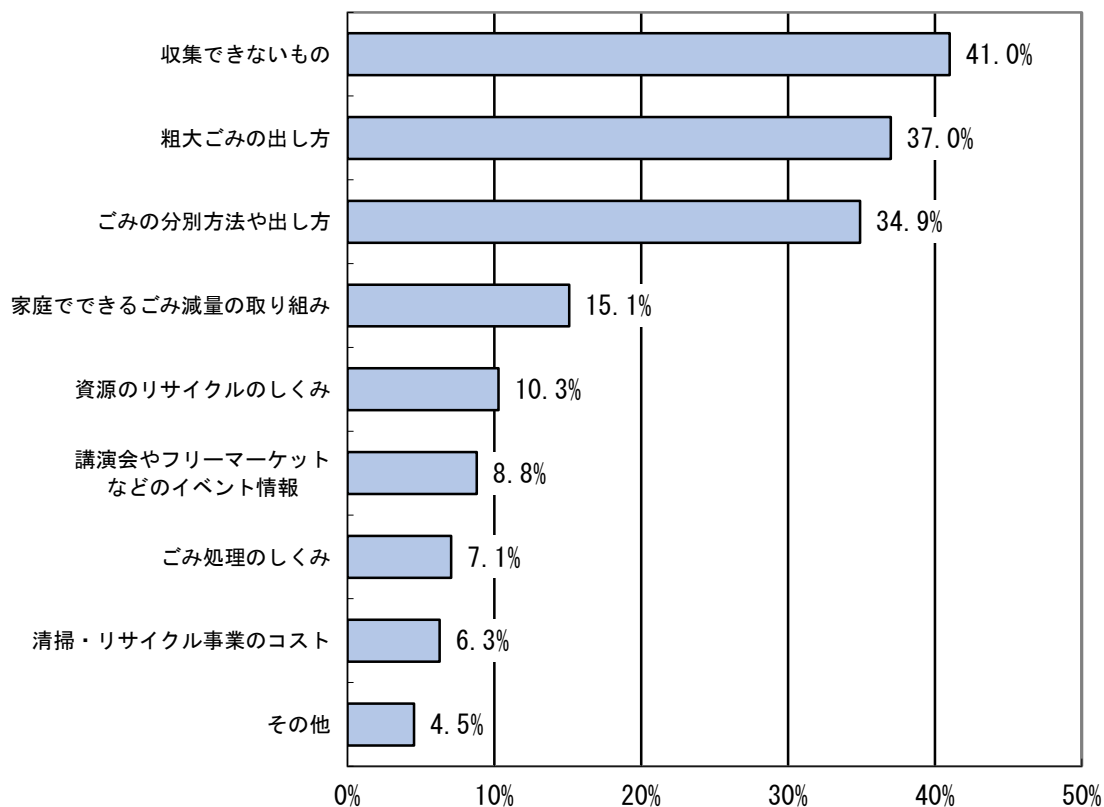
（上段は回答数：件・下段は割合：％）

		合計	問11(1) 普段、市の清掃・リサイクルに関する情報をどのように得ていますか。								
			「ごみ分別辞典」など市のチラシや冊子	市報	市役所に問い合わせる	市のごみ分別アプリ	市のホームページ	自治会等の掲示板	近隣の方や管理人からの口コミ	その他	無回答
全体		1,146	597 52.1	493 43.0	252 22.0	221 19.3	135 11.8	69 6.0	30 2.6	19 1.7	27 2.4
年齢	10代	26	13 50.0	11 42.3	0 0.0	2 7.7	5 19.2	1 3.8	0 0.0	2 7.7	0 0.0
	20代	62	31 50.0	15 24.2	10 16.1	4 6.5	17 27.4	2 3.2	1 1.6	2 3.2	3 4.8
	30代	113	67 59.3	45 39.8	10 8.8	13 11.5	23 20.4	6 5.3	2 1.8	2 1.8	0 0.0
	40代	207	119 57.5	85 41.1	48 23.2	22 10.6	33 15.9	7 3.4	2 1.0	2 1.0	4 1.9
	50代	161	89 55.3	67 41.6	38 23.6	21 13.0	19 11.8	7 4.3	5 3.1	4 2.5	1 0.6
	60代	265	144 54.3	136 51.3	61 23.0	50 18.9	20 7.5	20 7.5	10 3.8	2 0.8	7 2.6
	70代以上	299	128 42.8	128 42.8	83 27.8	106 35.5	17 5.7	26 8.7	10 3.3	5 1.7	11 3.7
家族人数	1人 (1人暮らし)	100	45 45.0	36 36.0	19 19.0	26 26.0	11 11.0	16 16.0	6 6.0	3 3.0	3 3.0
	2人	411	214 52.1	189 46.0	95 23.1	94 22.9	37 9.0	25 6.1	15 3.6	5 1.2	11 2.7
	3人	284	150 52.8	110 38.7	70 24.6	44 15.5	33 11.6	15 5.3	3 1.1	6 2.1	7 2.5
	4人	226	118 52.2	100 44.2	40 17.7	35 15.5	31 13.7	5 2.2	3 1.3	3 1.3	4 1.8
	5人以上	117	67 57.3	54 46.2	28 23.9	20 17.1	23 19.7	8 6.8	3 2.6	2 1.7	1 0.9
住居形態	戸建て	885	478 54.0	401 45.3	186 21.0	169 19.1	99 11.2	36 4.1	24 2.7	13 1.5	17 1.9
	管理人のいない集合住宅	158	75 47.5	50 31.6	42 26.6	39 24.7	25 15.8	21 13.3	3 1.9	3 1.9	3 1.9
	管理人のいる集合住宅	69	31 44.9	29 42.0	19 27.5	8 11.6	9 13.0	10 14.5	1 1.4	1 1.4	1 1.4
	その他	19	8 42.1	9 47.4	4 21.1	3 15.8	2 10.5	2 10.5	0 0.0	2 10.5	2 10.5
居住年数	1年未満	33	19 57.6	7 21.2	2 6.1	6 18.2	8 24.2	1 3.0	0 0.0	1 3.0	1 3.0
	5年未満	139	71 51.1	51 36.7	32 23.0	23 16.5	23 16.5	11 7.9	3 2.2	2 1.4	5 3.6
	10年未満	152	81 53.3	57 37.5	32 21.1	25 16.4	24 15.8	8 5.3	4 2.6	1 0.7	1 0.7
	20年未満	285	149 52.3	128 44.9	76 26.7	43 15.1	37 13.0	17 6.0	5 1.8	6 2.1	3 1.1
	20年以上	526	274 52.1	245 46.6	109 20.7	122 23.2	43 8.2	32 6.1	18 3.4	9 1.7	15 2.9

(2) 市の清掃・リサイクルに関する情報で知りたいもの（複数回答）

市の清掃・リサイクルに関する情報で知りたいものについては、「収集できないもの」が最も多く(41.0%)、次いで「粗大ごみの出し方」(37.0%)、「ごみの分別方法や出し方」(34.9%)などの順である。

図 2-28 市の清掃・リサイクルに関する情報で知りたいもの



【その他の主な回答】

- 現在の情報で十分・・・・・・・・・・20人
- 分別について、より細かい情報・・・・・・・・4人
- 分別辞典をわかりやすくしてほしい・・・・2人
- 不要品の譲り合い情報・・・・・・・・・・1人

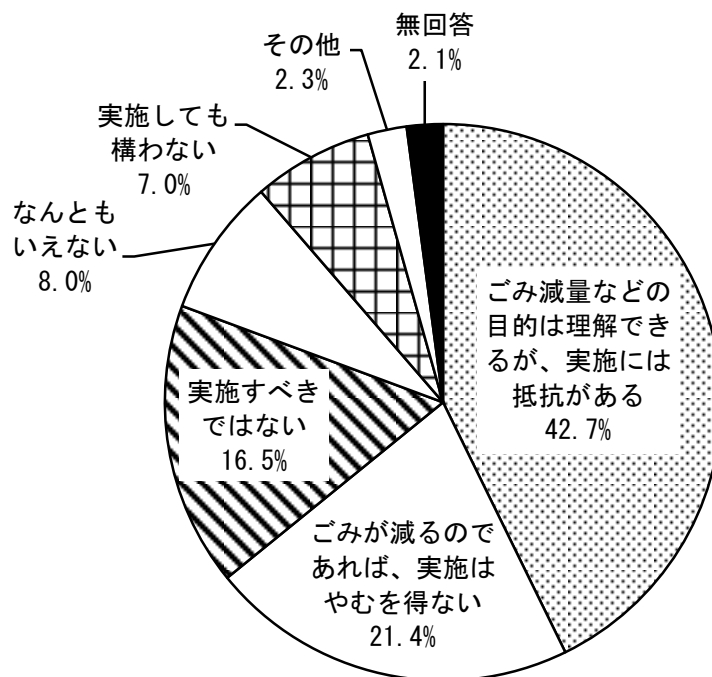
7 家庭ごみの有料化・戸別収集

(1) 家庭ごみの有料化の実施に対する考え

家庭ごみの有料化の実施に対する考えについては、「ごみ減量などの目的は理解できるが、実施には抵抗がある」が最も多く(42.7%)、次いで「ごみが減るのであれば、実施はやむを得ない」(21.4%)、「実施すべきではない」(16.5%)、「なんともいえない」(8.0%)、「実施しても構わない」(7.0%)の順である。

属性別に見ると、年齢別では「60代」、「70代以上」といった高齢層で『実施しても構わない』『ごみが減るのであれば、実施はやむを得ない』が多く、逆に若年層となるにつれて『ごみ減量などの目的は理解できるが、実施には抵抗がある』『実施すべきではない』が多くなる傾向にある。

図 2-29 家庭ごみの有料化の実施に対する考え



【その他の主な回答】

- 近隣市からの不法投棄がなくなる・・・10人
- 不法投棄が発生すると思うのでどちらとも言えない・・・2人
- 落ち葉がたくさん出るので有料化は困る・・・2人
- 戸別収集になるなら実施してもよい・・・2人

表 2-6 家庭ごみの有料化の実施に対する考え（属性別）

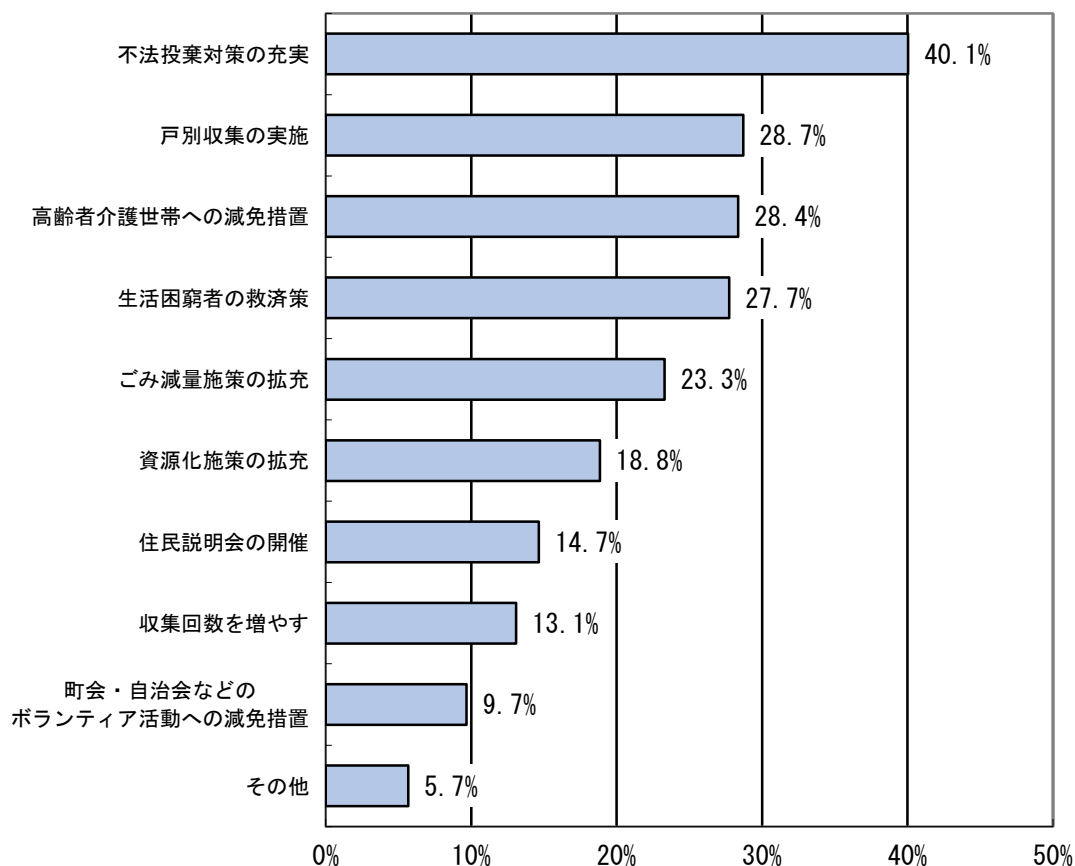
（上段は回答数：件・下段は割合：％）

	合計	問12(1) 家庭ごみの有料化の実施についてどのようにお考えですか。							
		ごみ減量などの目的は理解できるが、実施には抵抗がある	ごみが減るのであれば、実施はやむを得ない	実施すべきではない	なんともいえない	実施しても構わない	その他	無回答	
全体	1,146 100.0	490 42.7	245 21.4	189 16.5	92 8.0	80 7.0	26 2.3	24 2.1	
年齢	10代	26 100.0	13 50.0	1 3.8	8 30.8	4 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	62 100.0	27 43.5	8 12.9	21 33.9	4 6.5	0 0.0	1 1.6	1 1.6
	30代	113 100.0	55 48.7	18 15.9	14 12.4	15 13.3	4 3.5	4 3.5	3 2.7
	40代	207 100.0	97 46.9	35 16.9	44 21.3	11 5.3	12 5.8	7 3.4	1 0.5
	50代	161 100.0	80 49.7	33 20.5	16 9.9	15 9.3	10 6.2	3 1.9	4 2.5
	60代	265 100.0	109 41.1	67 25.3	36 13.6	17 6.4	29 10.9	4 1.5	3 1.1
	70代以上	299 100.0	105 35.1	80 26.8	46 15.4	26 8.7	25 8.4	7 2.3	10 3.3
家族人数	1人 (1人暮らし)	100 100.0	36 36.0	30 30.0	15 15.0	10 10.0	7 7.0	1 1.0	1 1.0
	2人	411 100.0	170 41.4	100 24.3	57 13.9	28 6.8	34 8.3	11 2.7	11 2.7
	3人	284 100.0	115 40.5	57 20.1	52 18.3	25 8.8	22 7.7	7 2.5	6 2.1
	4人	226 100.0	107 47.3	42 18.6	40 17.7	21 9.3	10 4.4	2 0.9	4 1.8
	5人以上	117 100.0	59 50.4	14 12.0	22 18.8	8 6.8	7 6.0	5 4.3	2 1.7
住居形態	戸建て	885 100.0	379 42.8	195 22.0	138 15.6	68 7.7	69 7.8	21 2.4	15 1.7
	管理人のいない集合住宅	158 100.0	73 46.2	27 17.1	31 19.6	16 10.1	8 5.1	2 1.3	1 0.6
	管理人のいる集合住宅	69 100.0	31 44.9	12 17.4	12 17.4	6 8.7	2 2.9	2 2.9	4 5.8
	その他	19 100.0	2 10.5	9 47.4	3 15.8	2 10.5	1 5.3	1 5.3	1 5.3
居住年数	1年未満	33 100.0	13 39.4	3 9.1	6 18.2	10 30.3	0 0.0	1 3.0	0 0.0
	5年未満	139 100.0	59 42.4	27 19.4	26 18.7	17 12.2	6 4.3	3 2.2	1 0.7
	10年未満	152 100.0	63 41.4	28 18.4	29 19.1	10 6.6	12 7.9	4 2.6	6 3.9
	20年未満	285 100.0	135 47.4	54 18.9	55 19.3	15 5.3	17 6.0	6 2.1	3 1.1
	20年以上	526 100.0	217 41.3	130 24.7	70 13.3	40 7.6	44 8.4	12 2.3	13 2.5

(2) 家庭ごみの有料化を実施する際の対策（複数回答）

家庭ごみの有料化を実施する際の対策については、「不法投棄対策の充実」が最も多く(40.1%)、次いで「戸別収集の実施」(28.7%)、「高齢者介護世帯への減免措置」(28.4%)、「生活困窮者の救済策」(27.7%)、「ごみ減量施策の拡充」(23.3%)などの順である。

図 2-30 家庭ごみの有料化を実施する際の対策



【その他の主な回答】

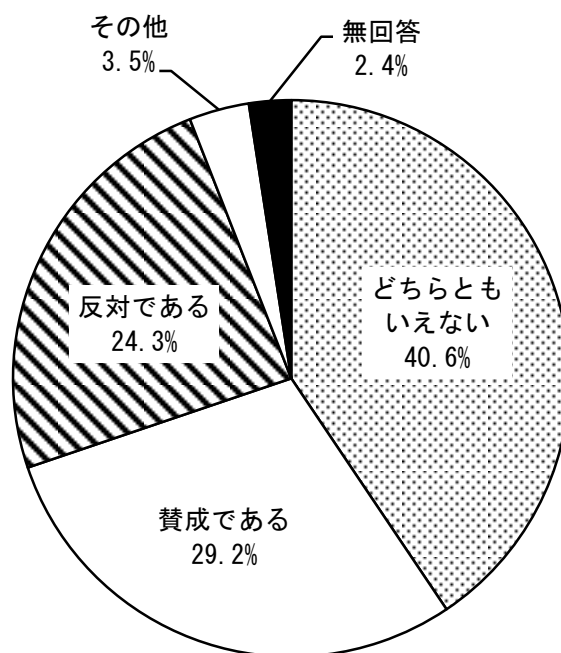
- 紙おむつを減免してほしい・・・5人
- 有料化費用分を市民税から控除・減税・・・2人
- 可燃ごみを庭で燃やす人が心配・・・2人
- 他自治体に左右されないでほしい・・・1人
- 販売店と協力して発生抑制を推進・・・1人

(3) 戸別収集に対する考え

戸別収集に対する考えについては、「どちらともいえない」(40.6%)、「賛成である」(29.2%)、「反対である」(24.3%)の順である。

属性別に見ると、居住形態別では「戸建て」で『賛成である』が多く、逆に「管理人のいない集合住宅」で『反対である』が多い。

図 2-31 戸別収集に対する考え



【その他の主な回答】

- 集合住宅は難しい・・・・・・・・・・ 10人
- 収集作業員がたいへんになる・・・・ 9人
- コストが増加する・・・・・・・・・・ 9人
- 現状でよい・・・・・・・・・・ 5人
- 温室効果ガスが増える・・・・・・・・ 4人
- 交通事故が心配・・・・・・・・・・ 3人
- 道路が混雑する・・・・・・・・・・ 3人
- 不法投棄がなくなる・・・・・・・・ 2人
- 元の集積所や空き地に不法投棄・・ 2人
- 高齢者の見守りが必要・・・・・・・・ 2人
- コストが増えなければ賛成・・・・ 2人

表 2-7 戸別収集に対する考え（属性別）

（上段は回答数：件・下段は割合：％）

		合計	問13 戸別収集についてどのようにお考えですか。				無回答
			どちらともいえない	賛成である	反対である	その他	
全体		1,146 100.0	465 40.6	335 29.2	278 24.3	40 3.5	28 2.4
年齢	10代	26 100.0	11 42.3	1 3.8	13 50.0	1 3.8	0 0.0
	20代	62 100.0	30 48.4	14 22.6	17 27.4	1 1.6	0 0.0
	30代	113 100.0	54 47.8	23 20.4	28 24.8	6 5.3	2 1.8
	40代	207 100.0	79 38.2	70 33.8	48 23.2	10 4.8	0 0.0
	50代	161 100.0	74 46.0	54 33.5	26 16.1	3 1.9	4 2.5
	60代	265 100.0	95 35.8	97 36.6	60 22.6	10 3.8	3 1.1
	70代以上	299 100.0	117 39.1	73 24.4	82 27.4	9 3.0	18 6.0
家族人数	1人 (1人暮らし)	100 100.0	46 46.0	24 24.0	25 25.0	4 4.0	1 1.0
	2人	411 100.0	163 39.7	110 26.8	106 25.8	17 4.1	15 3.6
	3人	284 100.0	107 37.7	106 37.3	59 20.8	8 2.8	4 1.4
	4人	226 100.0	98 43.4	65 28.8	55 24.3	5 2.2	3 1.3
	5人以上	117 100.0	48 41.0	29 24.8	29 24.8	6 5.1	5 4.3
住居形態	戸建て	885 100.0	352 39.8	290 32.8	203 22.9	26 2.9	14 1.6
	管理人のいない集合住宅	158 100.0	74 46.8	22 13.9	46 29.1	11 7.0	5 3.2
	管理人のいる集合住宅	69 100.0	28 40.6	17 24.6	16 23.2	3 4.3	5 7.2
	その他	19 100.0	4 21.1	5 26.3	9 47.4	0 0.0	1 5.3
居住年数	1年未満	33 100.0	18 54.5	2 6.1	9 27.3	4 12.1	0 0.0
	5年未満	139 100.0	51 36.7	32 23.0	49 35.3	4 2.9	3 2.2
	10年未満	152 100.0	62 40.8	38 25.0	40 26.3	6 3.9	6 3.9
	20年未満	285 100.0	122 42.8	93 32.6	57 20.0	12 4.2	1 0.4
	20年以上	526 100.0	209 39.7	168 31.9	118 22.4	14 2.7	17 3.2

8 市のごみの減量や処理などについての満足度

(1) ごみの収集(収集回数や分別等)の満足度

ごみの収集の満足度は、「どちらかといえば満足している」(45.1%)、「満足している」(40.4%)、「どちらかといえば不満がある」(6.9%)、「わからない」(4.6%)、「不満がある」(1.2%)の順である。

(2) ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供の満足度

ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供の満足度は、「どちらかといえば満足している」(41.5%)、「わからない」(24.3%)、「満足している」(22.7%)、「どちらかといえば不満がある」(6.7%)、「不満がある」(1.5%)の順である。

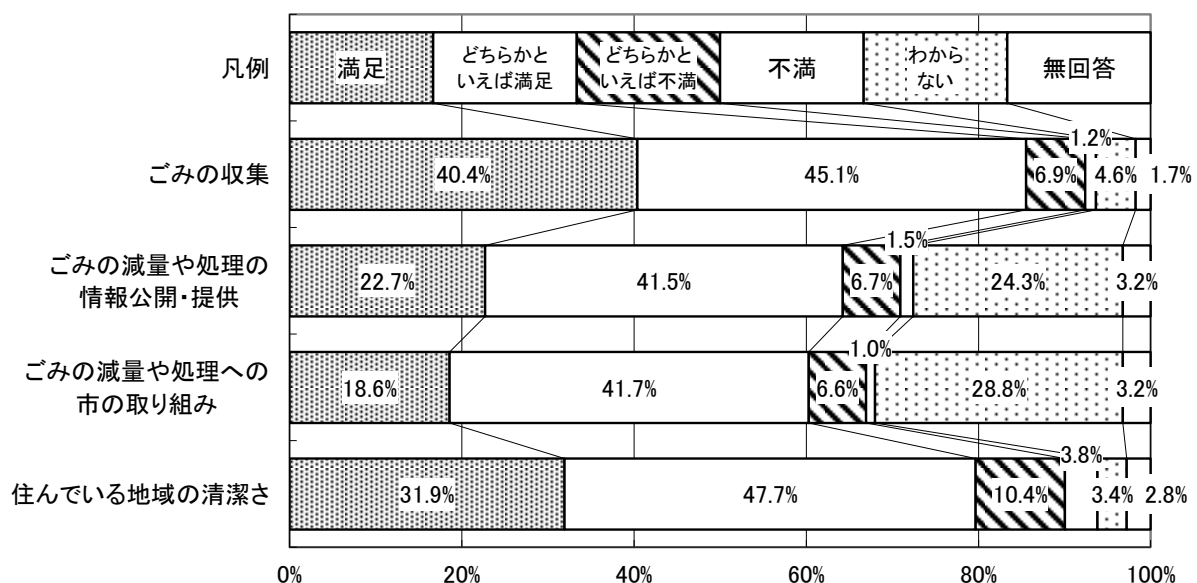
(3) ごみの減量や処理への市の取り組みの満足度

ごみの減量や処理への市の取り組みの満足度は、「どちらかといえば満足している」(41.7%)、「わからない」(28.8%)、「満足している」(18.6%)、「どちらかといえば不満がある」(6.6%)、「不満がある」(1.0%)の順である。

(4) 住んでいる地域の清潔さの満足度

住んでいる地域の清潔さの満足度は、「どちらかといえば満足している」(47.7%)、「満足している」(31.9%)、「どちらかといえば不満がある」(10.4%)、「不満がある」(3.8%)、「わからない」(3.4%)の順である。

図 2-32 満足度



「ごみの収集の満足度」は満足している人が多く、「ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供の満足度」、「ごみの減量や処理についての市の取り組みの満足度」は他の2項目と比べて「わからない」が多い。「住んでいる地域の清潔さの満足度」は4項目の中で、満足と感じている回答者が多かったが、不満を感じている回答者も多く、4項目の中で、「どちらかといえば不満がある」と「不満がある」の合計が最も多かった。

各項目について、評価点は「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらかといえば不満がある」を2点、「不満がある」を1点として平均点を算定した。「ごみの収集の満足度」(4.25点)、「ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供の満足度」(4.07点)、「ごみの減量や処理への市の取り組みの満足度」(4.03点)、「住んでいる地域の清潔さの満足度」(4.00点)の順である。

表 2-8 満足度

項目	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満がある	不満がある	わからない	無回答
ごみの収集	40.4%	45.2%	6.9%	1.2%	4.6%	1.7%
ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供	22.7%	41.6%	6.7%	1.5%	24.3%	3.2%
ごみの減量や処理への市の取り組み	18.6%	41.8%	6.6%	1.0%	28.8%	3.2%
住んでいる地域の清潔さ	31.9%	47.7%	10.4%	3.8%	3.4%	2.8%

表 2-9 満足度の評価

項目	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満がある	不満がある	わからない	無回答	評価点
ごみの収集	463	517	79	14	53	20	4.25
ごみの減量や処理についての市からの情報公開・提供	260	476	77	17	279	37	4.07
ごみの減量や処理への市の取り組み	213	478	76	12	330	37	4.03
住んでいる地域の清潔さ	366	547	119	43	39	32	4.00

(注)評価点は「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらかといえば不満がある」を2点、「不満がある」を1点として平均点を算定した。

9 ごみの処分方法

(1) ペットボトル

ペットボトルは、「市の資源収集」(44.6%)、「市のごみ収集」(28.3%)、「スーパー店頭回収ボックス」(10.5%)、「公共施設の回収ボックス」(2.2%)、「自治体などの集団回収」(1.2%)、「その他のリサイクル」(0.4%)、「この品目は出ない」(0.3%)の順である。

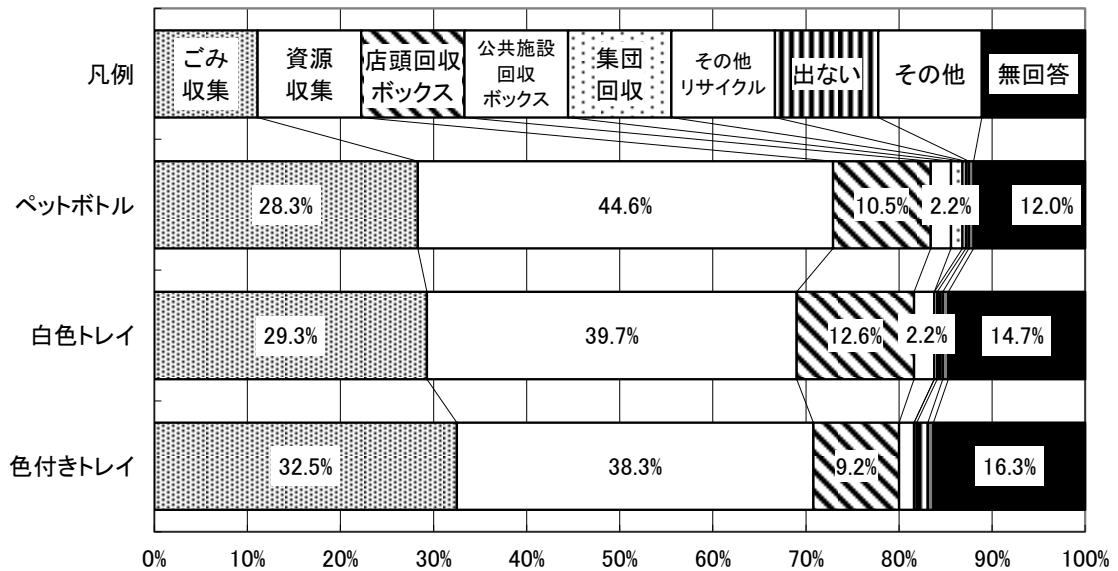
(2) 白色トレイ

白色トレイは、「市の資源収集」(39.7%)、「市のごみ収集」(29.3%)、「スーパー店頭回収ボックス」(12.6%)、「公共施設の回収ボックス」(2.2%)、「この品目は出ない」(0.6%)、「その他のリサイクル」(0.3%)の順である。

(3) 色付きトレイ

色付きトレイは、「市の資源収集」(38.3%)、「市のごみ収集」(32.5%)、「スーパー店頭回収ボックス」(9.2%)、「公共施設の回収ボックス」(1.6%)、「この品目は出ない」(1.2%)、「その他のリサイクル」(0.3%)の順である。

図 2-33 ペットボトル・白色トレイ・色付きトレイの処分方法

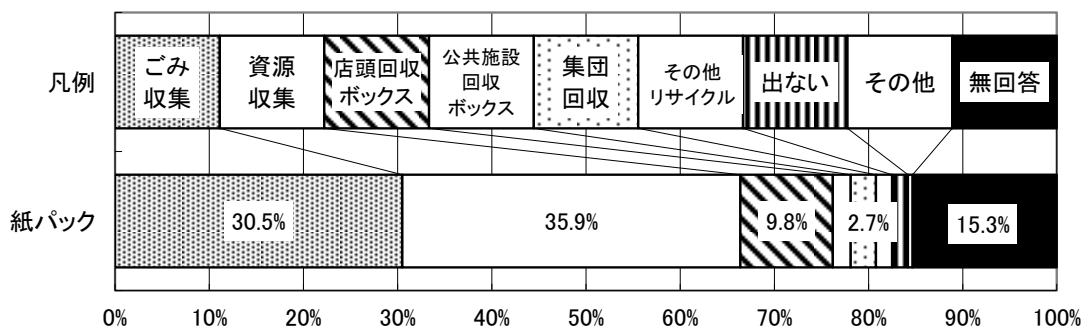


	市のごみ収集	市の資源収集	店頭回収ボックス	公共施設回収ボックス	集団回収	その他リサイクル	出ない	その他	無回答
ペットボトル	28.3%	44.6%	10.5%	2.2%	1.2%	0.4%	0.3%	0.5%	12.0%
白色トレイ	29.3%	39.7%	12.6%	2.2%	0.0%	0.3%	0.6%	0.6%	14.7%
色付きトレイ	32.5%	38.3%	9.2%	1.6%	0.0%	0.3%	1.2%	0.6%	16.3%

(4) 紙パック

紙パックは、「市の資源収集」(35.9%)、「市のごみ収集」(30.5%)、「スーパー店頭の回収ボックス」(9.8%)、「自治体などの集団回収」(2.7%)、「公共施設の回収ボックス」(1.9%)、「その他のリサイクル」(1.7%)、「この品目は出ない」(1.7%)の順である。

図 2-34 紙パックの処分方法



	ごみ収集	資源収集	店頭回収ボックス	公共施設回収ボックス	集団回収	その他リサイクル	出ない	その他	無回答
紙パック	30.5%	35.9%	9.8%	1.9%	2.7%	1.7%	1.7%	0.5%	15.3%

(5) 新聞・折込広告

新聞・折込広告は、「市の資源収集」(35.4%)、「その他のリサイクル」(16.9%)、「市のごみ収集」(15.5%)、「自治体などの集団回収」(12.0%)、「この品目は出ない」(3.2%)の順である。

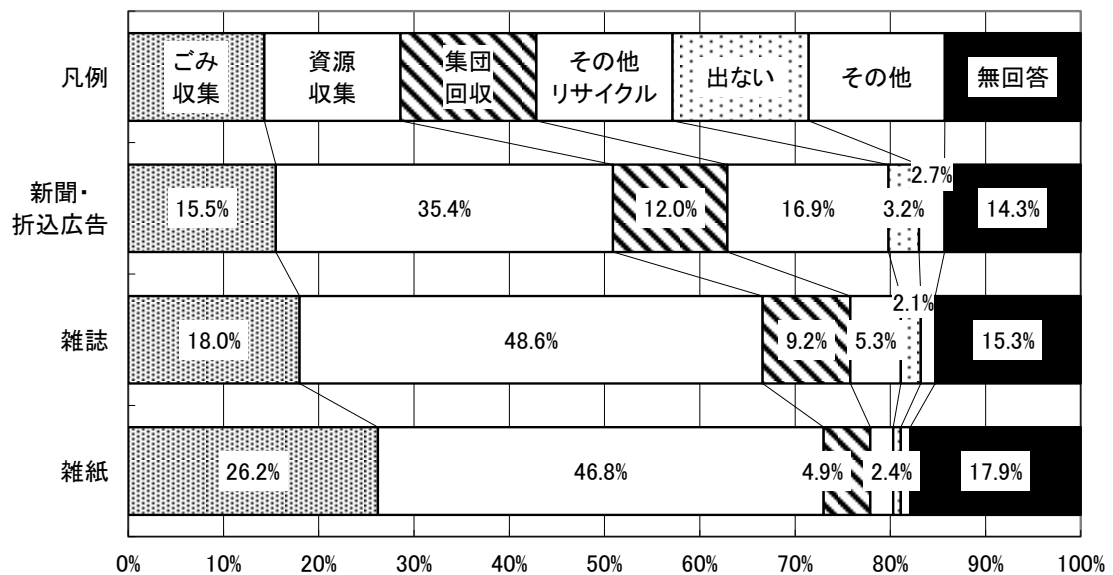
(6) 雑誌

雑誌は、「市の資源収集」(48.6%)、「市のごみ収集」(18.0%)、「自治体などの集団回収」(9.2%)、「その他のリサイクル」(5.3%)、「この品目は出ない」(2.1%)の順である。

(7) 雑紙(ざつがみ)

雑紙は、「市の資源収集」(46.8%)、「市のごみ収集」(26.2%)、「自治体などの集団回収」(4.9%)、「その他のリサイクル」(2.4%)、「この品目は出ない」(0.8%)の順である。

図 2-35 新聞・折込広告、雑誌、雑紙の処分方法



	ごみ収集	資源収集	集団回収	その他リサイクル	出ない	その他	無回答
新聞・折込広告	15.5%	35.4%	12.0%	16.9%	3.2%	2.7%	14.3%
雑誌	18.0%	48.6%	9.2%	5.3%	2.1%	1.5%	15.3%
雑紙(ざつがみ)	26.2%	46.8%	4.9%	2.4%	0.8%	1.0%	17.9%

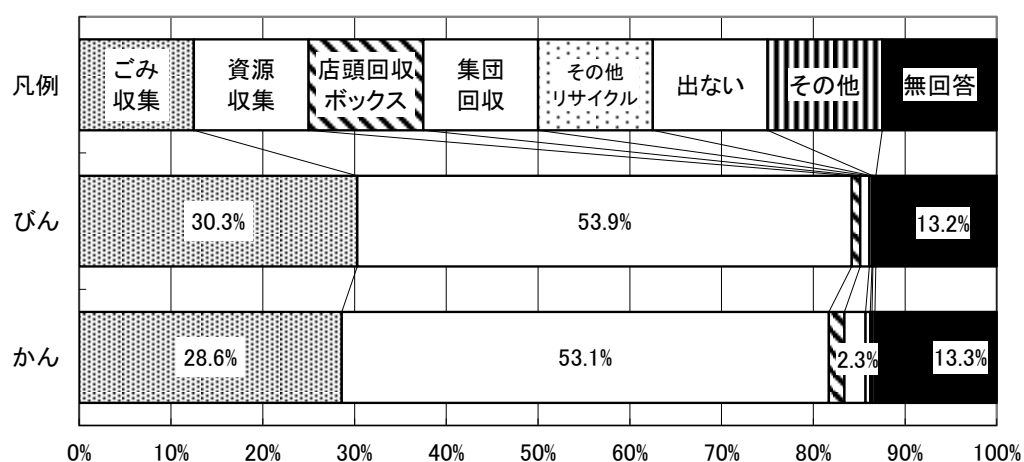
(8) びん

びんは、「市の資源収集」(53.9%)、「市のごみ収集」(30.3%)、「自治体などの集団回収」(1.0%)、「スーパー店頭回収ボックス」(0.9%)、「その他のリサイクル」(0.3%)、「この品目はない」(0.1%)の順である。

(9) かん

かんは、「市の資源収集」(53.1%)、「市のごみ収集」(28.6%)、「自治体などの集団回収」(2.3%)、「スーパー店頭回収ボックス」(1.7%)、「その他のリサイクル」(0.5%)、「この品目はない」(0.2%)の順である。

図 2-36 びん、かんの処分方法

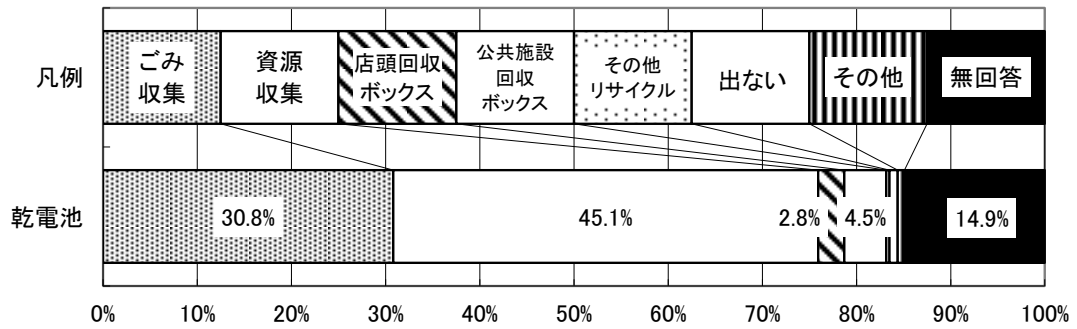


	市のごみ収集	市の資源収集	自治体などの集団回収	スーパー店頭回収ボックス	その他のリサイクル	この品目はない	その他	無回答
びん	30.3%	53.9%	1.0%	0.9%	0.3%	0.1%	0.3%	13.2%
かん	28.6%	53.1%	2.3%	1.7%	0.5%	0.2%	0.3%	13.3%

(10) 乾電池

乾電池は、「市の資源収集」(45.1%)、「市のごみ収集」(30.8%)、「公共施設の回収ボックス」(4.5%)、「スーパー店頭回収ボックス」(2.8%)、「この品目は出ない」(0.9%)、「その他のリサイクル」(0.3%)の順である。

図 2-37 乾電池の処分方法



	ごみ収集	資源収集	店頭回収ボックス	公共施設回収ボックス	その他リサイクル	出ない	その他	無回答
乾電池	30.8%	45.1%	2.8%	4.5%	0.3%	0.9%	0.7%	14.9%

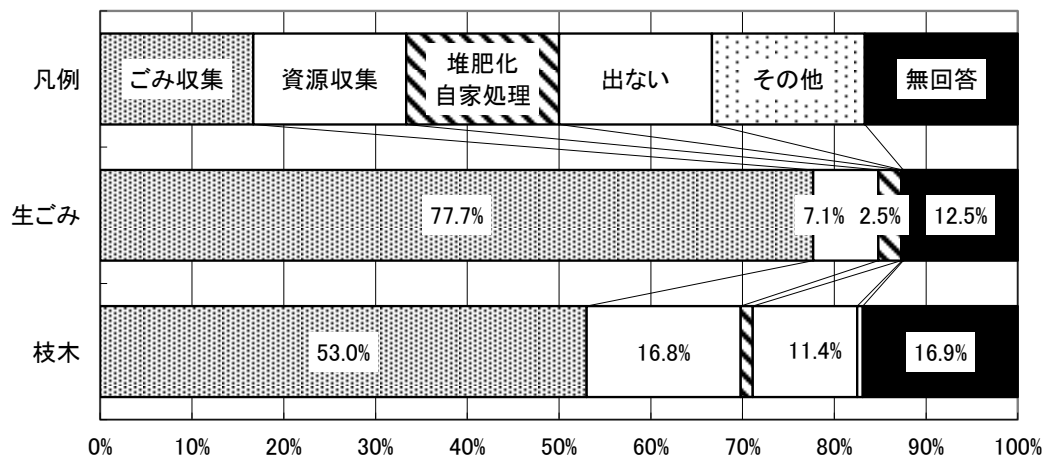
(11) 生ごみ

生ごみは、「市のごみ収集」(77.7%)、「市の資源収集」(7.1%)、「堆肥化・庭に埋めるなどの自家処理」(2.5%)、「この品目は出ない」(0.1%)の順である。

(12) 自宅で切った枝木

自宅で切った枝木は、「市のごみ収集」(53.0%)、「市の資源収集」(16.8%)、「この品目は出ない」(11.4%)、「堆肥化・庭に埋めるなどの自家処理」(1.3%)の順である。

図 2-38 生ごみ、自宅で切った枝木の処分方法



	ごみ収集	資源収集	堆肥化 自家処理	出ない	その他	無回答
生ごみ	77.7%	7.1%	2.5%	0.1%	0.1%	12.5%
枝木	53.0%	16.8%	1.3%	11.4%	0.6%	16.9%

第3部 事業所アンケート調査

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査の目的は、武蔵村山市の事業所のごみ・資源の処理方法、ごみ減量についての日頃の取り組みなどを把握することにより、一般廃棄物処理基本計画策定のための基礎資料を得ることである。

2 調査対象

武蔵村山市内の200事業所を対象とした。抽出方法は、課税台帳市内法人データから無作為抽出した。

3 調査方法

調査票の送付および回収は郵送で行った。

4 調査期間

平成28年11月16日に調査票を発送した。回収期限は平成28年12月5日としたが、平成29年1月5日到着分までを集計対象とした。

5 回収状況

発送した200件のうち、75件を回収した。宛先不明や転出等で返送された13件を除く187件に対し、有効回収率は40.1%である。

6 留意事項

表やグラフ中にある割合は、原則として小数点第一位で四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

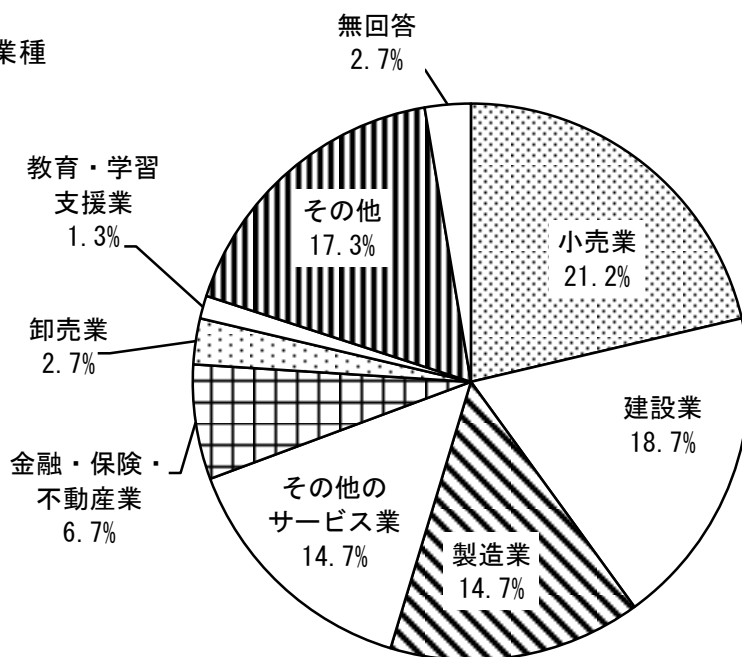
第2章 調査結果

1 回答者の属性

(1) 業種

回答者を業種別にみると、「小売業」(21.2%)、「建設業」(18.7%)、「製造業」と「その他のサービス業」がともに(14.7%)などの順である。

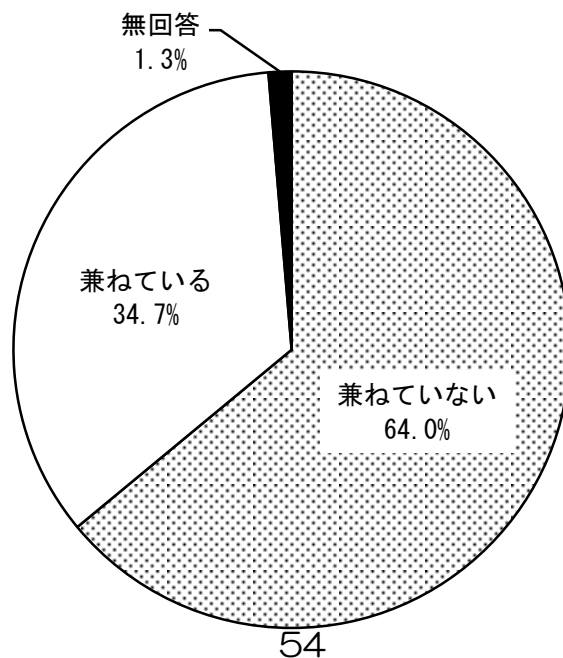
図 3-1 業種



(2) 住居併設と住まいの兼用

回答者が事業所と住まいを兼ねているか否かをみると、「兼ねていない」(64.0%)、「兼ねている」(34.7%)の順である。

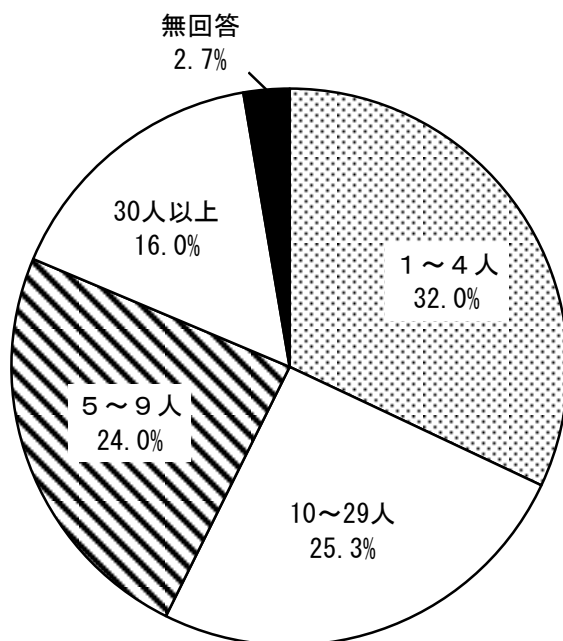
図 3-2 事業所と住まいの兼用



(3) 従業員数

回答者を従業員数別にみると、「1～4人」が最も多く（32.0%）、次いで「10～29人」（25.3%）、「5～9人」（24.0%）、「30人以上」（16.0%）の順である。従業員数30人未満の事業所が、全体の8割以上を占めている。

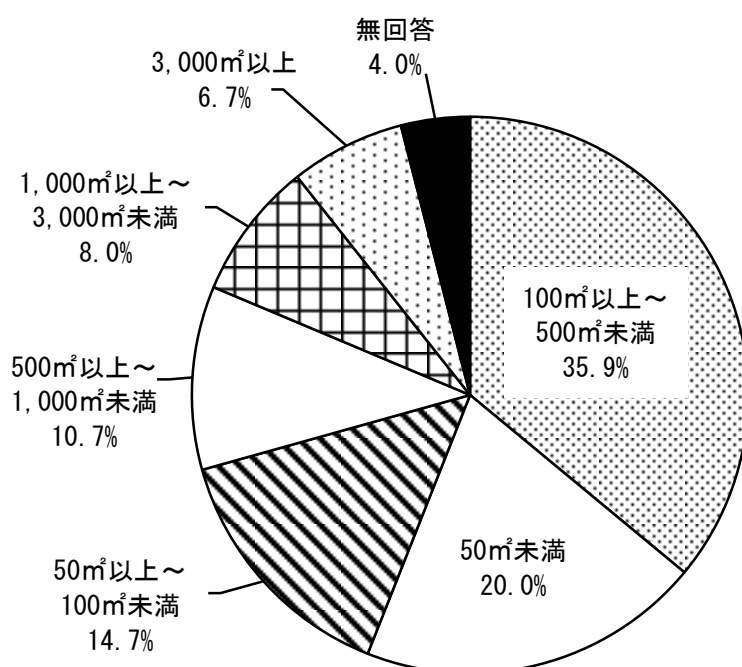
図 3-3 従業員数



(4) 延床面積

回答者を事業所の延床面積別にみると、「100㎡以上～500㎡未満」が最も多く（35.9%）、次いで「50㎡未満」（20.0%）、「50㎡以上～100㎡未満」（14.7%）、「500㎡以上～1,000㎡未満」（10.7%）、「1,000㎡以上～3,000㎡未満」（8.0%）、「3,000㎡以上」（6.7%）などの順である。

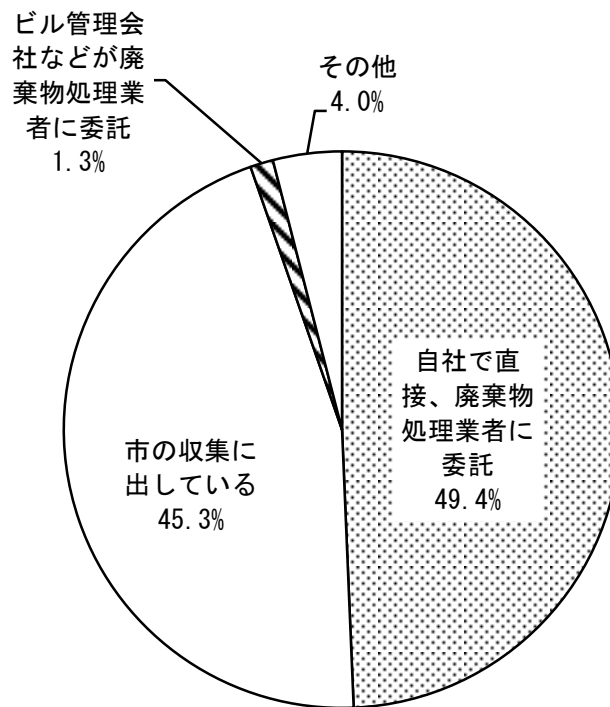
図 3-4 延床面積



2 事業所のごみの処理方法

事業所のごみの処理方法については、「自社で直接、廃棄物処理業者に委託」が最も多く（49.4%）、次いで「市の収集に出している」（45.3%）、「ビル管理会社などが廃棄物処理業者に委託」（1.3%）の順である。「自社で直接、廃棄物処理業者に委託」と「市の収集に出している」がともに半数近くを占め、この2つで全体の約95%を占めている。

図 3-5 事業所のごみの処理方法

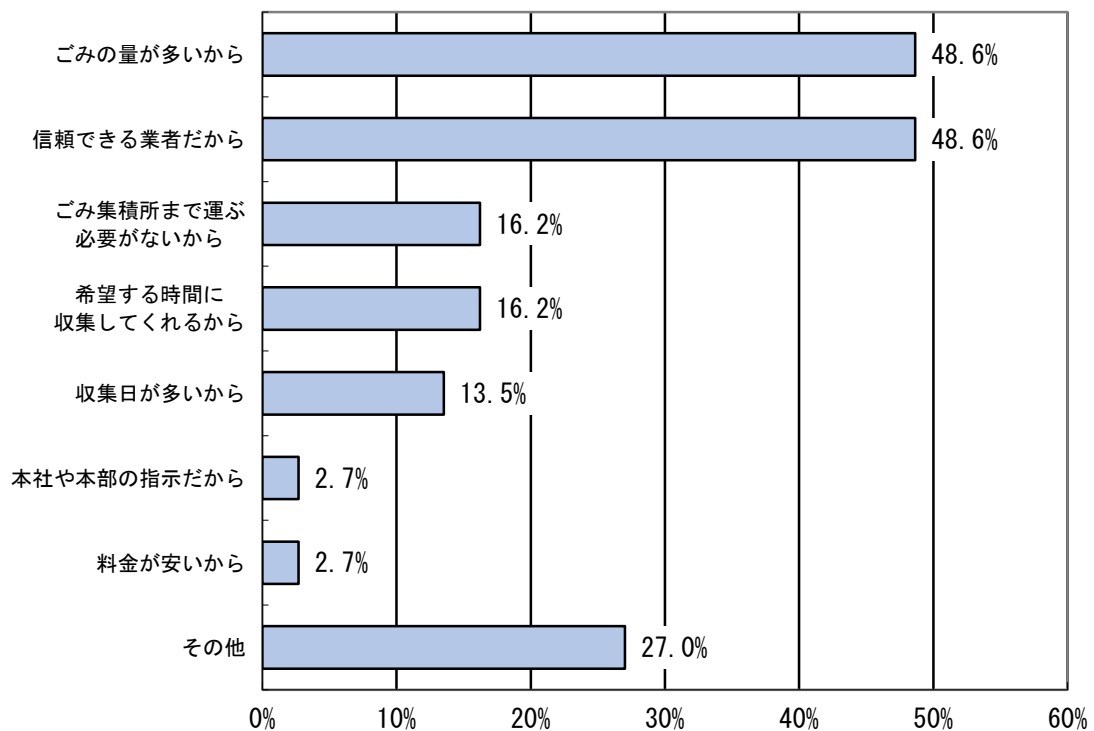


3 処理業者への委託

(1) 処理業者に委託している理由（複数回答）

処理業者に委託している理由については、「ごみの量が多いから」と「信頼できる業者だから」がともに（48.6%）と最も多く、次いで「ごみ集積所まで運ぶ必要がないから」と「希望する時間に収集してくれるから」がともに（16.2%）、「収集日が多いから」（13.5%）などの順である。

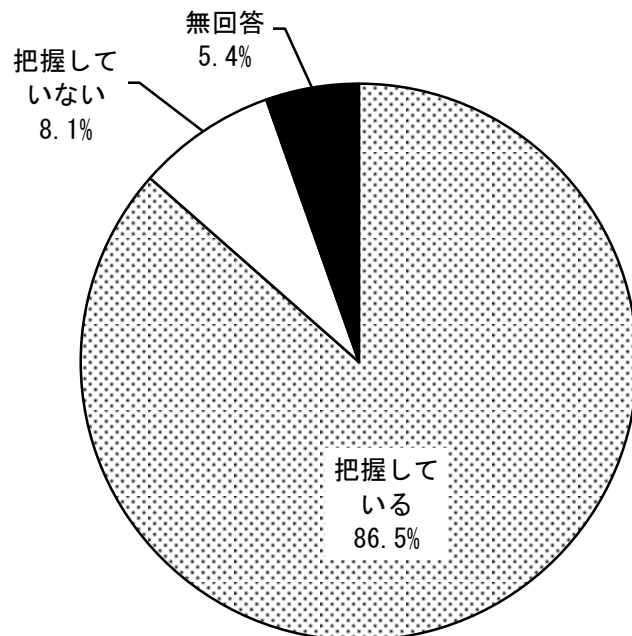
図 3-6 処理業者に委託している理由



(2) 事業所が処理業者に委託しているごみの排出量の把握状況

事業所が処理業者に委託しているごみの排出量の把握状況については、「把握している」(86.5%)、「把握していない」(8.1%)の順である。

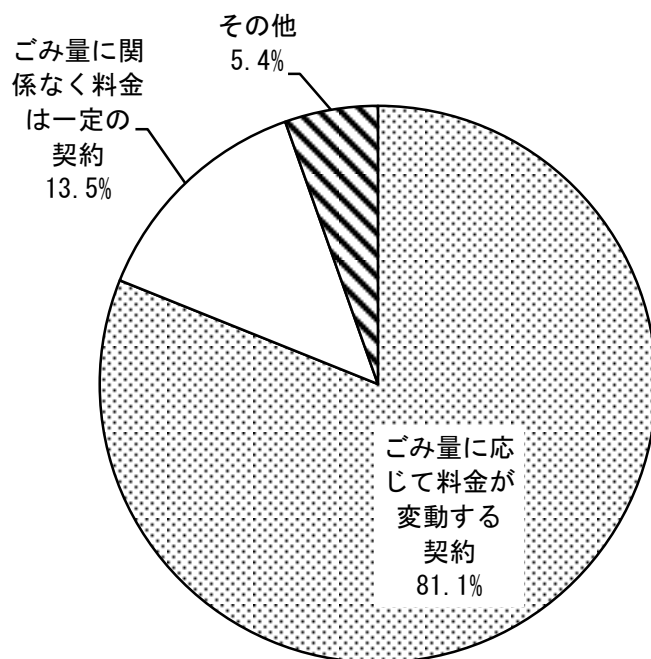
図 3-7 事業所が処理業者に委託しているごみの排出量の把握状況



(3) 処理業者との契約形態

処理業者との契約形態については、「ごみ量に応じて料金が変動する契約」(81.1%)、「ごみ量に関係なく料金は一定の契約」(13.5%)の順である。

図 3-8 処理業者との契約形態

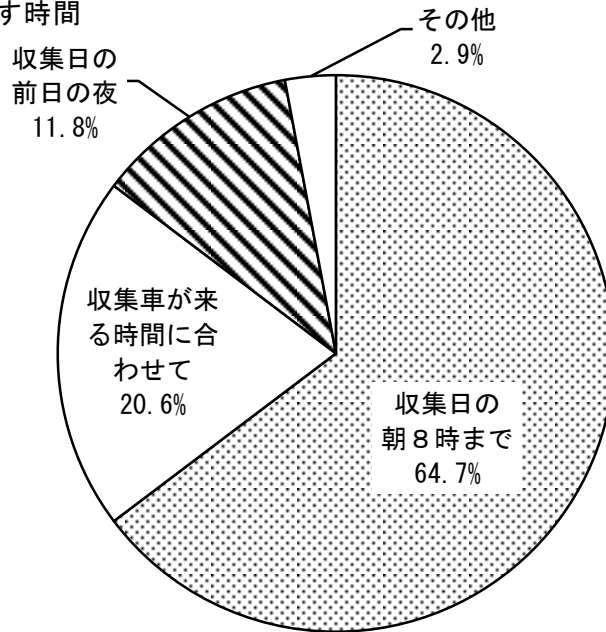


4 ごみ集積所への排出

(1) ごみを出す時間

ごみを出す時間については、「収集日の朝8時まで」が最も多く（64.7%）、次いで「収集車が来る時間に合わせて」（20.6%）、「収集日の前日の夜」（11.8%）の順である。

図 3-9 ごみを出す時間

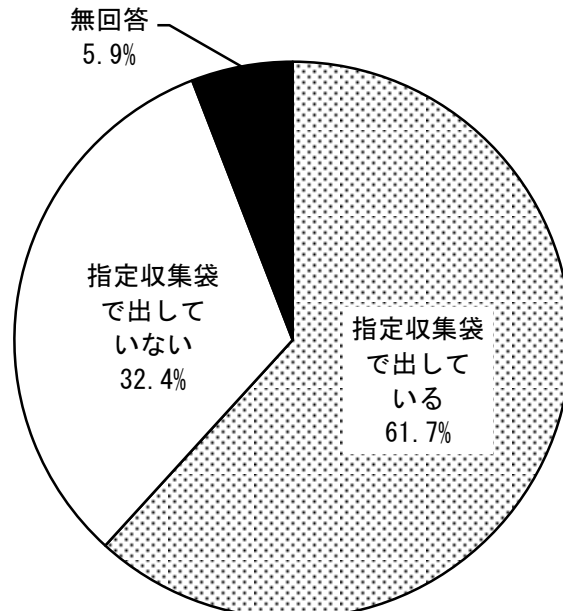


(2) ごみ排出における指定収集袋※の使用の有無

ごみ排出における指定収集袋の使用の有無については、「指定収集袋で出している」（61.7%）、「指定収集袋で出していない」（32.4%）の順である。約1/3の事業所で指定収集袋を使用していない。

※ 市のルールでは、少量であっても指定袋の使用を義務付けている。

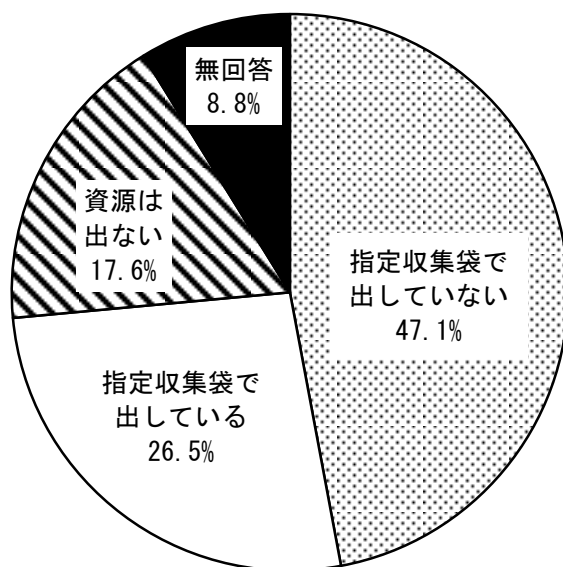
図 3-10 ごみ排出における指定収集袋の使用の有無



(3) 資源排出における指定収集袋の使用の有無

資源排出における指定収集袋の使用の有無については、「指定収集袋で出していない」(47.1%)、次いで「指定収集袋で出している」(26.5%)、「資源は出ない」(17.6%)の順である。約半数の事業所で指定収集袋を使用していない。

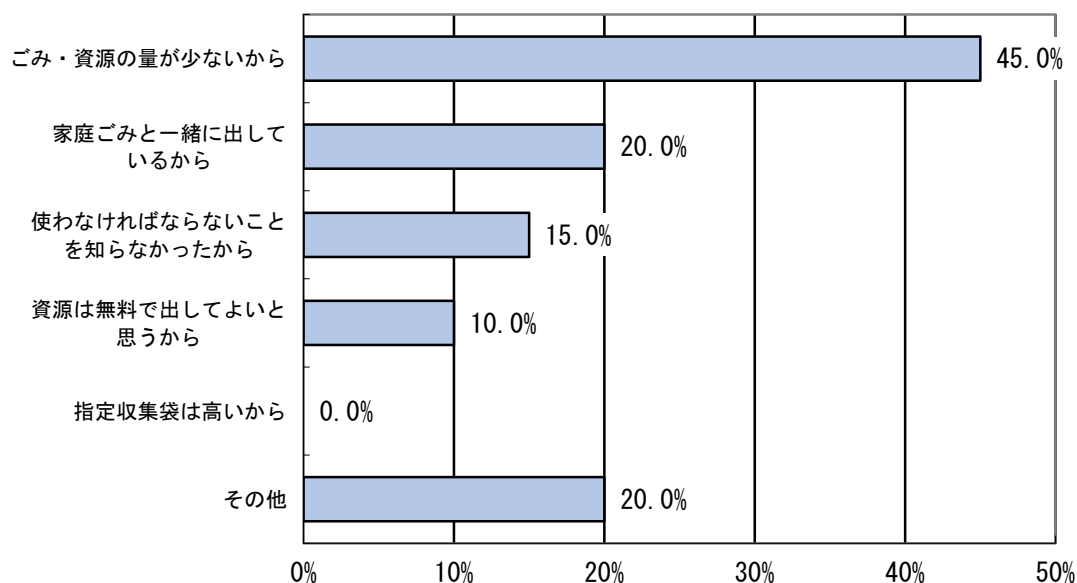
図 3-11 資源排出における指定収集袋の使用の有無



(4) 指定収集袋を使用しない理由 (複数回答)

指定収集袋を使用しない理由については、「ごみ・資源の量が少ないから」が最も多く(45.0%)、次いで「家庭ごみと一緒に出しているから」(20.0%)、「使わなければならないことを知らなかったから」(15.0%)、「資源は無料で出してよいと思うから」(10.0%)の順である。

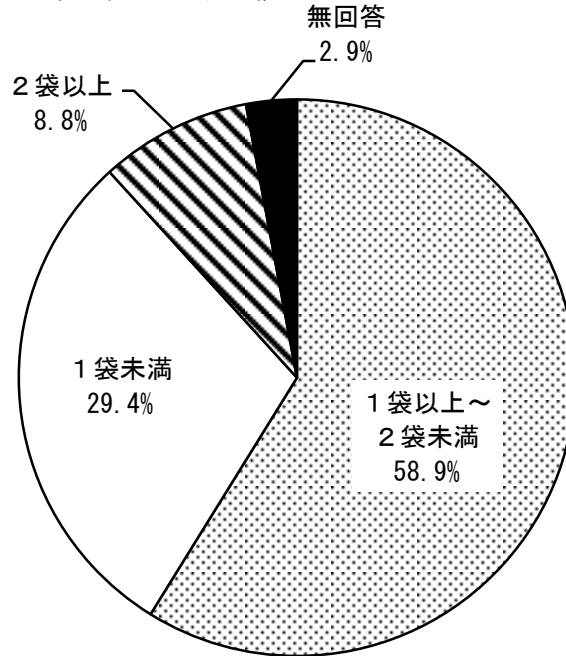
図 3-12 指定収集袋を使用しない理由



(5) 燃やせるごみ収集 1 回当たりの排出量

燃やせるごみ収集 1 回当たりの排出量については、「1 袋以上 2 袋未満」が最も多く（58.9%）、次いで「1 袋未満」（29.4%）、「2 袋以上」（8.8%）の順である。「1 袋以上 2 袋未満」が全体の過半を占めている。

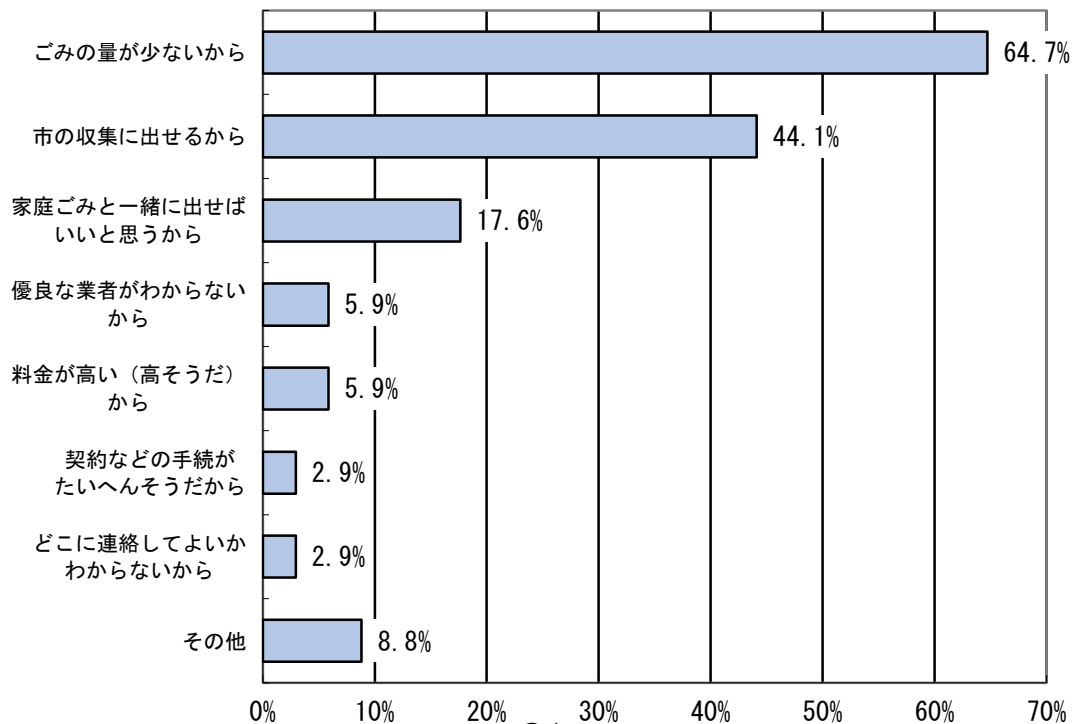
図 3-13 燃やせるごみ収集 1 回当たりの排出量



(6) 処理業者に委託していない理由（複数回答）

処理業者に委託していない理由については、「ごみの量が少ないから」が最も多く（64.7%）、次いで「市の収集に出せるから」（44.1%）、「家庭ごみと一緒に出せばいいと思うから」（17.6%）などの順である。

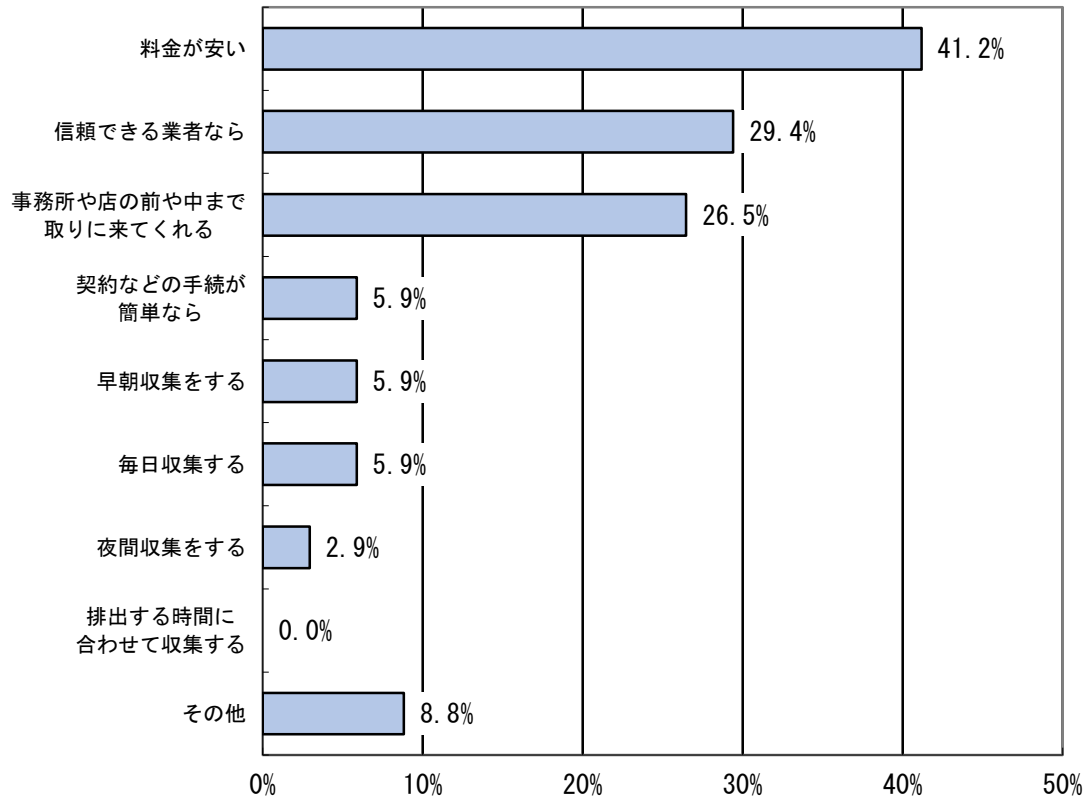
図 3-14 処理業者に委託していない理由



(7) 処理業者に委託する条件（複数回答）

処理業者に委託する条件については、「料金が安い」が最も多く（41.2%）、次いで「信頼できる業者なら」（29.4%）、「事業所や店の前や中まで取りに来てくれる」（26.5%）などの順である。

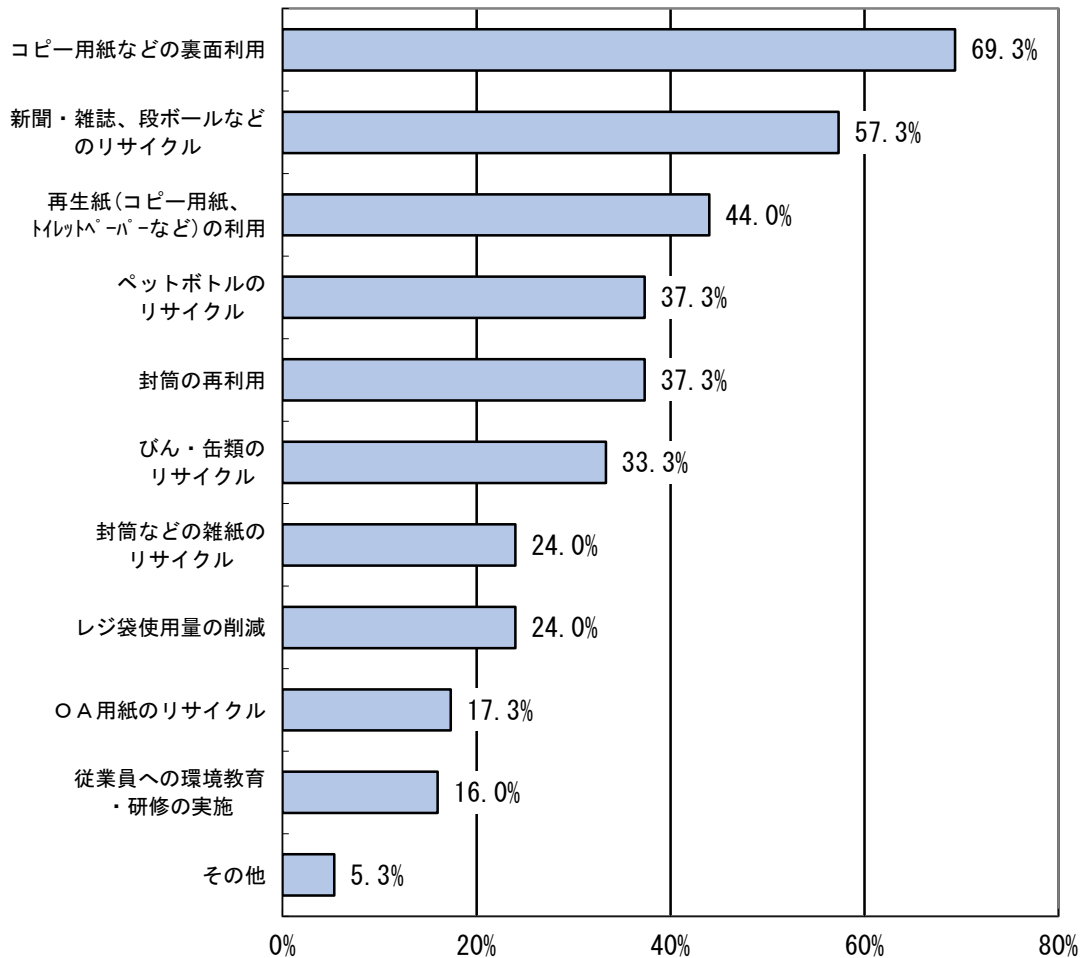
図 3-15 処理業者に委託する条件



5 ごみを出さない工夫（複数回答）

ごみを出さない工夫については、「コピー用紙などの裏面利用」が最も多く（69.3%）、次いで「新聞・雑誌、段ボールなどのリサイクル」(57.3%)、「再生紙の利用」（44.0%）、「ペットボトルのリサイクル」と「封筒の再利用」がともに（37.3%）などの順である。約7割の事業所で、「コピー用紙などの裏面利用」が行われている。

図 3-16 ごみを出さない工夫

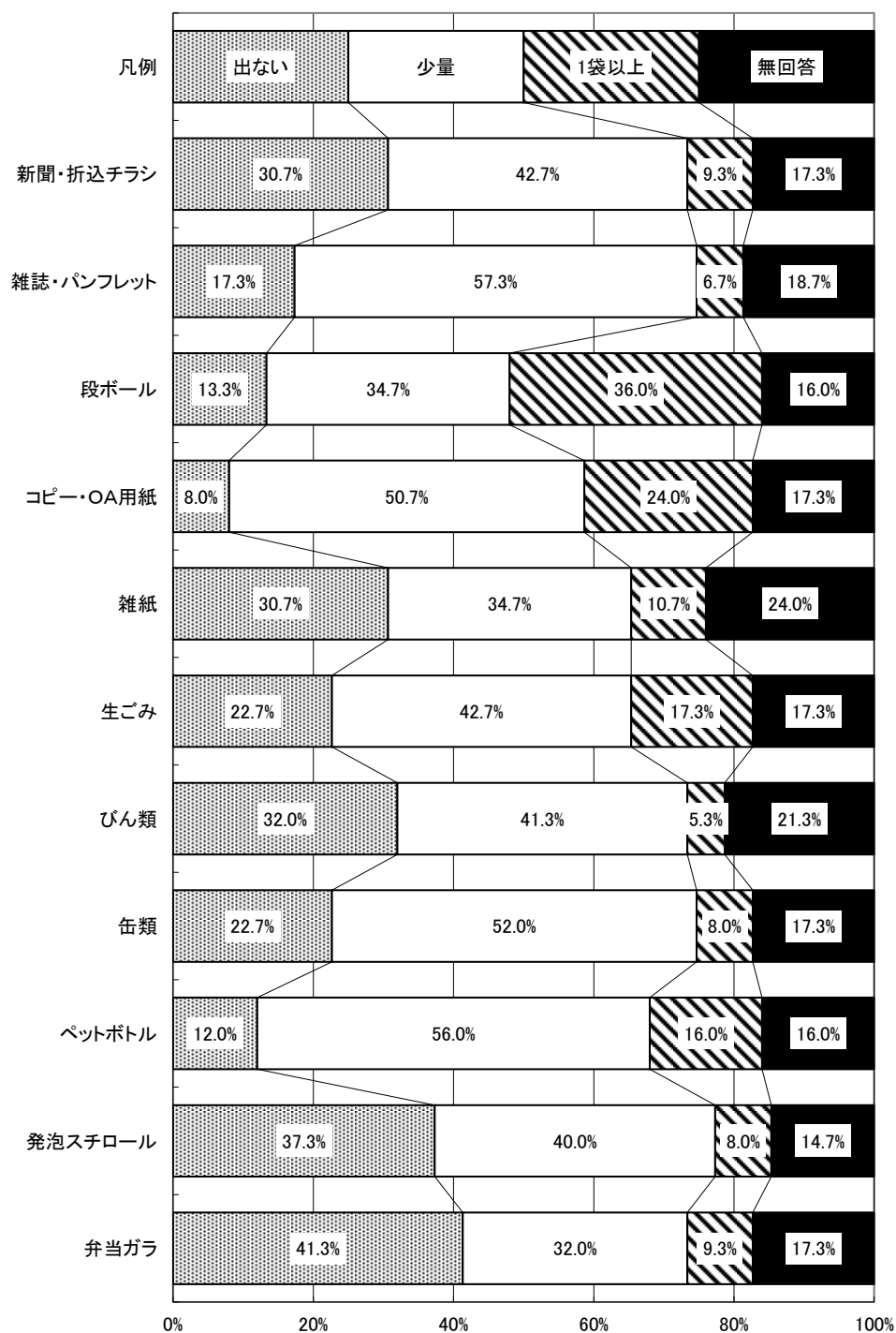


6 ごみや資源の品目別の量と処理方法

(1) ごみや資源の品目別の量

- 新聞・折込チラシの量については、「少量出る」が最も多く（42.7%）、次いで「出ない」（30.7%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（9.3%）の順である。
- 雑誌・パンフレットの量については、「少量出る」が最も多く（57.3%）、次いで「出ない」（17.3%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（6.7%）の順である。
- 段ボールの量については、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」が最も多く（36.0%）、次いで「少量出る」（34.7%）、「出ない」（13.3%）の順である。他の品目と比較して、排出量が多い。
- コピー・OA用紙の量については、「少量出る」が最も多く（50.7%）、次いで「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（24.0%）、「出ない」（8.0%）の順である。他の品目と比較して、排出量が多い。
- 雑紙の量については、「少量出る」が最も多く（34.7%）、次いで「出ない」（30.7%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（10.7%）の順である。
- 生ごみの量については、「少量出る」が最も多く（42.7%）、次いで「出ない」（22.7%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（17.3%）の順である。
- びん類の量については、「少量出る」が最も多く（41.3%）、次いで「出ない」（32.0%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（5.3%）の順である。
- 缶類の量については、「少量出る」が最も多く（52.0%）、次いで「出ない」（22.7%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（8.0%）の順である。
- ペットボトルの量については、「少量出る」が最も多く（56.0%）、次いで「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（16.0%）、「出ない」（12.0%）の順である。容器類の中では排出量が多い。
- 発泡スチロールの量については、「少量出る」が最も多く（40.0%）、次いで「出ない」（37.3%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（8.0%）の順である。
- 弁当ガラの量については、「出ない」が最も多く（41.3%）、次いで「少量出る」（32.0%）、「1週間に 45 リットル袋でおおよそ1袋以上出る」（9.3%）の順である。

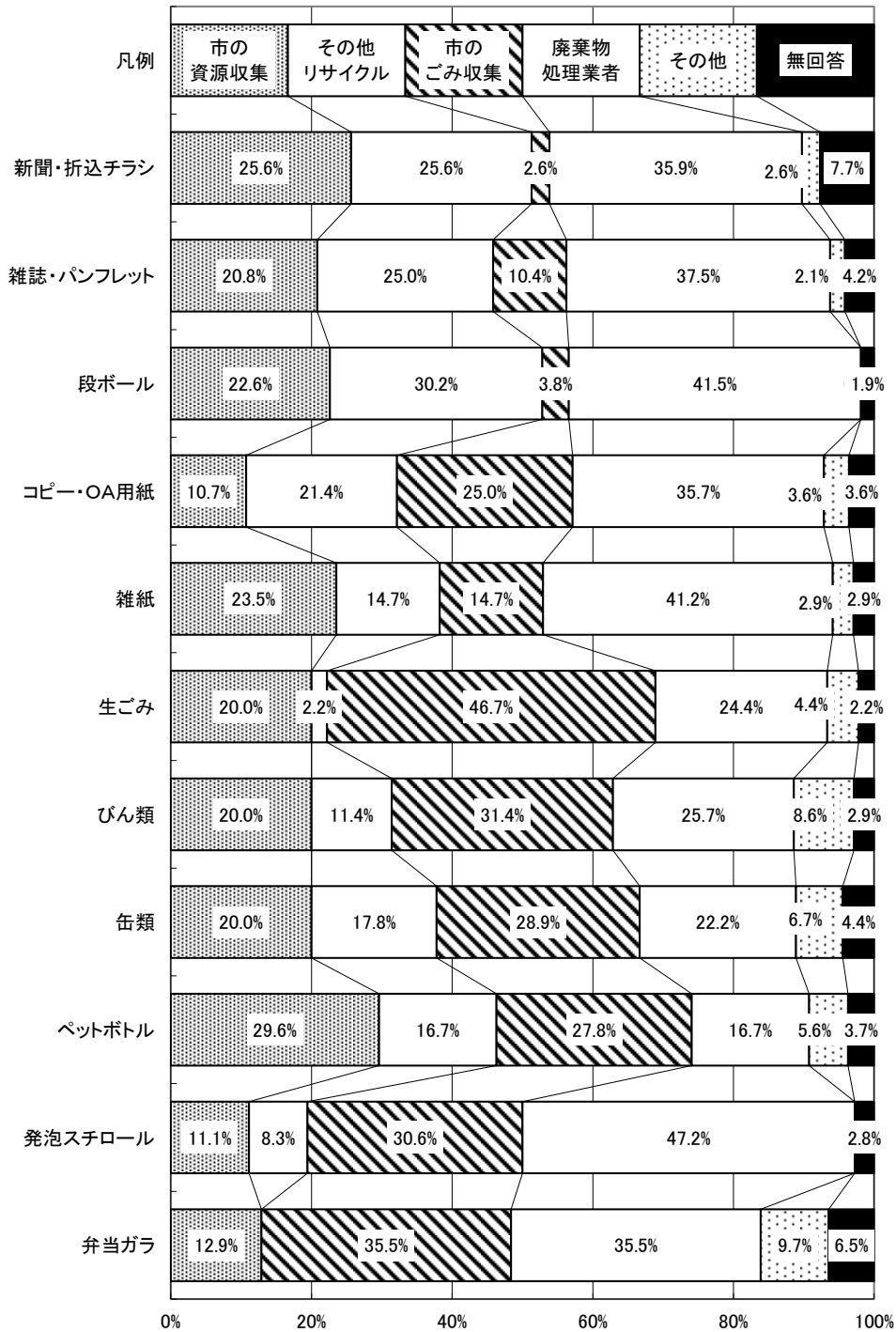
図 3-17 ごみや資源の品目別の量



(2) ごみや資源の品目別の処理方法

- 新聞・折込チラシの処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(35.9%)、次いで「市の収集に資源として出す」と「その他の方法でリサイクル」がともに(25.6%)などの順である。
- 雑誌・パンフレットの処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(37.5%)、次いで「その他の方法でリサイクル」(25.0%)、「市の収集に資源として出す」(20.8%)などの順である。
- 段ボールの処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(41.5%)、次いで「その他の方法でリサイクル」(30.2%)、「市の収集に資源として出す」(22.6%)などの順である。
- コピー・OA用紙の処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(35.7%)、次いで「市の収集としてごみとして出す」(25.0%)、「その他の方法でリサイクル」(21.4%)などの順である。紙類の中では、他の品目と比較して「市の収集としてごみとして出す」が多い。
- 雑紙の処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(41.2%)、次いで「市の収集に資源として出す」(23.5%)、「その他の方法でリサイクル」と「市の収集としてごみとして出す」がともに(14.7%)などの順である。
- 生ごみの処理方法については、「市の収集にごみとして出す」が最も多く(46.7%)、次いで「廃棄物処理業者に委託」(24.4%)、「市の収集に資源として出す」(20.0%)などの順である。
- びん類の処理方法については、「市の収集にごみとして出す」が最も多く(31.4%)、次いで「廃棄物処理業者に委託」(25.7%)、「市の収集に資源として出す」(20.0%)などの順である。
- 缶類の処理方法については、「市の収集にごみとして出す」が最も多く(28.9%)、次いで「廃棄物処理業者に委託」(22.2%)、「市の収集に資源として出す」(20.0%)、「その他の方法でリサイクル」(17.8%)などの順である。
- ペットボトルの処理方法については、「市の収集に資源として出す」が最も多く(29.6%)、次いで、「市の収集にごみとして出す」(27.8%)、「その他の方法でリサイクル」と「廃棄物処理業者に委託」がともに(16.7%)などの順である。
- 発泡スチロールの処理方法については、「廃棄物処理業者に委託」が最も多く(47.2%)、次いで「市の収集にごみとして出す」(30.6%)、「市の収集に資源として出す」(11.1%)などの順である。
- 弁当ガラの処理方法については、「市の収集にごみとして出す」と「廃棄物処理業者に委託」がともに(35.5%)と最も多く、次いで「市の収集に資源として出す」(12.9%)などの順である。

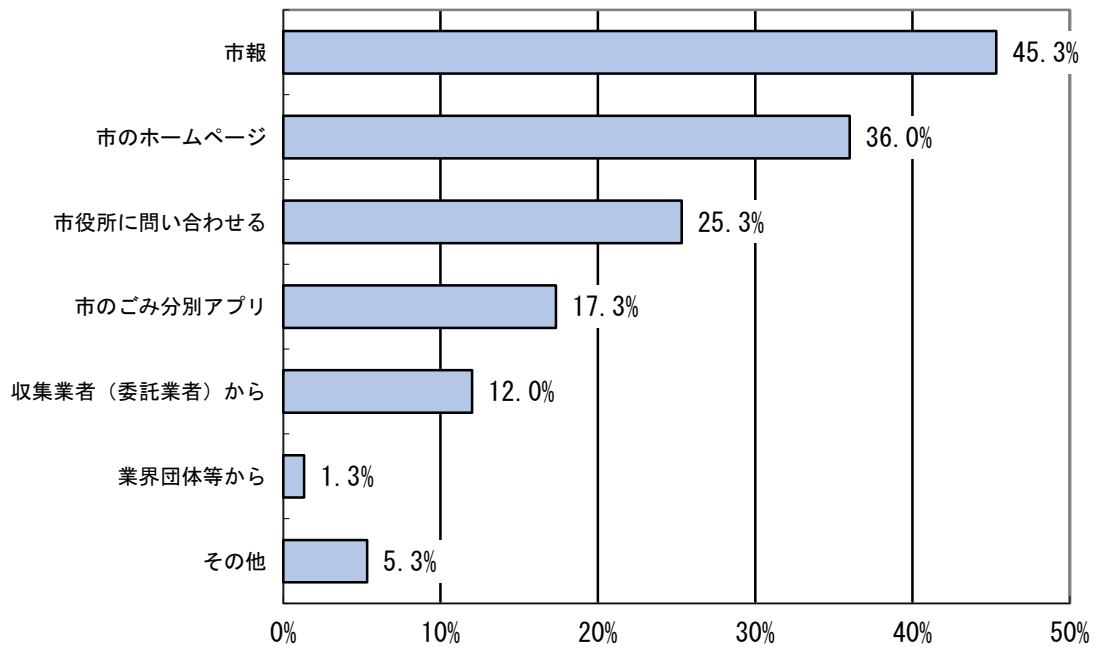
図 3-18 ごみや資源の品目別の処理方法の収集



7 清掃・リサイクルに関する情報の収集（複数回答）

清掃・リサイクルに関する情報の収集については、「市報」が最も多く（45.3%）、次いで「市のホームページ」（36.0%）、「市役所に問い合わせる」（25.3%）、「市のごみ分別アプリ」（17.3%）などの順である。市からの情報収集が上位を占める。

図 3-19 清掃・リサイクルに関する情報の収集



第4部 考察

1 品目別のごみ量の推計

家庭ごみ組成分析調査の結果に平成27年度のごみ量に乗じて、本市の品目別のごみ量を推計した。

(1) 資源物の量

資源物は、燃やせるごみには1,588 t (13.0%)、燃やせないごみには95 t (10.5%)、合計で1,683 t 含まれている。燃やせるごみの資源物の内訳は、資源(可燃性)が1,139 t (9.4%)、資源(プラスチック)が441 t (3.6%)などである。燃やせないごみの資源物の内訳は、資源(プラスチック)が37 t (4.1%)、資源(不燃性)が24 t (2.6%)、資源(可燃性)が22 t (2.4%)、資源(拠点回収品目)が12 t (1.4%)である。

(2) 資源物以外の分別不適物の量

燃やせるごみには、不燃物が125 t (1.0%)、収集不適物が76 t (0.6%) 含まれている。燃やせないごみには、可燃物が59 t (6.6%)、有害物が2 t (0.2%)、収集不適物が7 t (0.8%) 含まれている。

表 1-8 品目別のごみ量推計

分類	品目	燃やせるごみ		燃やせないごみ		合計
		割合	ごみ量(t/年)	割合	ごみ量(t/年)	ごみ量(t/年)
資源 (可燃性)	新聞紙・折込広告	1.1%	133	0.0%	0	133
	雑誌・書籍	0.6%	68			68
	段ボール	0.4%	52	0.2%	1	54
	紙パック	0.4%	48	0.0%	0	48
	雑紙	5.2%	634	0.3%	3	637
	古布(古着)	1.7%	204	0.7%	6	210
	剪定枝					
	ぬいぐるみ等			1.2%	11	11
資源 (不燃性)	ガラスびん			0.9%	8	8
	缶類	0.0%	2	0.3%	3	5
	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身なし)			0.2%	2	2
	金属製のなべ・やかん・フライパンなど			1.2%	11	11
資源 (プラスチック)	ペットボトル	0.0%	4	0.0%	0	4
	発泡スチロール			0.0%	0	0
	容器包装プラスチック(リサイクル可)	3.4%	408	3.8%	34	442
	白色トレイ	0.0%	1	0.0%	0	1
	色付きトレイ	0.0%	2	0.0%	0	2
	レジ袋(未使用)	0.2%	25	0.2%	2	27
資源(拠点)	小型家電製品(拠点回収品目)	0.0%	5	1.4%	12	18
	インクリボン・カートリッジ	0.0%	1	0.0%	0	1
可燃物	生ごみ(厨芥類)	42.8%	5,205			5,205
	生ごみ(未利用品)	4.3%	529	0.5%	5	534
	その他紙類	8.3%	1,010	0.2%	2	1,011
	剪定枝以外の草・木類	13.4%	1,631	0.3%	3	1,633
	容器包装プラスチック(リサイクル不可)	1.0%	126	0.9%	8	134
	テープ類(単独)			0.2%	2	2
	テープ類(混合)			0.1%	1	1
	その他可燃物	14.3%	1,738	4.4%	39	1,777
不燃物	製品プラスチック(プラのみ)	0.4%	54	34.6%	311	365
	製品プラスチック(複合品)	0.2%	23	0.1%	1	24
	ゴム・皮革類	0.1%	12	8.2%	74	86
	その他金属類	0.2%	30	6.9%	62	92
	小型家電製品(拠点回収品目以外)	0.0%	2	9.5%	86	88
	陶磁器			10.6%	96	96
	その他不燃物	0.0%	3	11.2%	101	103
有害物	ライター	0.0%	0	0.1%	1	1
	蛍光管			0.0%	0	0
	乾電池			0.1%	1	1
	水銀体温計(血圧計)・温度計					
収集不適物	スプレー缶・ガスカートリッジ缶(中身あり)			0.1%	1	1
	収集不適物	0.6%	76	0.6%	6	82
外袋・内袋	レジ袋(内袋)	0.6%	70	0.2%	2	72
	プラスチック袋	0.3%	38	0.3%	2	40
	レジ袋(外袋)	0.3%	36	0.3%	3	39
合計		100.0%	12,171	100.0%	899	13,070
資源物	資源(可燃性)	9.4%	1,139	2.4%	22	1,161
	資源(不燃性)	0.0%	2	2.6%	24	26
	資源(プラスチック)	3.6%	441	4.1%	37	477
	資源(拠点)	0.0%	6	1.4%	12	18
	小計	13.0%	1,588	10.5%	95	1,683
可燃物		84.1%	10,239	6.6%	59	10,298
不燃物		1.0%	125	81.2%	730	854
有害物		0.0%	0	0.2%	2	2
収集不適物		0.6%	76	0.8%	7	83
外袋・内袋		1.2%	143	0.8%	7	150
合計		100.0%	12,171	100.0%	899	13,070
適正分別		85.3%	10,382	81.9%	736	11,118
分別不適物		14.7%	1,789	18.1%	163	1,952

2 ごみ減量・適正処理に向けた課題

(1) 家庭ごみ

① 生ごみの減量

家庭ごみ組成分析調査によると、燃やせるごみには、未開封や使わずに捨てられた果物・野菜などの未利用品が529 t、それ以外の生ごみが5,205 t含まれている。仮に、未利用食品を半減すれば265 t、水切りなどで生ごみの量を10%減らせば520 tの減量効果が期待できる。

市民アンケート調査によると、生ごみ堆肥化事業への協力希望度合いについては、「条件があれば、協力したい」が56.8%を占め、市民の協力意向は高く、モデル事業の拡大について検討する必要がある。また、賞味・消費期限に対する認識、賞味・消費期限切れが生じないような消費行動、生ごみの廃棄時の水切りなどによる市民の行動を促すための普及啓発が必要である。

② 雑紙のリサイクル

家庭ごみ組成分析調査によると、燃やせるごみに含まれる資源物1,588 tのうち雑紙が634 tを占めている。雑紙は、リサイクルできることを知らない市民が多く、分別がわかりにくいことから、ごみとして捨てられている割合が他の古紙に比べて高いと考えられる。雑紙を資源として回収するための仕組みや普及啓発について検討する必要がある。

③ 容器包装プラスチックの分別

家庭ごみ組成分析調査によると、リサイクル可能な容器包装プラスチックは、燃やせるごみに408 t、燃やせないごみに34 t、合計で442 t含まれている。これらは、軽く水ですすぐなど、少しの手間をかければ資源として回収することができることから、資源としての排出を促進するための普及啓発が必要である。

④ 燃やせないごみからの小型家電製品・金属の回収

家庭ごみ組成分析調査によると、燃やせないごみには、資源収集の対象品目である小型家電製品(拠点回収品目)が12 t、金属製のなべ・やかん・フライパンなどが11 t含まれている。これらの品目が資源物として排出されるよう、普及啓発や回収拠点の整備が必要である。また、小型家電製品(拠点回収品目以外)が86 t、その他金属が62 t含まれている。小平・村山・大和衛生組合の不燃処理施設の更新の伴い、これらを選別・回収する方法について検討する必要がある。

⑤ レジ袋の取り扱い

家庭ごみ組成分析調査によると、使われずに捨てられているレジ袋は、燃やせるごみと燃やせないごみを合わせて27 t、ごみを入れる袋として使われたレジ袋は111 tであり、レジ袋の多くが有効利用されている。市民アンケート調査によると、レジ袋の処理については、「ごみ・資源を出す袋として再利用している」が77.8%である。

家庭ごみについて指定袋制度を導入した場合には、これらのレジ袋がごみ・資源を出す袋として使用できなくなることから、販売店に対して、レジ袋の有料化やポイントサービスの拡充などについて働きかける必要がある。

⑥ 集団回収

市民アンケート調査によると、集団回収については、「よくわからない」が32.2%と約1/3を占める。集団回収は、町会・自治会などの地域団体と資源回収業者の民間取引であり、市の経費も分別収集に比べて安く抑えられる理想的なリサイクルであることから、集団回収の認知と参加を高めるための施策について検討する必要がある。

⑦ 拠点回収

市民アンケート調査によると、拠点回収については、「知っているが利用していない」が43.1%を占める。市民の利便性と経費を考慮しながら、回収拠点の増加や回収品目の検討など、拠点回収の拡充について検討する必要がある。

⑧ 集積所の維持・管理

市民アンケート調査によると、普段使っている集積所について感じていることについては、「特に問題がない」が39.3%であるが、一方で、「分別ルールを守らない人がいる」が30.1%、「カラスや猫による被害がある」が27.1%である。分別ルールの周知徹底や集積所の美化対策について検討する必要がある。

⑨ 収集回数

市民アンケート調査によると、古紙、びん、プラスチック・ペットボトルの収集回数については、3品目とも「現状でよい」が最も多い点は共通だが、古紙、びんについては「減らしてもよい」が「増やしてほしい」を上回っているのに対して、プラスチック・ペットボトルについては「増やしてほしい」が「減らしてもよい」を上回っている。

この要因のひとつとして、プラスチック・ペットボトルは、間隔が2週間空く日があることが考えられる。市民の利便性と経費を考慮して、これら3品目の収集頻度について検討する必要がある。

⑩ 清掃・リサイクルに関する情報提供

市民アンケート調査によると、市の清掃・リサイクルに関する情報の取得方法については、「「ごみ分別辞典」など市のチラシや冊子」が52.1%、「市報」が43.0%と紙媒体が多い。しかし、市民のライフスタイルによって、使用する媒体は様々であることから、情報提供の手法については幅広く検討する必要がある。

⑪ 家庭ごみ有料化

市民アンケート調査によると、家庭ごみの有料化の実施に対する考えについては、「実施すべきではない」(16.5%)と「ごみ減量などの目的は理解できるが、実施には抵抗がある」(42.7%)を合わせると約6割の人が否定的な回答である。

家庭ごみの有料化の導入の是非を検討する際には、市民の意向を把握し、慎重に検討する必要がある。

⑫ 戸別収集

市民アンケート調査によると、「賛成である」が29.2%、「反対である」が24.3%と賛否は拮抗しているが、「どちらともいえない」が40.6%と最も多い。

戸別収集には、各自が排出したごみ・資源を管理するため分別意識が高まること、集積所の問題がなくなることなどのメリットがある一方で、経費の増加、交通量の増加、プライバシーの問題などのデメリットもあることから、導入の是非について慎重に検討する必要がある。

(2) 事業系ごみ

① 処理方法

事業所アンケート調査によると、事業所のごみの処理方法については、「自社で直接、廃棄物処理業者に委託」が49.4%、「市の収集に出している」が45.3%とほぼ拮抗している。

事業系ごみの処理は排出者の自己処理責任が原則であることから、市の収集に出している事業所に対しては、廃棄物処理業者への委託を促す施策が必要である。

② 指定収集袋の使用

事業所アンケート調査によると、ごみ排出における指定収集袋の使用の有無について、「指定収集袋で出していない」と回答した事業所は、ごみが32.4%、資源が47.1%である。指定収集袋を使用しない理由としては、「ごみ・資源の量が少ないから」が45.0%であることから、少量であっても指定収集袋を使用しなければならない旨を周知徹底する必要がある。

資料編 アンケート調査票等

武蔵村山市ごみ・資源に関する市民アンケート調査への ご協力をお願い

皆様におかれましては、日頃から、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

来年度、市ではごみの減量や適正処理の基本となる新たな「武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画」の策定を予定しています。市民の皆様のお考えや、日常の取り組みなどをおうかがいし、計画に反映させるため、住民基本台帳から無作為に選んだ2,800世帯の皆様を対象として、ごみ・資源に関する市民アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ、たいへん恐縮でございますが、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年11月

武蔵村山市 協働推進部ごみ対策課

1 ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、なるべく封筒のあて名のご本人がご記入ください。

（ごみや資源の出し方についてわからない点は、ご家族の中で日頃ごみを出している方にご確認ください。あて名のご本人による回答が困難な場合は、代理の方でも結構です。）

- ・各項目について、思ったことをお気軽にお答えください。
- ・ご回答はあてはまる番号に○を付けてください。
- ・その他の（ ）内や自由記入欄には、具体的なご意見をお書きください。

2 回答の返送方法

ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
12月5日（月曜日）までに

ポストに投函していただきますようお願いいたします。（なお、回答なさる方のご住所、お名前などを記入する必要はありません。）

3 個人情報の取り扱い等

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。

【本調査に関するお問合せ先】

武蔵村山市 協働推進部ごみ対策課

電話 042-565-1111（内線292～294）

FAX 042-563-0803

E-mail gomi-g@city.musashimurayama.lg.jp

武蔵村山市 ごみ・資源に関する市民アンケート調査票

ごみの発生抑制・再使用

廃棄物の発生抑制(リデュース(Reduce))とは不用になるものは発生させないこと、再使用(リユース(Reuse))とはくり返し使うことで、資源を節約しごみを減らす効果があります。

問1 次の項目のなかで、日頃から心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 生ごみの水を切っている
- 2 食材は買いだめせず、使いきれの量を購入する
- 3 食材を使い切る工夫をしている
- 4 料理は残さずに食べる
- 5 生ごみを庭に埋めるなど、ごみとして出さない工夫をしている
- 6 洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買う
- 7 使い捨て商品は買わない
- 8 ばら売りや量り売りの商品を買う
- 9 無料でも、必要のないもの(景品など)はもらわない
- 10 容器や包装が少ない商品を選ぶ
- 11 買い物袋(マイバッグ)を持参している
- 12 レジ袋はもらわないようにしている
- 13 水筒などマイボトルを持ち歩いている
- 14 できるだけ修理して使っている
- 15 古紙の入ったトイレットペーパーなど再生品を購入している
- 16 不用になったものを譲ったりもらったりしている
- 17 その他(具体的に)

問2 いらなくなったものの売り買いについておうかがいします。

(1) 次の中で利用したことのあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 リサイクルショップ ⇒(2)へ
- 2 フリーマーケットやバザー ⇒(2)へ
- 3 ネットオークション・ネットショップ ⇒(2)へ
- 4 利用したことがない ⇒問3へ
- 5 その他(具体的に)

【(1)で1~3を選択した方のみ】

(2) 売り買いをした商品は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 本・雑誌など
- 2 CD・DVD・ゲームソフトなど
- 3 衣類・靴・かばん・アクセサリなど
- 4 子ども用品
- 5 食器
- 6 家具
- 7 家電製品
- 8 贈答品
- 9 その他(具体的に)

問3 お店でもらったレジ袋は主にどのようにしていますか。(〇はひとつ)

- 1 レジ袋はもらわない
- 2 ごみ・資源を出す袋として再利用している
- 3 燃やせるごみとして出している
- 4 プラスチック容器包装(資源)として出している
- 5 その他(具体的に)

リサイクル

発生抑制や再使用を行っても出てしまった不用物は、できるだけリサイクルする必要があります。

問4 雑紙についておうかがいします。

雑紙とは、包装紙やお菓子の箱、はがきや封筒など、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙のことです。燃やせるごみには、まだまだ多くの雑紙がごみとして捨てられています。

(1) 雑紙がリサイクルできることをご存じでしたか。(〇はひとつ)

- 1 知っていた ⇒(2)へ
- 2 知らなかった⇒問5へ

【(1)で1を選択した方のみ】

(2) 雑紙のリサイクルにご協力をいただいていますか。(〇はひとつ)

- 1 協力している ⇒問5へ
- 2 わかりやすいものだけ協力している⇒問5へ
- 3 協力していない ⇒(3)へ
- 4 その他(具体的に)

【(2)で3を選択した方のみ】

(3) 協力していない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- 1 雑紙の区分がよくわからないから
- 2 保管しておくスペースがないから
- 3 収集日が少ないから
- 4 分別が面倒だから
- 5 その他(具体的に)

問5 容器包装プラスチックについておうかがいします。

容器包装プラスチックとはその中身(商品)を出したり、使ったりした後、不用になるプラスチック製の容器や包装で、右のようなプラマークのあるものです。



(1) 容器包装プラスチックがリサイクルできることをご存じでしたか。(〇はひとつ)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

(2) 容器包装プラスチックのリサイクルにご協力をいただいていますか。(○はひとつ)

- 1 協力している ⇒問6へ
- 2 わかりやすいものだけ協力している ⇒問6へ
- 3 燃やせるごみに出している ⇒(3)へ
- 4 燃やせないごみに出している ⇒(3)へ
- 5 その他(具体的に)

【(2)で3・4を選択した方のみ】

(3) 協力していない理由はなんですか。(○はいくつでも)

- 1 容器包装プラスチックの区分がよくわからないから
- 2 保管しておくスペースがないから
- 3 収集日が少ないから
- 4 分別が面倒だから
- 5 その他(具体的に)

問6 集団回収についておうかがいします。

自治会、婦人会、子供会等地域住民などの営利を目的としない団体が資源を回収し、資源回収業者に資源を引き渡す活動です。市は、団体に対して、回収量に応じた資源回収奨励金を交付しています。

(1) お住まいの地域では集団回収は行われていますか。(○はひとつ)

- 1 行われている ⇒(2)へ
- 2 行われていない ⇒問7へ
- 3 よくわからない ⇒問7へ

【(1)で1を選択した方のみ】

(2) 集団回収に協力していますか。(○はひとつ)

- 1 協力している ⇒問7へ
- 2 協力していない⇒(3)へ

【(2)で2を選択した方のみ】

(3) 集団回収に協力していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 回収の曜日があわない
- 2 時間があわない
- 3 市の古紙収集の方が便利だから
- 4 面倒だから
- 5 どう協力すればよいかわからない
- 6 その他(具体的に)

問7 拠点回収についておうかがいします。

市は、市内の公共施設及びリサイクル協力店などに、発泡スチロールトレイ、ペットボトル、牛乳パック(紙パック)、乾電池、使用済小型電子機器、使用済インクカートリッジの拠点回収ボックスを設置しています。

(1) 拠点回収を利用していますか。(○はひとつ)

- 1 知っており利用している ⇒(2)へ
- 2 知っているが利用していない ⇒(3)へ
- 3 知らなかった ⇒問8へ

【(1)で1を選択した方のみ】

(2) 拠点回収に出したことがある品目は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 発泡スチロールトレイ
- 2 ペットボトル
- 3 牛乳パック
- 4 乾電池
- 5 小型電子機器
- 6 インクカートリッジ

【(1)で2を選択した方のみ】

(3) 拠点回収を利用していない理由はなんですか。(○はいくつでも)

- 1 回収する場所がわからないから
- 2 回収する場所が遠いから
- 3 普段の収集で十分だから
- 4 持っていくことが面倒だから
- 5 その他(具体的に)

生ごみ堆肥化モデル事業

問8 生ごみ堆肥化モデル事業についておうかがいします。

燃やせるごみの中のおよそ約4割程度が、生ごみであり、生ごみの堆肥化は大きなごみ減量効果が期待できます。市では、ごみの減量、資源化の推進及び堆肥化の検証のため、平成26年度10月から「学園地区」及び「残堀地区」、平成28年度からは「中原地区」及び「神明地区」を加え、約200世帯の皆様の協力により、生ごみ堆肥化モデル事業を実施しています。

(1) 生ごみ堆肥化モデル事業は、ごみの減量に効果的だと思いますか。(○はひとつ)

- 1 効果的である
- 2 効果的でない
- 3 よくわからない

(2) 生ごみ堆肥化モデル事業に協力したいと思いますか。(○はひとつ)

- 1 ぜひ、協力したい
- 2 条件があえば、協力したい
- 3 協力したくない
- 4 よくわからない

ごみの分別・収集・処理

問9 普段使っている集積所について感じていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 排出時間(当日の朝8時まで)を守らない人がいる | 2 いつもごみが残っている |
| 3 分別ルールを守らない人がいる | 4 水切りをしていないごみがある |
| 5 カラスや猫による被害がある | 6 不法投棄に困っている |
| 7 集積所から資源を持ち去る人がいる | 8 特に問題がない |
| 9 その他(具体的に |) |

市では皆さまのニーズに合わせたごみや資源の収集方式を心掛けていますが、収集回数が増えることは便利となる反面、ごみの量の増加を招く場合があります。

問10 収集回数についておうかがいします。

(1) 現在の収集回数についてどのようにお考えですか。

①古紙(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| 1 現状(週1回)でよい | 2 減らしてもよい | 3 増やしてほしい |
| 4 その他(具体的に | |) |

②びん(〇はひとつ)

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 現状(隔週)でよい | 2 減らしてもよい | 3 増やしてほしい |
| 4 その他(具体的に | |) |

③プラスチック・ペットボトル(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| 1 現状(月3回)でよい | 2 減らしてもよい | 3 増やしてほしい |
| 4 その他(具体的に | |) |

問11 市の清掃・リサイクルに関する情報についておたずねします。

(1) 普段、市の清掃・リサイクルに関する情報をどのように得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1 市役所に問い合わせる | 2 市のホームページ |
| 3 市のごみ分別アプリ | 4 市報 |
| 5 「ごみ分別辞典」など市のチラシや冊子 | 6 自治会等の掲示板 |
| 7 近隣の方や管理人からの口コミ | |
| 8 その他(具体的に |) |

(2) 市の清掃・リサイクルに関する情報で知りたいものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 ごみの分別方法や出し方 | 2 収集できないもの |
| 3 粗大ごみの出し方 | 4 資源のリサイクルのしくみ |
| 5 ごみ処理のしくみ | 6 清掃・リサイクル事業のコスト |
| 7 家庭でできるごみ減量の取り組み | 8 講演会やフリーマーケットなどのイベント情報 |
| 9 その他(具体的に |) |

ごみの減量により環境負荷を軽減し、資源の有効活用を進め、循環型社会を形成するため、ごみの発生抑制に有効な施策の一つとして、家庭ごみの有料化を実施している自治体があります。本市では、現在、実施に至ってはいませんが、多摩地域では、26市のうち22市が、既に有料化を実施しており、平成29年度には、2市が有料化を実施する予定となっています。

問12 家庭ごみの有料化の実施についておうかがいします。

(1) 家庭ごみの有料化の実施についてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

- 1 実施しても構わない
- 2 ごみが減るのであれば、実施はやむを得ない
- 3 ごみ減量などの目的は理解できるが、実施には抵抗がある
- 4 実施すべきではない
- 5 なんともいえない
- 6 その他(具体的に)

(2) 家庭ごみの有料化を実施する際には、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 生活困窮者の救済策
- 2 町会・自治会などのボランティア活動への減免措置
- 3 戸別収集の実施
- 4 高齢者介護世帯への減免措置
- 5 ごみ減量施策の拡充
- 6 資源化施策の拡充
- 7 不法投棄対策の充実
- 8 住民説明会の開催
- 9 収集回数を増やす
- 10 その他(具体的に)

家庭ごみのごみ有料化を実施すると同時に、現在の集積所を利用した収集から、1軒1軒収集する戸別収集に切り替える自治体があります。戸別収集をすることで、各世帯が排出したごみに責任を持ち、ごみ問題への意識が高まることが期待されます。一方で、収集するための車の台数が増え、収集車両からの二酸化炭素や収集コストが増加するというデメリットもあります。

問13 戸別収集についてどのようにお考えですか。(〇はひとつ)

- 1 賛成である
- 2 反対である
- 3 どちらともいえない
- 4 その他(具体的に)

問16 ごみ処理やリサイクルについて、市に取り組んでほしいことや、ご意見がありましたらご記入ください。

問17 最後に、ご自身とご家族についておうかがいします。

(1) 年齢 (○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|-------|---|-----|---|-----|
| 1 | 10代 | 2 | 20代 | 3 | 30代 |
| 4 | 40代 | 5 | 50代 | 6 | 60代 |
| 7 | 70代以上 | | | | |

(2) ご本人を含む家族人数 (○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|------------|---|------|---|----|
| 1 | 1人 (1人暮らし) | 2 | 2人 | 3 | 3人 |
| 4 | 4人 | 5 | 5人以上 | | |

(3) 居住形態 (○はひとつ)

- 1 戸建て
- 2 管理人のいない集合住宅
- 3 管理人のいる集合住宅
- 4 その他 (具体的に)

(4) 居住年数 (○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 5年未満 | 3 | 10年未満 |
| 4 | 20年未満 | 5 | 20年以上 | | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

武蔵村山市ごみ・資源に関する事業所アンケート調査へのご協力のお願い

皆様におかれましては、日頃から、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

来年度、市ではごみの減量や適正処理の基本となる新たな「武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画」の策定を予定しています。市内事業所の皆様のお考えや、日常の取り組みなどをおうかがいし、計画に反映させるため、無作為に選んだ 200 事業所の皆様が対象として、ごみ・資源に関する事業所アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ、たいへん恐縮でございますが、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 1 1 月

武蔵村山市 協働推進部ごみ対策課

1 ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、日頃、ごみやりサイクルを担当している方がご記入ください。
- ・各項目について、思ったことをお気軽にお答えください。
- ・ご回答はあてはまる番号に○を付けてください。
- ・その他の（ ）内や自由記入欄には、具体的なご意見をお書きください。

2 回答の返送方法

ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
12月5日（月曜日）までに

ポストに投函していただきますようお願いいたします。（なお、回答なさる方のご住所、お名前などを記入する必要はありません。）

3 個人情報の取り扱い等

回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。

【本調査に関するお問合せ先】

武蔵村山市 協働推進部ごみ対策課

電 話 042-565-1111（内線292～294）

FAX 042-563-0803

E-mail gomi-g@city.musashimurayama.lg.jp

武蔵村山市 ごみ・資源に関する事業所アンケート調査票

事業活動に伴い、事務所、工場、店舗等から排出される事業系のごみや資源物については、事業者自ら適正に処理することが廃棄物処理法及び武蔵村山市廃棄物条例で義務付けられています。1日平均 10 キログラム未満の廃棄物を排出する事業所に限って、市ごみ対策課に申込みをした上で、事業系一般廃棄物指定収集袋で市の収集にごみや資源物を排出することができます。

問1 貴事業所のごみの処理状況についておたずねします。貴事業所では、主にごみをどのように処理していますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 自社で直接、廃棄物処理業者に委託 | ⇒問2へお進みください。 |
| 2 ビル管理会社などが廃棄物処理業者に委託 | ⇒問4へお進みください。 |
| 3 市の収集に出している | ⇒問3へお進みください。 |
| 4 その他(具体的に) | ⇒問4へお進みください。 |

【問1で1を選択した方のみ】

問2 廃棄物処理業者への委託についておたずねします。

(1) 廃棄物処理業者に委託している理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 料金が安いから | 2 収集日が多いから |
| 3 信頼できる業者だから | 4 商店街などで共同委託しているから |
| 5 希望する時間に収集してくれるから | 6 ごみ集積所まで運ぶ必要がないから |
| 7 本社や本部の指示だから | 8 ごみの量が多いから |
| 9 その他(具体的に) | |

(2) 廃棄物処理業者に委託している貴事業所のごみの排出量を把握していますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 把握している | 2 把握していない |
|----------|-----------|

(3) 廃棄物処理業者との契約形態をお教えてください。(○はひとつ)

- | | |
|--|--|
| 1 ごみ量に応じて料金の変動する契約
(単価契約：1kgや1袋あたりの単価が決まっている契約) | |
| 2 ごみ量に関係なく料金は一定の契約(月極等の契約) | |
| 3 その他(具体的に) | |

【問1で3を選択した方のみ】

問3 ごみ集積所への排出についておたずねします。

(1) 貴事業所では、いつごみを出していますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 収集日の前日の夜 | 2 収集日の朝8時まで |
| 3 収集車が来る時間に合わせて | |
| 4 その他(具体的に) | |

(2) 貴事業所では、ごみを指定収集袋で出していますか。(○はひとつ)

- 1 指定収集袋で出している ⇒ (3) へ
- 2 指定収集袋で出していない ⇒ (3) (4) へ

(3) 貴事業所では、資源を指定収集袋で出していますか。(○はひとつ)

- 1 指定収集袋で出している ⇒ (5) へ
- 2 指定収集袋で出していない ⇒ (4) へ
- 3 資源は出ない ⇒ (5) へ

【(2) (3) で2を選択した方のみ】

(4) 指定収集袋を使っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 ごみ・資源の量が少ないから
- 2 家庭ごみと一緒に出しているから
- 3 使わなければならないことを知らなかったから
- 4 指定収集袋は高いから
- 5 資源は無料で出してよいと思うから
- 6 その他 (具体的に _____)

(5) 貴事業所では、燃やせるごみ収集1回あたりどのくらいのごみを出していますか。おおよそで結構ですので45L袋に換算してお答えください。

1回あたり45L袋 _____ 袋分

(6) 廃棄物処理業者に委託していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 ごみの量が少ないから
- 2 料金が低い (高そうだから)
- 3 どこに連絡してよいかわからないから
- 4 優良な業者がわからないから
- 5 契約などの手続きがたいへんそうだから
- 6 家庭ごみと一緒に出せばいいと思うから
- 7 市の収集に出せるから
- 8 その他 (具体的に _____)

(7) どのような条件なら廃棄物処理業者に委託したいですか。(○はいくつでも)

- 1 料金が安い
- 2 毎日収集する
- 3 排出する時間に合わせて収集する
- 4 早朝収集をする
- 5 夜間収集をする
- 6 事務所や店の前や中まで取りに来てくれる
- 7 信頼できる業者なら
- 8 契約などの手続きが簡単なら
- 9 その他 (具体的に _____)

問4 貴事業所で、ごみを出さない工夫について日頃行っているものに○を付けてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1 コピー用紙などの裏面利用 | 2 封筒の再利用 |
| 3 レジ袋使用量の削減 | 4 従業員への環境教育・研修の実施 |
| 5 再生紙(コピー用紙、トイレットペーパーなど)の利用 | |
| 6 新聞・雑誌、段ボールなどのリサイクル | |
| 7 OA用紙のリサイクル | 8 封筒などの雑紙のリサイクル |
| 9 びん・缶類のリサイクル | 10 ペットボトルのリサイクル |
| 11 その他(具体的に |) |

問5 貴事業所から排出されるごみや資源物の品目と処理方法について、品目ごとに量と主な処理方法に○を付けてください。(量と処理方法、それぞれ○はひとつ)

		1 新聞・折込チラシ	2 雑誌・パンフレット	3 段ボール	4 コピー・OA用紙	5 雑紙	6 生ごみ	7 びん類	8 缶類	9 ペットボトル	10 発泡スチロール	11 弁当ガラ
量	1 出ない											
	2 少量出る											
	3 1週間に45リットル袋でおおよそ1袋以上出る											

		1 新聞・折込チラシ	2 雑誌・パンフレット	3 段ボール	4 コピー・OA用紙	5 雑紙	6 生ごみ	7 びん類	8 缶類	9 ペットボトル	10 発泡スチロール	11 弁当ガラ
処理方法	1 市の収集に資源として出す											
	2 その他の方法でリサイクル											
	3 市の収集にごみとして出す											
	4 廃棄物処理業者に委託											
	5 その他											

問6 普段、市の清掃・リサイクルに関する情報をどのように得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 市役所に問い合わせる | 2 市のホームページ |
| 3 市のごみ分別アプリ | 4 市報 |
| 5 収集業者(委託業者)から | 6 業界団体等から |
| 7 その他(具体的に |) |

<貴事業所の概要について>

(1) 業種について、該当するものに〇を付けてください。なお、業種が2つ以上該当する場合には代表的な業種をお答えください。(〇はひとつ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 建設業 | 2 製造業 |
| 3 卸売業 | 4 小売業 |
| 5 飲食・宿泊業 | 6 金融・保険・不動産業 |
| 7 教育・学習支援業 | 8 その他のサービス業 |
| 9 その他(具体的に |) |

(2) 貴事業所はお住まいを兼ねていますか。(たとえば、建物の1階が店舗や作業所でその2階にお住まいの場合が該当します)(〇はひとつ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 兼ねている | 2 兼ねていない |
|---------|----------|

(3) 従業員数は社長・支店長、店主、パート、アルバイトを含めて何人ですか。たとえば、〇〇会社△△支店ならば△△支店の従業員数をお答えください。

_____人

(4) 延床面積について、該当するものに〇を付けてください。よくわからない場合は、おおよそで結構です。(〇はひとつ)

- | | |
|---|---|
| 1 50 m ² (15 坪)未満 | 2 50 m ² (15 坪)以上~100 m ² (30 坪)未満 |
| 3 100 m ² (30 坪)以上~500 m ² (150 坪)未満 | 4 500 m ² (150 坪)以上~1,000 m ² (300 坪)未満 |
| 5 1,000 m ² (300 坪)以上~3,000 m ² (900 坪)未満 | |
| 6 3,000 m ² (900 坪)以上 | |

<武蔵村山市の清掃・リサイクル事業について、ご意見・ご要望をお書きください>

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

武蔵村山市
一般廃棄物処理基本計画基礎調査
報告書

平成29年3月発行

武蔵村山市協働推進部ごみ対策課
〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1
TEL042-565-1111(内線292)